昭和61年１月15日印刷　昭和61年１月20日発行　日本シーリング工業会

シーリング23

VOL.18.NO.23
JANUARY '86

◆特　集◆
○適材適所表誕生の背景
○JIS A 5758改正概要



日本シーリング工業会

伸びる。



原戻る。



激しい動きの目地や深目地に最適
トーレ・シリコーンシーリング材。

SH790 フィルムパックシーラント 1成分形低モジュラス



SH792 シーラント 2成分形低モジュラス



新しい時代の要求に応えてつくり出された弾性シーリング材、建築・土木用シーラントは動きの大きな目地に最適です。カーテンウォールのパネルの目地やマリオン、笠木の目地、土木用長大スパンのジョイントの動きに対する追従性にも優れています。また接着面に対する応力集中が小さく、接着安定性をもっているので、ガラスまわり、サッシまわりにも最適です。そのうえ無酸型ですから金属やコンクリートを腐食させず、耐候性・耐熱性ともに抜群。伸長・圧縮のくり返しにも優れた性能を発揮いたします。

シリコーン技術で明日のニーズに応える

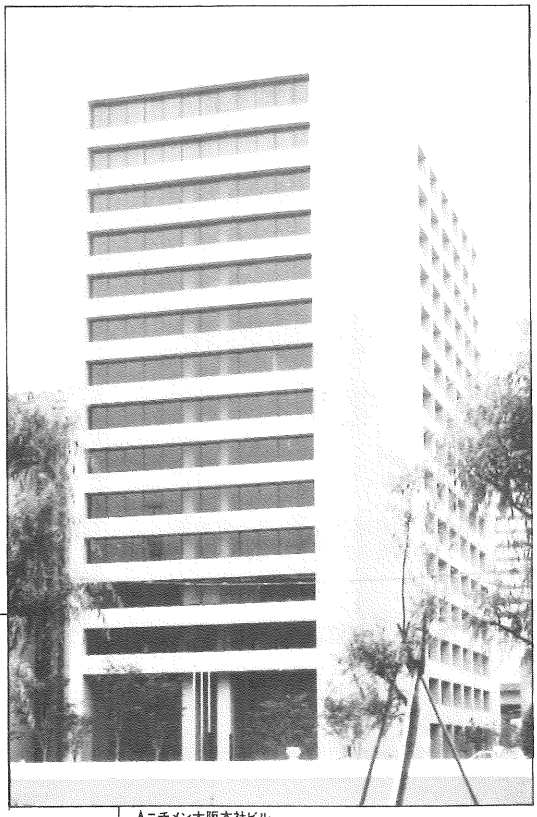
Toray Silicone トーレ・シリコーン株式会社

本店・営業本部　TEL（03）246-1641代表／東京都中央区日本橋室町2-8（三井ビル6号館）
大阪営業部　TEL（06）376-1251代表／大阪市北区芝田1-1-4（阪急ターミナルビル9階）
名古屋営業部　TEL（052）563-3951代表／名古屋市中村区名駅3-25-9（堀内ビル8階）
九州営業所　TEL（092）712-6158代表／北陸営業所　TEL（0762）23-1585代表
仙台営業所　TEL（0222）27-9528代表／東関東営業所　TEL（0436）22-5743（直）（0436）21-3101代表
広島営業所　TEL（082）249-7811代表／北海道営業所　TEL（011）231-5281代表

時代が求めた高性能。

変成シリコーンシーリング材
カネカMSポリマー®

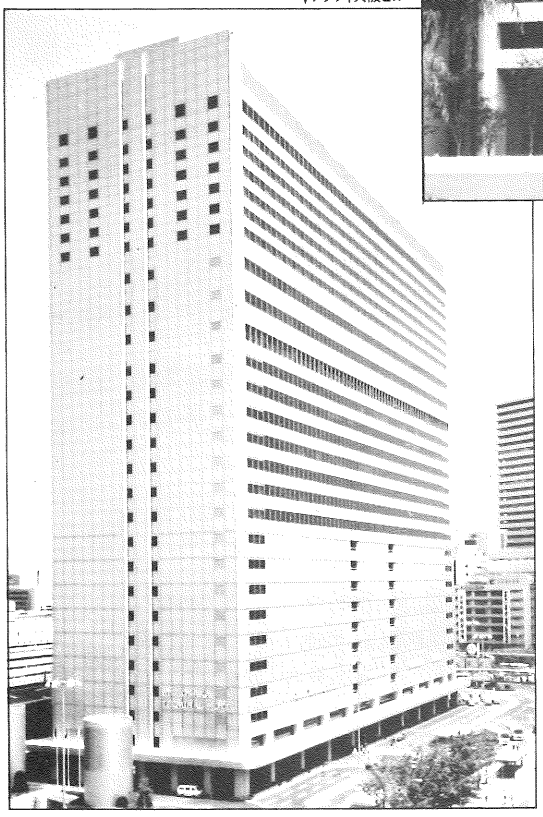
超高層ビルからプレハブ住宅まで、
幅広い用途で大躍進。



▲ニチメン大阪本社ビル

主成分カネカMSポリマー®が
耐久性、耐候性、石材への非汚染性、
塗装性などの優れた特性を
バランスよく発揮する
変成シリコーンシーリング材。
建築界の高度で多様なニーズに対応する
新時代のシーリング材として、
幅広い用途で注目を集めています。

▼アクティ大阪ビル



鐘淵化学工業株式会社
特殊樹脂三部
●本　社　〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号 朝日新聞ビル
電話：大阪(06)208-6220(ダイヤルイン)
●東京支社　〒107 東京都港区元赤坂1丁目3番12号 赤坂センタービル
電話：東京(03)405-1015(セクションイン)

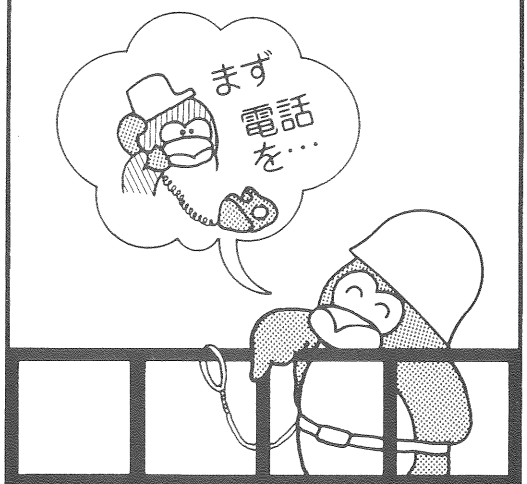
仮設用
ゴンドラ・リース

建物・外壁の工事・メンテナンス業の皆さまへ
塗装・補修・洗い等の高所作業に……

安全をなによりも最優先
足場を必要とせず、
外観を損わず、
経済的な作業が行えます。

デッキ式　1.8m/3.6m

チェア式　一人用



TEL（0726）34－8214

大阪御国商事（株）ゴンドラ部

茨木営業所　〒567 茨木市横江 2－1－12
本　　社　〒543 大阪市天王寺区小橋町2-20

サンプルでお困りではありませんか？

サンプルは、有能なセールスマンです。あなたの会社の技術のすべてが集約されたサンプルは、いつどこでも複雑多様な要求にこたえて、あなたの会社を代表してセールスいたします。

当社で作製しておりますサンプルの内容

○シーリング材硬化見本（例えばH型）、色見本帖等

★流し床材　工程見本・色見本
★弾性舗装材　工程見本・仕上見本
★内外装吹付材　模様見本・色見本
★塗膜防水材　工程見本・仕上見本
★体育施設　工程見本・仕上見本
★その他各種建材　工程・色・模様・仕上見本

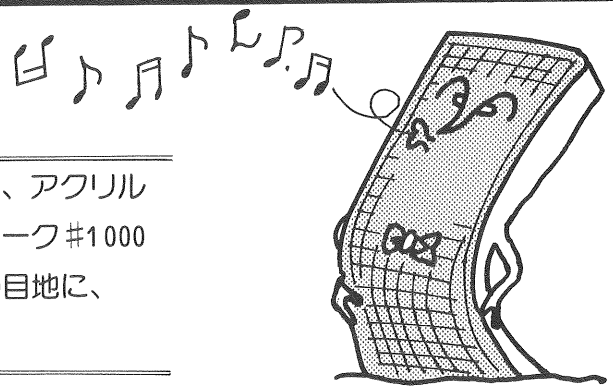
弊社は合成樹脂建材サンプルの日本で唯一の加工専業メーカーです。見本及びカタログ製作の企画から完成品まで、どんなことでもぜひ一度ご相談下さい。

san　新しい建材時代に技術とアイデアで奉仕する
サン技研株式会社

埼玉県八潮市南川崎40-1 〒340
☎　0489-97-1 7 8 4
FAX 0489-96-4 0 9 8
お問合わせは担当 菊地まで

ニューコーク

生きた建造物には生きたシーリング材を



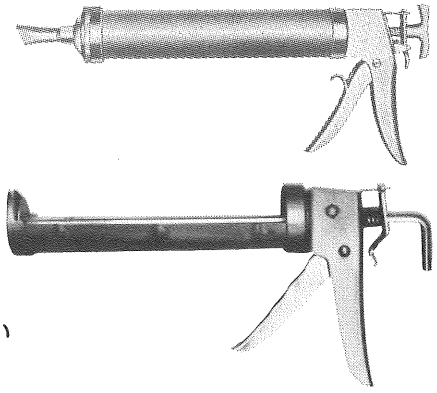
◆ポリサルファイド、ウレタン、アクリル
などの老化、亀裂にニューコーク＃1000
◆飛行場滑走路、駐車場などの目地に、
ニューコーク＃2000(土木用)

シーリング材のコンサルタント

株式会社ノーベル樹脂化学

工場：埼玉県川口市東領家4－19－4
電話：0482（23）4511(代)

コーキングガン
カートリッヂガン



専門メーカー

創業30余年

〈特長〉 ■能率的設計ワンタッチキャップで詰替えが数倍早い
■軽量で丈夫、しかも携帯が楽
■作業が軽く疲れない
■電動式ガン
■その他特殊注文も承ります

K
KANNO

株式会社 **菅野製作所**

代表取締役 菅野庄一

本社工場 東京都北区志茂3丁目3番26号
TEL. 03 (903) 3140番
FAX. 03 (903) 5030番
TEL. 03 (961) 1246番(夜間)

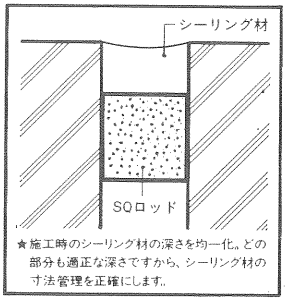


材料ロスが1割強も防げる！

省エネ時代のバックアップ材

このたび新発売の
ハイエチレンSQロッド
角棒で長尺タイプだから

- シーリング材の深さを均一にします。
- 継ぎ目による歪の発生がなく、作業効率もアップします。
- 四面スキン層付きですので、スライス面の気泡へのシーリング材の食い込み(投錨現象)がなく、理想的な二面接着となります。

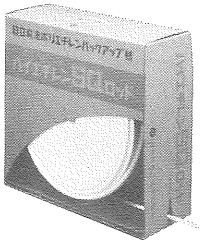


★施工時のシーリング材の深さを均一化。どの部分も適正な深さですから、シーリング材の寸法管理を正確にします。

■標準規格

記　号	幅(mm)		長さ(m)
NCS 13×10	13	10	180
NCS 18×15	18	15	100

(注)上記サイズ以外のご注文は別途ご相談ください。



- 一タイプで異なる二つの目地に使用できます。
- 梱包ケースは回転構造。ねじれもなくスムーズに引き出せます。また把手付きですから高所への持ち運びにも便利です。

新発売
日立発泡ポリエチレンバックアップ材
ハイエチレン
SQロッド
実用新案申請中

日立化成工業株式會社

野口興産株式会社

〒176 東京都練馬区豊玉北2−10 TEL 03(994)5601

LOBSTER®

エビ印 エアー式 コーキング ハツリ システム

PM-106M



1日・300m!
ハツリ効率3倍アップの
ハイパワー

システム内容

PM-106M…コーキングチッパーCCM・エアーホース・軽便グラインダー・
電源トリプルコード・コンプレッサー

- 小型・軽量(800g)ーサッシまわりにも使用OK！
- 振動・衝撃極小で疲労なし。
- 破砕力パツグンで作業性大巾アップ。
- チゼル脱着ワンタッチ。

作業工具 省力工具
LOBSTER
エビ印工具

日本理器株式會社

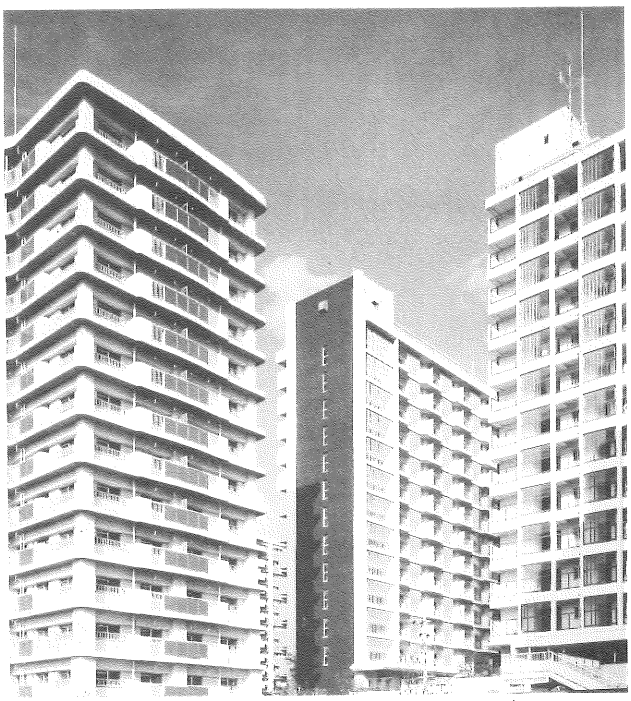
大阪営業本部　〒578東大阪市中新開116−1　☎0729(62)1601(代)
東京営業本部　〒170東京都豊島区西巣鴨1-10-14　☎ 03(917)7991(代)

シーリング材のことなら…

セカイチョー シーラー

● 建築・土木用

セカイチョーシーラーMS
（変成シリコーン系㊐JIS A 5758）
セカイチョーシーラーTH
（ポリサルファイド系㊐JIS A 5758）
セカイチョーシーラーPU-213
（ポリウレタン系㊐JIS A 5758）
セカイチョーシーラーU-I
（ポリウレタン系、I成分形）
セカイチョーシーラーEA
（アクリル系）
セカイチョーシーラーRB
（ブチルゴム系）
ケミコーク
（油性コーキング㊐JIS A 5751）
セカイチョーシーラーSI
（シリコーン系）
セカイチョーシーラーV
（ブチルゴム系ひも状）
セカイチョーシーラーVN
（自己消火性、ひも状）
セカイチョーシーラーVC
（シールド工法セグメント用、ひも状）
エバートーン
（クッション性複合シーリング材）



（施工例　大阪府　北緑ヶ丘公団住宅）

● 工業用

難燃性シーリング材……弱電機器用、空調機器用
熱伝導性シーリング材……弱電機器用、空調機器用
断熱性シーリング材……弱電機器用、空調機器用
その他……車輌用、コンテナー用、太陽温水器用　等

● 防水関連

マグネトーン（非加硫ブチルゴム系防水・防湿シート：住宅浴室内壁やベランダ、冷凍冷蔵倉庫に）

ツーバイテープ（非加硫ブチルゴム系複合テープ：住宅サッシ廻り、パネル目地屋根防水に）

世界長株式会社
化成品事業部
〒663 兵庫県西宮市津門大箇町8-39
TEL 0798 (26) 5724

名古屋：052(722)3301
東　京：03(462)5161
前　橋：0272(23)5675
仙　台：0222(95)7051
広　島：082(295)0371
福　岡：092(474)5582

歴史と実績―それが信頼をつくります

シーリング業界のリーダー

シーリング材の草分けであるエービーシー商会は、JIS商品の製造販売など常に品質重視の姿勢を貫いてまいりました。

ポリサルファイド系シーリング材
チオコーク®
（JIS認定品）

ウレタン系シーリング材
ABC®コーキングウレタン
（JIS認定品）

ABC®コーキングウレタンカートリッジ
（一成分型）

変成シリコーン系シーリング材
ABC®変成シリコーンM
（二成分型）

ウレタン系シーリング材
ABC®コーキングウレタン70
（二成分型）

シリコーン系シーリング材
ABC®シリコーンカートリッヂ（一成分型）

ABC商会では、使用目的に応じて各種シーリング材を用意しております。用途に合わせてお選びください。

（株）ABC商会
東京都千代田区永田町2－12－14
TEL 03（507）7111（案内）

BOND CIVIL ENGINEERING SYSTEM

コニシボンド

土木建築用ポリサルファイド系シーリング材

ボンドシール#10

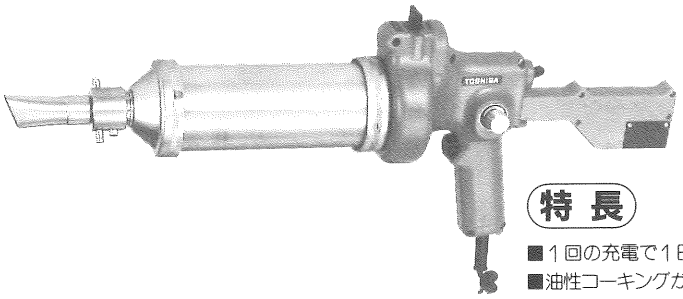
●その他各種シーリング材

シリコーン系……ボンドシリコンコーク	ブチル系……ボンドシールパテ ボンドブチルコーク
ウレタン系……ボンドUシール ボンドウレタンコーク	油性系……ボンド油性コーク
変成ウレタン系…ボンド変成ウレタンコーク	変成シリコーン系…ボンド変成シリコンコーク ボンドMSシール
アクリル系……ボンドアクリルコーク	

接着剤・シーリング材の専門メーカー
コニシ株式会社 ボンド建設部

●本社ボンド部／大阪市東区平野町2-10（沢の鶴ビル）☎06（228）2963 ダイヤルイン
●東京支店／東京都中央区日本橋室町4-5（近三ビル）☎03（245）6941 ダイヤルイン
●名古屋支店／名古屋市西区菊井2-6-5 〒451 ☎052（563）6541
●福岡支店／福岡市南区清水3-24-19 〒815 ☎092（551）1761
●営業所／札　幌☎011（612）0211／仙台☎0222（35）3178
新　潟☎0252（31）5577／金沢☎0762（23）1565
北関東☎0284（44）2414／静岡☎0542（55）5131
高　松☎0878（35）2020／岡山☎0862（25）1961
広　島☎082（294）8811

東芝コーキングガン



MGS-800
充電式/スピコン形
〈シリンダータイプ〉

シーリング材の **充塡作業も**
手動から電動へ

特 長

■1回の充電で1日約30缶(4ℓ入)連続作業が出来ます。
■油性コーキングからシリコーンまであらゆる材料に対応出来ます。
■独自の開発による落し蓋の使用により手や機械を汚さずスピーディな吸込作業が出来ます。
■先端ノズルの交換によりあらゆる目地巾に対応出来ます。
■吐出しスピードはスイッチ1つで自在にコントロール出来ます。
■本体重量は2.5kgと軽く、しかもバッテリーはベルトで携帯するので疲れず作業が出来ます。

株式会社 **芝浦製作所** 機工事業部

本　　社　東京都港区赤坂1-1-12(溜池明産ビル)……TEL(03)586−2111

ウレタン建材の **ホドガヤ**

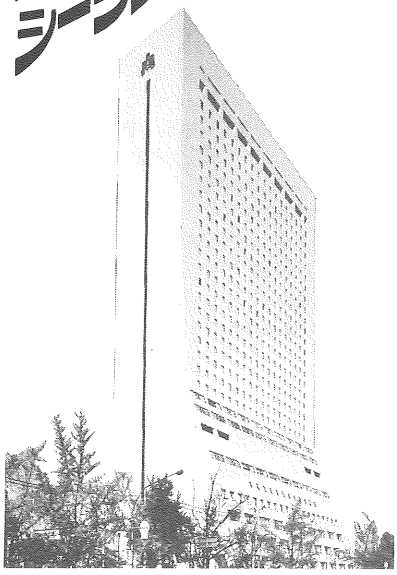
二液型ウレタンシーリング材　㊨680006
ミリオネートNS

一液型ウレタンシーリング材　S・MC-1 A-N
ミリオネート シーラー

保土谷建材工業株式会社
〒105 東京都港区浜松町1−18−14 ☎ 03(437)9471
大　阪 06(203)4651　札　幌 011(261)8087　名古屋 052(231)7225
新南陽 0834(63)8363　福　岡 092(751)3506

二液 ポリサルファイド チオコール シーラント

ポリサルファイドと呼べるのは チオコールだけです

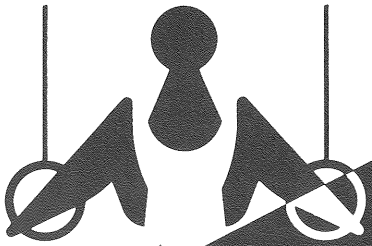


ホテル日航

《特長》

- ●接着性が良い
- ●耐久性が良い
- ●汚れない・汚さない
- ●施工しやすい

二液チオコールシーラントは弊社製品“チオコールLP®”を主原料として現在30数社で製造販売されており，品種の豊富さと全国をカバーする販売網により，お求めやすさも抜群です。



ピタッ!と決まる

一液 ポリサルファイド チオコール シーラント トプコール®

《特長》

- ●塗料がのる
- ●カビが生えにくい
- ●汚れない・汚さない
- ●ヘラ仕上げが容易

“トプコール®”は，東レチオコールが世界で初めて開発した，速硬化一液型のポリサルファイド（チオコール）シーラントです。

優れた接着性，耐久性，耐油性に代表される二液ゆずりの性能と，抜群の作業性，貯蔵安定性をバランス良く備えており，従来の一液シーラントにくらべ，極めて適応性が広く，使い勝手の良いシーラントです。

1パック：333㎖入りカートリッジ×20本

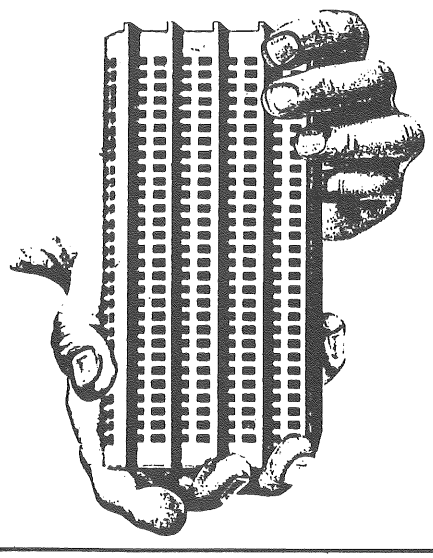
東レチオコール株式会社

本社　東京都中央区日本橋本石町3-6 日本橋室町ビル
TEL 03（241）1845(代)
工場　千葉県市原市千種海岸2－3

総代理店　**株式会社野村事務所**
本社　東京都港区西新橋1-1-15物産ビル別館
営業2部　TEL03（502）1468(代)
大阪出張所　大阪市南区南船場4-12-8関西心斎橋ビル7階
TEL06（243）0341(代)

シーリング　第23号　目　次　Vol. 18　No. 23

■会長挨拶，顧問・日シ工連会長近況報告 ……（11）
◎技術の成果を企業メリットに……太田　稔
◎狩野先生との出会い……小池迪夫
◎古くて新しいもの……加藤正守
◎低成長時代に生き残る道を……山本　勇
■工業会1年のあゆみ ……（14）
■名誉顧問狩野春一先生逝去
「名誉顧問狩野春一先生を偲んで」 ……太田　稔……（16）
「狩野春一先生の思い出」 ……渡辺三郎……（17）
■61年を展望する——関連業界動向を中心として ……広報委員会……（18）
■技術特集（最近の活動成果より）
「シーリング防水の適材適所表—その誕生から運用まで—」 ……技術委員会……（37）
「建築用シーリング材 JIS A5758改正作業を終えて」 ……技術委員会……（46）
■シーリング雑感「川遊びと水みち」 ……矢内泰弘……（56）
◇本部運営の効率向上と会員サービスを ……総務委員会（59）
◇新たな局面　種々の技術的成果への対応 ……技術委員会（60）
◇継続活動こそ前進への1歩 ……調査委員会（61）
◇期待と重要性高まる管理士制度 ……検定委員会（62）
◇建築用シーリング材参考標準設計価格 ……（63）
◇建築用シーリング材市販製品一覧表 ……（65）
◇昭和60年度日本シーリング工業会機構表 ……（78）
◇日本シーリング工業会会員名簿 ……（79）
◇日本シーリング工事業団体連合会の歩み ……山本　勇（85）
◇日本シーリング工事業団体連合会会員名簿 ……（86）
◇関連会社，団体一覧 ……（95）
◇「シーリング技術管理士」に関する規約 ……（99）
◇「シーリング管理士」に関する規約 ……（100）
◇シーリング技術管理士・管理士名簿 ……（102）
◇編集後記 ……（108）



建築の革新に応える。

三星シーリング材

ポリサルファイド系シーリング材
三星シールPS
ポリウレタン系シーリング材
三星シールAU
水性アクリル系シーリング材
三星シールAC
一液性建築用変成シリコーン
三星シール変成シリコーンZ
ブチルゴム系シーリング材
三星シールブチル
油性系コーキング材
三星コーキン

三星産業株式会社
〒101 東京都千代田区神田小川町3-28 TEL（292）1961㈹ FAX 03（293）4570
事務所：仙台（62）5201㈹FAX 0222（64）3138・大阪（443）9721㈹ FAX 06（443）9720
出張所：札幌（551）3781㈹ FAX 011（551）5304・横浜（261）5411 FAX 045（261）9117
名古屋（931）3390㈹ FAX 052（932）3977・新潟（43）5519㈹
福岡（781）3361㈹ FAX 092（741）1737・長崎（25）3266㈹ FAX 0958（27）6825
連絡所：富山0766（68）1071㈹・広島0829（32）3937㈹

YOKOHAMA

高層建築に生きるシーリングテクノロジー。
ハマタイト

新時代の街のイメージリーダーとも言える高層ビルや中高層ビル。
それら大型建築を陰でしっかリ支えているのが、ひとつには建築用弾性シーリング材です。
横浜ゴムのシーリングテクノロジーをかたちにした《ハマタイト》。
急速に進展する建築工法の技術革新や建築外装部材の多様化、
高品質化、あるいは新素材の導入化が著しい中で、たえずニーズに対応。
日本の高層建築を代表するビルのほとんどに採用され、
確実にこの分野のリーダビリティーを発揮しています。



基材別に6タイプ。
カラーバリエーションも豊富な《ハマタイト》。
建築用弾性シーリング材の適材適所を実現!

- 2成分形シリコーン「シリコーン70」
- 2成分形変成シリコーン「スーパーII」
- 2成分形ポリサルファイド「SC-500シリーズ」
- 2成分形ポリウレタン「UH-30」
- 1成分形ポリウレタン「シールエース」
- 1成分形シリコーン「SS-310」

ニーズをかたちに
ハマタイト

横浜ゴム株式会社 ハマタイト事業部
〒254 神奈川県平塚市中原上宿900 ☎0463(31)3002

※詳しい資料、お問合わせは、左記へどうぞ。

技術の成果を企業メリットに

日本シーリング工業会
会長　太田　稔



新しい年を迎えるに当り，謹んで年頭のお慶びを申し上げます。

一昨年に引続き昨年度も，建設業界にありましては，景気の低迷が続き，その為シーリング材メーカー各社とも，熾烈な受注競争による価格競争に陥り，収益の低下に悩まされております。このままの状況では，企業の命運にも支障を来すおそれがあるまでに至っております。

昨年度，私共は技術の向上・普及と市場価格の安定維持を目標としてかかげ，諸施策に取組んでまいりました結果，技術面に関しましては一応の成果を挙げ得たものと存じますが，市場価格の安定維持につきましては，改善と言うよりも，むしろ悪化の傾向にあるのではないかと存じます。

技術面では，建設省総合技術開発プロジェクト，通商産業省工業技術院より委嘱せられました JIS A 5758の改正，JASS 8 の改定などに参画し，シーリング材並びにシーリング防水に関する答申及び意見の提案などを行いました。これらの作業に関連して，シーリング材の適材適所表の作成，耐久性評価の手法などの成果は，高く評価されております。

また，当工業会が実施しておりますシーリング管理士の認定制度につき，ご認識を頂き，実務面でのご採用を検討される段階にまで発展して参りましたことは，私どもの努力が認められたと，誠によろこばしい限りでございます。

市場価格の安定につきましては，会員相互の信頼性の向上により，無用の競争を避けるべく努力を続けてまいりましたが，成果を生むに至っておりません。

以上述べましたように，昨年度の反省をもとに，今年度は引続き会員相互の信頼性を昂揚し，会員各社の企業防衛のため，市場価格の維持安定に一層の努力を払いたいと存じます。また技術面では昨年度の成果を市場に普及することに努め，シーリング工事の信頼性の向上を図るとともに，価格の安定につなぐべき施策を推進する所存でございます。

会員各位は申すに及ばず，業界の皆様方のご理解のもとに，当業界の健全なる発展を期したいと存じますので，何卒ご協力ご支援を賜りますよう，お願い申し上げます。

近況報告

狩野先生との出会い

日本シーリング工業会顧問
東京工業大学教授　小池迪夫



「小池君，この盃はいいネー。唇に触れた感じが何んともいえない。これで飲んでいると，手が自然に酒を運んでくれる」

あれはたしか，昭和33年の5月のことだったと思う。博多湾に浮かぶ……といっても干潮時には九州本島と陸続きになる志賀島の，とある料亭の庭さきでのことであった。

全くの初対面ではないが，親しくご挨拶をしたことのない私に，狩野先生が最初にかけて下さった言葉である。そして，また

「こんな月の美しい夜，空に向って寮歌のひとつでも唸ってみないかね」

とも，おっしゃった。

宴会場の喧騒と先生の雅趣の間合いを計り兼ねて，寮歌はご勘弁頂いたが，生涯忘れることのできない，狩野先生との素晴しい出会いであった。

狩野先生は，昭和32年度から日本住宅公団（現住宅・都市整備公団）の委託を受け，屋根のモルタル防水に代わるコンクリート防水の研究を始められた。一方，私の師匠である浜田先生は，昭和33年度から同公団の委託を受けて，アスファルト露出防水の研

究を始められた。当時，修士課程を修了して昭和化工(株)（現昭石化工）に在籍しながら研究生として研究室にいた私が，その研究を担当した。

昭和34年度から，この二つの研究組織が合流し，狩野先生を長とする組織に統合されたために，先生と私の研究面のお付き合いが始まった。委員会での付き合いは，その後油性コーキングやアスファルトルーフィングのJISの委員会，アスファルト防水工事のJASSの委員会へと続き，いつの間にか狩野一門の準会員風になった頃，私は北海道大学に職を得て東京を去った。

昭和45年４月，私は東京工業大学に招かれて帰京した。それも狩野先生が所長をなさっておられた建築材料研究所の後身である，工業材料研究所に転任したのである。

以来，各種委員会での付き合いが再開したが，フェアウェイでのそれも加わって，以前にも増してお世話になる機会が多くなった。距離はそこそこ出るが，方向の定まらない私を軽く冷かしながら，先生はフェアウェイの中央を飄飄と歩かれたものである。

忘れもしない，あれは相模CCのINの６番であった。ティーグラウンドの右側のフェンスが，以前よりずっと高く改造してあった。私のドライバー・ショットが，事もあろうに，２発もテンプラ・スライスでそのフェンスを軽々と越えて，東海大相模高校のグラウンドへ消えたとき，

「これくらい高くしたら大丈夫と思ったが，まだ足りなかったか」

と，半ば呆れ顔で冷かされた。

今年の６月，工業材料研究所の創立50周年の記念品をもって，先生のお宅をお訪ねした。ベッドの脇でシーバスリーガルをご馳走になったが，先生も珍らしくお代りをなさった。私が，４月にやったホール・イン・ワンの記念品をさしあげると，

「あの君がネー」

といった目差しで，喜こんで下さった。

その先生が天国へ召された。昭和60年10月22日，私は逗子小坪の斎場で，先生に最後のお別れをした。

合　掌　　（昭和60年11月20日記）

古くて新しいもの……

日本シーリング工業会顧問
千葉大学助教授　加藤正守



絶対的価値を別とすれば，古ければ古いほどよいものは書画骨董，新しければ新しいほどよいものは畳と自動車といわれている。昔は新しければ新しいほどよいものは畳と女房といわれていたが，女房が自動車に変ったのは世相を反映してのことであろう。ところで古くて新しいもの，また新しくて古いものとはなんであろうか。正解は建築物の防水だそうである。なぜ建築物の防水が古くて新しい問題なのだろうか。いろいろと意見があるかも知れないが，建築生産の工業化，合理化の流れの中で，多様化，高度化が要求され，次から次へと新しい材料，構法が開発され，その対応に絶えず追われ，現在でも絶対的な防水材料，構法が確立されていないということであろうか。

だがよく考えてみると古くて新しいものは建築物の防水だけではなさそうである。防水の下地になるコンクリートやモルタルなども大なり小なり古くて新しい問題を抱えているのではないだろうか。コンクリート工事への生コン工場，ポンプ打ち工法の導入及び各種骨材資源の利用等の近代化への歩みの中で，コンクリートの亀裂，中性化，アルカリ骨材反応等その品質は低下し，コンクリートクライシスとして社会的問題にまで発展し，その対応に追われているのが実情であろう。コンクリートが構造材料であるだけにこれらの対応は緊急かつ深刻なのではないだろうか。

建築物の防水性能は，単に防水材料及びその工法だけではなく，下地または構造体と一体として総合的に評価しなければならない。亀裂の発生しやすいコンクリート，中性化しやすいコンクリートを下地

とした建築物の防水は，これらに対応するために必然的により高度の性能をもった防水材料が要求されるであろう。

コンクリート外壁の仕上材は，単なる仕上材から下地コンクリートの亀裂に対応する弾性仕上材さらには下地コンクリートの亀裂，中性化へ対応する外壁防水材へと変遷していった過程を考えれば自からこれらの関係を理解することができよう。

材料開発の過程をみると，開発当初はその性能によって価格が決められ，その性能が高ければ高いほど付加価値は社会的に評価されている。その材料の普及，一般化により競争原理も働いて，材料価格は漸次低下し安定化してゆくのであろう。

メーカーには絶えず高性能の材料開発が要求されている。このことはメーカーにとって喜ぶべきことなのか悲しむべきことなのかは一概にはいえないが，結果的にはメーカーまた業界の発展へとつながっているのも事実であろう。建築物の防水は，古くて新しい問題であるが，永遠の問題でもあろう。

コンクリート工事の近代化とその品質低下の矛盾はまた新たな問題でもある。

低成長時代に生き残る道を

日本シーリング工事業団体連合会

会　長　山本　勇



新年明けましておめでとう御座います。

昭和61年の年頭にあたり，皆様の企業の発展と御健康を心からお祈り申し上げます。

1)　最近特に経済界で交される言葉として首題の〈生き残りの道の追及〉があります。企業の収益率の悪化克服をどうしてゆくか，日シ工連も組織をあげて頑張ってきたように思っておりますが，昨年度も全国的に需要が低迷し，私共の切なる希望も裏切られ誠に苦しい年として過ぎ去りました。今年の景気も大幅な回復は望めそうもなく，昨年と大同小異に推移してゆく感があります。

近況報告

2)　政府は内需拡大による景気の振興を声高に叫んではおりますが，僅か数百億円程度のてこ入れではこの業界にはそのおこぼれも廻ってきません。特に建築業界は住宅もオフィスビルも大きな発展は望めず，シーリング業界は本年も不況が続くと考えられます。

従ってこの不況を乗りきる為には，自分自身の力で処理してゆかねばなりません。各組合員は堅く団結し，互に足を引っぱりあう愚をやめ，受注価格の向上を計らなければ共倒れになってしまいます。

加えて，シーリング材メーカーは材料費の値上げを申入れてきています。諸原料，諸経費の高騰により仕方のないこととは思いますが，現在の受注状況では到底受入れることは出来ません。メーカーが施主，設計事務所，大手建築業者に充分納得させて我々の受注単価が上って初めて実行出来る事です。それでなくても施工費，交通費，諸雑費等が高騰し工事業者は四苦八苦しており，この儘では経営上重大な危機に陥りかねません。

施工業者は緊密な連携により，又メーカーと協同して受注価格向上に尽力していかなければなりません。地区により価格にかなり格差がありますが，一時にこれをつめる事よりも，先づ，地区毎に団結し各地区毎の価格を上げる努力を実らせ，全体に及ぼさせてゆくことが良いと思いますが，日シ工連としても各地区が行動し易いよう連絡を密にし，その土壌をつくる必要があります。

3)　一方，技術向上の為の努力も重要で，今年で改定された建設省の工事共通仕様書ではシーリング工事は雑工事から九章防水工事へ移行され，管理者の現場常駐問題を含め，私共業界の重要性が認識されてきました。

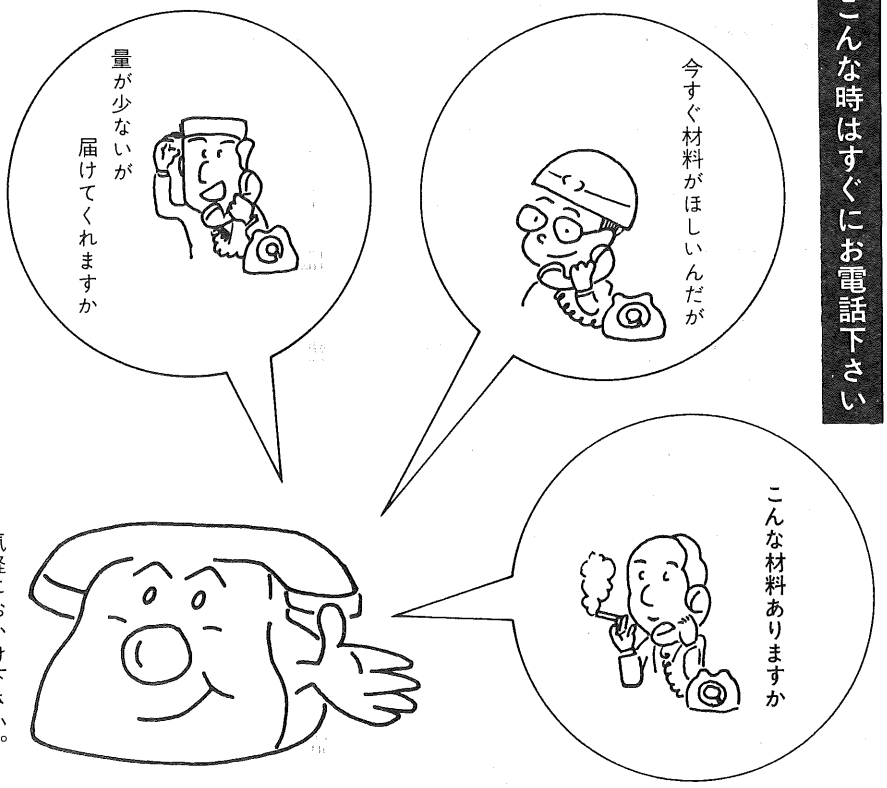
シーリング管理士，技能士の育成輩出は益々必要性をもって参りました。材，販，工，一体となって相互信頼と協力のもとに〈生き残る道〉をつき進むことを心掛けて，少しでも明るい一年と致しましょう。

工業会1年の歩み

年 月	主 な で き ご と	関 連 業 界
60. 1	○新年総会および特別講演会開催。 講師：鶴田　裕氏(大成建設)『シーリング防水の耐久性向上技術に関する最近の動向』 ○大阪支部・関シ協共催でユーザー対象にシーリング勉強会開催。 ○シーリングNo.22発行。	○プレハブ防水検定試験
2	○建設省建築工事共通仕様書発刊。 ○第8回シーリング管理士，第6回シーリング技術管理士の講習・検定を実施。(管理士20名，技術管理士80名，合計100名が参加) ○JIS 改正原案を答申。	○二級建築工事技術者合格発表（仕上げの合格率28%）
3	○日本建築仕上材工業会との共同試験への参加会社を募集。	○第1回一級建築工事技術者試験実施
4	○シーリング管理士8名，同技術管理士40名の合格を確定。 ○シーリングニュースNo.24を発行。	○建設省，改修設計指針まとめる ○マンション保全診断センター設立(高住協)
5	○第22回通常総会開催。(於：丸ノ内会館) 59年度報告，並びに60年度事業計画及び予算を承認。 ○事務局にテレファックスを設置。 ○日本建築仕上材工業会との共同試験を開始。(参加23社，55品種) ○日本シーリング工事業団体連合会第10回総会開催。(札幌)	○元請7団体にダンピング自粛要請（建設省）
6	○60年度シーリング管理士，同技術管理士の募集要項を策定，作業スケジュールを立案。 ○シーリング防水技能検定開催。(東京都) ○九州シーリング工事業協同組合設立。	○集合住宅用新材料・機器システム開発技術組合設立(通産商)
7	○顧問，相談役との懇談会を開催。ご意見を工業会の運営に資す。 ○シーリングニュースNo.25を発行。	○入札制度合理化通達（建設省）
8	○外防協との共同試験を開始。 ○新規ポリマーの名称問題につき討議，検討。	○外断熱耐火性能基準作成（日本建築センター） ○日本仮設ゴンドラ協会設立
9	○材工販，在京役員による親睦ゴルフを開催。 ○建設省より開口部防火委員会への参画要請あり。 ○シーリングハンドブックの改訂作業を開始。	
10	○総務委員長退任，副委員長代行。 ○名誉顧問　狩野春一先生逝去。 ○新規ポリマー〈パーマポールポリマー〉の分類を変成ポリサルファイドと決定。 ○シーリングニュースNo.26発行。 ○JASS 8 原案発表。	○DIY アドバイザー会設立 ○シーリング防水検定331名合格
11	○60年度推定出荷量を集計。 ○開口部防火委員会発足。 ○名古屋支部主催による技術研修会挙行。テーマ「シーリング材の適材適所」 ○中国シ協・広島支部共催でシーリング研修会開催。	○建築学会大会開催 ○建研・秋期講演会 ○建設省総プロ説明会
12	○60年度推定出荷量を決定。	

7日会のメンバーは安心して使っていただける製品をサービスを添えてお届けします。

こんな時はすぐにお電話下さい



建築用シーリング材・防水材・関連製品の御用命は当会メンバーに

東日本シーリング工事業協同組合協力店会

7　日　会

化研マテリアル㈱	〒105 東京都港区西新橋3－8－1（第2鈴丸ビル）	TEL 03(436)3011
共成㈱	〒104 東京都中央区新川1－25－11	TEL 03(552)2031
光栄商事㈱	〒177 東京都練馬区上石神井1－432－2	TEL 03(928)5811
日新物産㈱	〒103 東京都中央区日本橋蛎殻町1－32－9	TEL 03(667)5060
野口興産㈱	〒176 東京都練馬区豊玉北2－10	TEL 03(994)5601
フヨー㈱	〒130 東京都墨田区業平5－5－6	TEL 03(626)3371
藤本化成㈱	〒150 東京都渋谷区渋谷3－27－12（並木ビル）	TEL 03(407)4701
ヨコハマゴム工業品東京販売㈱	〒105 東京都港区海岸1－9－15（竹芝ビル）	TEL 03(436)5621

名誉顧問

狩野春一先生を偲んで

日本シーリング工業会会長　太田　稔



当工業会名誉顧問狩野春一先生が，昨年10月19日午前７時50分直腸ガンのため享年89歳で逝去されました。先生には，昭和38年，日本コーキング協会として当工業会が発足いたしました時から数知れぬお力添えにあずかり，爾来22年間の長きにわたり，われわれを勇気づけ，励まし続けていただきました。

狩野先生が，建築材料学において常に指導的役割を果たされてきたことは今更ここで述べるまでもありません。当工業会と先生との関わりは，先生の多大なご功績からすればそのごく一部に過ぎないところでありますが，昭和34年より着手しました油性コーキング材のJIS制定作業に端を発しております。当時，多種に及ぶ建築材料の中にあって，特に地味な存在であった目地材料の研究に着手されたことは，その後のプレファブ建築の流れを適確にとらえ，われわれを正しく導いて下さったことと感謝に堪えないものがあります。現在の建築構法にあっては，シーリング材はなくてはならぬものの１つとなり，建築の工業生産化に大きく寄与しているものと自負する次第でありますが，それもこれも先生の材料に対する標準化，材料設計の立場からのご指摘，ご教授があってのものであることは肝に銘じておかねばなりません。

さて，狩野先生と言いますと，また別のところで眼に浮ぶのが，お元気であった頃のゴルフ姿でもあります。当工業会主催の親睦ゴルフ大会などにも忙中お時間をさいてご参加いただき，技術もさることながら人間味溢れるゴルフで同伴者を魅了されたと言われます。『ゴルフの真髄は他人に迷惑をかけぬこと。エチケットを守ることがプレー以前の問題』とおっしゃっておられました。残念ながら，私自身はお手合せいただく機会を得ませんでしたが，この精神を業界活動にも生かしてゆきたいと思います。

昨今，お体を悪くされていると聞き及び，また，当工業会の催しでもお姿を拝見する機会がなく，ご心配申し上げていたところでした。巨星墜つの感が未だ去りません。本当に長い間ありがとうございました。そのご功績とともに先生のお人柄は決して忘れられるものではありません。

ここに，慎んで，狩野春一先生のご冥福をお祈り致します。

狩野春一先生の略歴

明治29年，滋賀県生まれ。大正10年東京高等工業学校（現東京工業大学）を卒業。東京工業大学，明治大学，工学院大学で教授を歴任，昭和54年日本建築学会大賞受章，日本建築学会名誉会員。

狩野春一先生の思い出



日本シーリング工業会
相談役　渡辺　三郎

建築材料学界の泰斗・狩野春一先生のご逝去に対し衷心より哀悼の意を表します。

私と先生との最初の面識は，かつて小野田セメントグループの定例技術懇談会の席上でありました。当時先生と東大の故浜田先生お二人が顧問としておられまして，終始コンクリート，コンクリート防水ブロックの防水工法，ALCの防水等を中心に懇切なアドバイスを受けて以来20余年になります。

その後日本シーリング工業会の顧問（後に名誉顧問）を快くお受けいただき，当時地味でありましたが，我が国で始めて建造物において防水機能を発揮する重要な部門を受け持ちます材料として建築用シーリング材の研究に着手，「コーキング材標準化研究委員会」を発足させ，最初のJIS A 5751を始めとして熱意溢れる今日までのご指導をうけたまわり，当工業会も発足時より3回に亘って発展的に改名され時代に即した工業会となりました。

さて，先生の生前の思い出として述べてゆきたいと思います。今でも思い出されるのは当工業会5周年の式典にホステスとして松竹のニューフェイス香山美子さん（その後銭形平次のおかみさんとして名女優になった人）を招き，会の進行を盛り上げて貰いましたが，先生は非常にご満悦で，以来，テレビで銭形平次は欠かさずご覧になっておられたと申されていました。

私は鎌倉に在住の関係で，逗子市内にお住いの先生宅にはしばしば訪問し，建材業界の現況，当工業会運営にあたり方向づけを懇切にご教示いただき「シーリング管理士」制度「シーリングハンドブック」の作成にあたっても貴重なご指導を受けましたが，訪問の都度，最後には「飽くまでも各会員は適正な価格でユーザーの立場になって運営を図って貰いたい」とつけ加えられ常に市場の流れを注視しておられました。

私が会長時代機会あるごとに「適材適所，適正価格，材工一体」等述べておりましたのは，先生の教えによるものでした。

また日中訪問時は甘い上等なお菓子とお茶，夕方は高級なブランデーにチーズ，サラミ等のご馳走にあずかり何時も恐縮し，常に微笑みをもって迎えて下さる温顔は一生忘れ得ぬ私です。

先生が88才の米寿を迎えられる前，先生に「いつの間にか私も古希を迎えました」と言いましたら，先生は「おめでとう，だが今時古希はやれやれと云う時代でない。文部省に行って辞書から古希の2字を抹消して貰いなさい」と一笑されましたが，これはまだ会社，業界のため健康に留意し更に努力せよとの激励のことばと解釈しております。

また私は日本建築仕上材工業会の副会長当時先生にお名前だけで結構で，たまに親睦ゴルフを行う程度で是非顧問としてお願いしたいと依頼し，快くお受けいただきましたがその後「渡辺君にうまく騙された，つぎからつぎと引張り出され閉口だよ」と微笑ながら申されたことがありますが，言われる通り湿式建材の方向づけを始め工業会の基盤づくりに頻繁に出馬をお願いし，私の副会長，会長時代を無事に責任を果すことが出来ました。

現在私は，慈父を亡くしたと同様の心境であり，かつて「死は人間完成の報酬である」との教えを受けたことがありますが真に先生はその最たる偉大な先生であったと述懐し，私は今日まで培った教訓を遵守し更に努力したいと思っております。

先生の安らけく永眠せられますことを祈りつつ生前の私の思い出と致します。

61年を展望する
《関連業界動向を中心として》

広報委員会

1．シーリング材需要動向

長い低迷から漸く脱却の兆しを見せ始めている建設産業であるが，元請をはじめとする業者間のダンピングまがいの受注行為が相変らず目立ち，着工面の増加が工事額の上昇に反映されない深刻な状況が続いている。シーリング材の出荷動向はここ数年来１ケタ台の伸び率が定着し，建設業界の中では安定した需要を確保していると言うことができる。しかし，市況面の混迷が打続くなか物量の増加を収益に還元できず，材・販・工とも予断を許さぬ状勢となっている。

シーリング材全体の販売量は，それまでの２ケタ伸び率から56年以降１ケタ台に定着し，58年は前年比4.8%増，59年5.6%増，60年で5.8%増の64,920ﾄﾝと横這いながらも増加基調を維持している。全シーリング材中で中心的な存在の建築用シーリング材も同様の傾向にあり，58年5.2%増，59年6.1%増，60年が6.0%増の51,950ﾄﾝを示している。（なお，60年から統計を開始した新基材アクリルウレタン系620ﾄﾝを除く）

このように，長期にわたる建設産業の不振にもかかわらず，建築用シーリング材は着実に使用実績を伸ばしている。この背景には，従来から言われるように設計伸縮率を考慮した目地設計の適正化に伴なう目地幅・目地数の増加，海外プロジェクトへの進出，改修需要の増大などがあることは言うまでもない。しかし，それらの要因が相乗して，シーリング材自体の持つ簡便さと性能バランスがユーザー間に広く認識され，建築材料として一般化してきたことが需要量増加の原動力となっていると言うことができるだろう。いわば弾性系シーリング材が新たな需要家層をとらえ，それが確実に浸透・普及していくことをバネとして成長しているのである。

そうした動向を顕著に物語っているのが，近年の弾性系シーリング材の全シーリング材中に占める比率の高さであり，１成分形シーリング材の急伸である。ちなみに，この５年間の弾性系シーリング材の伸び率は52.2%を示し，建築用シーリング材合計の伸び率28.5%を大きく上回っている。弾性系の占有率も56年が66.7%であったものが，60年では77.8%と完全に主流の地位となり，また，この中の１成分形の占有率も22.9%から30.3%と上昇している。さらに弾性系１成分形の伸び率は，やや減少傾向にあるものの依然として２ケタ台で推移しており，今後ますますシーリング材の需要の底辺が広がることを暗示しているといえるだろう。

しかし，シーリング専門工事業者をはじめ塗装，左官，板金，工務店などセミプロ的なユーザーを含めたシーリング材の需要層は，零細規模の企業体がほとんどであり，現在の建築業界における低水準状態の受注価格が死活問題として経営を圧迫していることも事実である。また，メーカーとしても生産面の合理化・製造能力の向上，それに伴う拡販のための過当競争などから収拾不可能な事態を招来しようとしている状況にあり，市況面での改善策が切に望まれているところである。

一方，材料・技術面については，ここ数年来，様々な形で取組まれてきた活動が次々に実を結び，それらの成果に大きな期待が寄せられている。まず，普及段階にはいる建設省総合技術開発プロジェクト「建築物の耐久性向上技術の開発」におけるシーリング防水の劣化診断指針，補修・交換指針，総合耐

表－1　シーリング材の年別販売推定量（単位：トン）

基材＼区分	年	建築	輸送・機器	その他	計
シリコーン系	56	5,450（1成分 4,100 / 2成分 1,350）	55（1成分 55 / 2成分 0）	255（1成分 255 / 2成分 0）	5,760（1成分 4,410 / 2成分 1,350）
	57	6,155（1成分 4,625 / 2成分 1,490）	55（1成分 55 / 2成分 0）	260（1成分 260 / 2成分 0）	6,430（1成分 4,940 / 2成分 1,490）
	58	6,890（1成分 5,320 / 2成分 1,570）	70（1成分 70 / 2成分 0）	340（1成分 340 / 2成分 0）	7,300（1成分 5,730 / 2成分 1,570）
	59	7,250（1成分 5,680 / 2成分 1,570）	100（1成分 100 / 2成分 0）	410（1成分 410 / 2成分 0）	7,760（1成分 6,190 / 2成分 1,570）
	60	7,190（1成分 5,850 / 2成分 1,340）	150（1成分 150 / 2成分 0）	480（1成分 480 / 2成分 0）	7,820（1成分 6,480 / 2成分 1,340）
変成シリコーン系	56	1,030			1,030
	57	1,850（1成分 350 / 2成分 1,500）			1,850（1成分 350 / 2成分 1,500）
	58	2,210（1成分 650 / 2成分 1,560）			2,210（1成分 650 / 2成分 1,560）
	59	3,200（1成分 1,500 / 2成分 1,700）			3,200（1成分 1,500 / 2成分 1,700）
	60	4,390（1成分 2,300 / 2成分 2,090）			4,390（1成分 2,300 / 2成分 2,090）
ポリサルファイド系（1成分を含む）	56	8,715	220	1,140	10,075
	57	9,592	200	1,260	11,052
	58	10,070	200	1,320	11,590
	59	10,600	200	1,400	12,200
	60	11,150	200	1,450	12,800
アクリルウレタン系	60	620			620
ポリウレタン系	56	12,090（1成分 2,150 / 2成分 9,940）	4,500（1成分 500 / 2成分4,000）	790（1成分 240 / 2成分 550）	17,380（1成分 2,890 / 2成分14,490）
	57	13,640（1成分 2,600 / 2成分11,040）	4,700（1成分2,800 / 2成分1,900）	850（1成分 300 / 2成分 550）	19,190（1成分 5,700 / 2成分13,490）
	58	15,200（1成分 3,350 / 2成分11,850）	4,840（1成分3,840 / 2成分1,000）	930（1成分 680 / 2成分 250）	20,970（1成分 7,870 / 2成分13,100）
	59	16,650（1成分 3,800 / 2成分12,850）	5,100（1成分5,000 / 2成分 100）	930（1成分 680 / 2成分 250）	22,680（1成分 9,480 / 2成分13,200）
	60	18,190（1成分 4,440 / 2成分13,750）	5,150（1成分5,150 / 2成分 0）	1,210（1成分 980 / 2成分 230）	24,550（1成分10,570 / 2成分13,980）
アクリル系	56	6,300		660	6,960
	57	6,030		760	6,790
	58	6,030		890	6,920
	59	6,500		890	7,390
	60	7,160		1,080	8,240
SBR系	56	400			400
	57	400			400
	58	400			400
	59	400			400
	60	400			400
ブチルゴム系	56	2,210	1,150	2,450	5,810
	57	2,000	1,100	2,200	5,300
	58	1,800	1,100	2,100	5,000
	59	1,500	1,100	2,100	4,700
	60	1,200	1,100	2,000	4,300
油性	56	4,720	15	140	4,875
	57	4,250	15	140	4,405
	58	3,600	10	140	3,750
	59	2,900	10	140	3,050
	60	2,270	10	140	2,420
計	56	40,915	5,940	5,435	52,290
	57	43,917	6,070	5,470	55,457
	58	46,200	6,220	5,720	58,140
	59	49,000	6,510	5,870	61,380
	60	52,570	6,610	6,360	65,540

注）1.　ポリウレタン系2成分形については集計方法を変更した。
2.　今回よりアクリルウレタン系を追加した。
3.　日本シーリング工業会の調査による。

久設計指針では，当工業会で作成した適材適所表をもとに推定耐用年数の算定手法が設定されるなど，建物の総合的な維持管理技術の向上に資する運用が大きく期待されるものである。JIS A 5758の改正公布とともに改定 JASS8も今春には公布される見込みである。JIS では，新基材アクリルウレタン系が追加されるとともに最近のシーリング材の使用状況に即して新しい耐久性区分10030,9030Gが加えられるなど，より明確な規格体系が整えられた。また，JASS については，適材適所を明確にしたシーリング材の選定表が解説文に加えられ設計者・監理者への実践的な標準資料としての色合いが濃い内容となると思われ，これも運用が注目されるところである。このほか，建設省建築工事施工監理指針もこのほど刊行，さらに，当工業会と NSK，外壁塗膜防水材協議会とで行なっているシーリング材と仕上塗材および塗膜材との取合いを評価する試験結果も今春にはまとまる見込みである。これらに加え，実施工レベルでの国家検定技能士および当工業会が認定する資格制度もますます充実を見せ，特に，前述した総プロ成果における推定耐用年数の算定に当っては，施工技倆係数として資格の有無が耐用年数を左右するポイントともなると思われ，ますますその重要性が増すであろう。

このほかにも技術面の成果は多々あるが，これらは，シーリング産業の充実に伴う必然的な所産であり，今後の支えとなるものである。ユーザーの期待に応えるべく有意な運用を図ることが肝要であり，営業面での成果に反映させねばならない。

基材別動向

◇シリコーン系◇

60年実績では統計開始以来，7,190ﾄﾝ（0.8%減）と初めて前年を下回る結果となった。特に2成分形の落ち込みが目立ち，前年比14.6%減となっている。メタル・カーテンウォール系大型物件が減少していること，コンクリート系での採用も汚染問題がからみ低調であることが大きく影響している。一方，シリコーン系の80%以上を占める1成分形については，前年比3.0%増と若干ではあるが増加した。ガラス・建築金物・板金などルート需要に根強さは見られるが他基材の1成分形に置き換えられている傾向もあるようだ。しかし，性能面での優位性と信頼性は最も評価が高く，クリーンルームなどでの採用は目立っている。

◇変成シリコーン系◇

相変らず高水準での伸びが目立っており，前年比37.2%増の4,390ﾄﾝとなった。このうち1成分形が特に好調で53.3%増の2,300ﾄﾝとなり，2成分形を上回る結果を示した。メーカー数もふえ，ルート需要への拡大，プレハブメーカーへの浸透も順調に進んだ結果と言えよう。また，2成分形も22.9%増と好調でコンクリート系パネル目地への採用が順調に進んでいるようだ。カラーマスター方式の普及や作業性の良さ，また，最近特に汚染や美観に敏感になっているユーザーから高い評価を受けての結果であろう。

◇ポリサルファイド系◇

ここ数年，安定した伸びを見せており，60年も5.2%増の11,150ﾄﾝとなった。中低層コンクリートカーテンウォールでの採用がやはり圧倒的で，近年，この分野が比較的好調に推移しているため安定した需要を保っている。また，その他の中小建造物においても歴史と実績に基づく信頼感により一般ユーザーの根強い支持を受けている。一方，56年に上市された1成分形もガラス廻りや簡易用途などに徐々に浸透しておりユーザーの1成分形志向の傾向からも期待されるところである。

◇アクリルウレタン系◇

上市以来3年目を迎える新基材であるが，現在のところ供給メーカーも2社と少なく，60年実績も620ﾄﾝにとどまった。しかし，仕上塗材との馴染みが良い点，性能的にも価格面とのバランスがとれているところからコンクリート目地などを中心に採用されており，今後の需要が期待できる。

◇ポリウレタン系◇

ポリサルファイド系と同様に，ここ数年安定した伸び率を維持しており，60年実績では，9.2%増の

18,190㌧と基材別では最高の出荷量となっている。このうち2成分形については，手頃な価格の弾性タイプとして中低層のＰＣ建物，油性系の打替え，土木分野などに用途が定着し前年比7.0%増の13,750㌧，1成分形も戸建プレハブ住宅や，小規模物件に用途が定着したほか塗装店，工務店などへのルート分野に進出が目立ち前年比10.8%増の4,440㌧となった。また，1成分，2成分とも ALC 板目地への需要がふえている点も好調を支えている一因である。

◇アクリル系◇

ALC 板の出荷動向がここ2～3年好調に推移していることから一時停滞気味であったアクリル系の出荷量も前年比10.2%増の7,160㌧と久し振りに大幅アップを記録した。ALC板目地には，ポリウレタン系，変成シリコーン系などの進出もあるが，多目的化した ALC 需要の高まりは暫く継続すると考えられ，アクリル系の使用量も安定を保つと思われる。

◇その他◇

ブチルゴム系は外壁目地に多用されるケースが少なく，建築用途としては，板金関係やシート防水の貼仕舞に使用されるケースがほとんどである。しかし，この分野もポリウレタン系，変成シリコーン系，シリコーン系などに押され気味で前年比20%減の1,200㌧となった。SBR 系も建築分野での大量使用は少なくここ数年来同様400㌧で推移，また，油性系も年々減少を重ね60年実績も前年比21.7%減の2,270㌧となった。これらの弾塑性系（乾燥硬化型）および塑性系シーリング材は，弾性系の普及につれ，水密性・気密性が要求される部位への適用が徐々に減少しているのが実状である。

このほか，今年は昨年新たに区分名称が決定した新ポリマー「パーマポール」（商品名）ベースの変成ポリサルファイド系シーリング材が，1成分形で上市される見込みもあり，“第2の変成シリコーン”となるか注目されるところでもある。

2．建築業界の動向

2－1　建設投資の動き

昭和60年度の建設投資は，我が国の厳しい財政事情を反映してか，公共事業を除き厳しく抑制された。政府投資については名目で19兆2,900億円（前年度比0.1%減），実質（昭和55年度価格）では18兆7,100億円（同0.8%減）となっている一方，民間投資は名目で31兆3,000億円（同6.6%増），実質で30兆1,000億円（同5.1%増）と増加傾向にあり，建設投資総額は名目で50兆5,900億円（同4.0%増），実質で48兆8,100億円（同2.8%増）となる見通しである。

このうち建築は名目で31兆500億円（同5.6%増），実質で29兆8,100億円（同4.1%増）となっており，この中でも特に民間住宅投資が5.9%増，民間非住宅投資が製造業，商業用等を中心に8.3%増と高い伸びを示している。一方土木については，政府土木投資が0.6%と微増，民間土木投資も4.8%増と堅調な伸びが見込まれ，土木投資全体としては，名目で19兆5,400億円（同1.5%増），実質で19兆円（同0.7%増）と微かではあるがプラスとなっている。

このため60年度の住宅着工戸数については，景気のある程度の回復が期待できること，住宅金融公庫の貸付限度額の引上げなどにより，順調な増加が見

表—2　昭和60年度の建設投資見通し　（単位：億円，%）

項目＼年度	投資額 58年度（実績見込み）	59年度（見込み）	60年度（見通し）	増加率 59/58	60/59
総額	475,600	486,500	505,900	2.3	4.0
（同実質）	(473,600)	(475,000)	(488,100)	(0.3)	(2.8)
建築	274,700	294,000	310,500	7.0	5.6
（同実質）	(273,600)	(286,300)	(298,100)	(4.7)	(4.1)
住宅	147,800	153,800	162,500	4.0	5.7
非住宅	126,800	140,200	148,000	10.5	5.6
土木	201,000	192,500	195,400	▲4.2	1.5
（同実質）	(200,000)	(188,700)	(190,000)	(▲5.7)	(0.7)
公共事業	124,700	122,300	124,500	▲1.9	1.8
公共事業以外	76,300	70,200	70,800	▲8.0	0.9
再掲 政府	198,100	193,000	192,900	▲2.6	▲0.1
（同実質）	(196,900)	(188,600)	(187,100)	(▲4.2)	(▲0.8)
再掲 民間	277,600	293,500	313,000	5.7	6.6
（同実質）	(276,800)	(286,400)	(301,000)	(3.5)	(5.1)

(注)1．下段（ ）内は実質値（55年度価格）である。
2．四捨五入により100億円単位の値としたため，各項目の合計は必ずしも統計と一致しない。

込まれている。

こうしてみると最近の建設投資の傾向は，政府建設投資が抑制されているものの，民間住宅投資が回復傾向にあること，民間企業設備投資が堅調に推移していることなどから，民間投資が建設投資の下支えをしている格好である。まだ予断を許さない経済情勢であることに変わりはないが，民間建設投資の増加など明るい材料も揃っており，一時期の低迷は抜け出し，61年度もこの傾向が続くものとみられる。

2－2　建築着工の動向

我が国の建築産業の動静は，建築用シーリング材の需要動向にも大きく影響を与える。経年別の建築着工面積は昭和49年の第1次オイルショック以後，高度経済成長時代に見られた伸びは見られず，第2次オイルショックに見舞われた昭和55年から58年までは下降線をたどり続けた。しかし，59年に入ってからは，景気の回復に伴い，ゆるやかではあるが上昇傾向を示し，1億9,600万㎡（対前年比3.6%増）となった。60年も第1四半期（1月～3月）が4,260万㎡（前年同期比7.2%増），第2四半期（4月～6月）が5,436万㎡(同2.6%増)，第3四半期(7月～9月）が5,205万㎡(同2.4%減）となっており，1～9月の総計では約2%増，このままいけば年間で横ばいか多少の増加が見込まれる模様である。

シーリング材と関連の深い不燃建築物の着工動向も同様の傾向で，59年は前年比3.6%増，60年に入ってからは，第1，第2，第3四半期の前年同期比がそれぞれ9.0%増，3.9%増，1.1%減，1～9月総計で3.3%増となっている。

新設の住宅建設戸数も48年の190万戸をピークとして2度のオイルショック以降，昭和58年には113万6,797戸まで落ち込んだ。しかし59年は118万7,282戸（前年比4.4%増）と再び増加傾向を示し，60年上半期にはいっても，公共は前年同期比3.4%減であったが，民間は同6.6%増を示し，全体では601,241戸（前年同期比5.8%増）となった。後期も，このまま順調に進めば，120万戸台の確保も期待できるところである。

この住宅建設の回復は持家系住宅の伸び悩みに対し，貸家を中心とする借家系住宅が大きく増加したことによる。この傾向は56年度から続いており，持家系住宅の全体に占める割合は，55年度の73.6%から59年度は58.3%に大きく低下した。

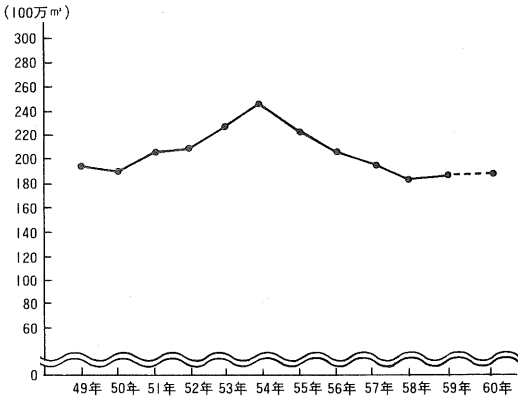
一方，一戸当りの平均床面積は全体で84.1㎡となり，56年度から4年連続して規模は低下した。これは，持家の平均床面積が125.5㎡と前年度より1.4㎡拡大し，順調に伸びたものの，貸家については小規

表－3　建築着工統計(建築統計月報より)※次頁に続く(単位：千㎡)

月間 年間	総数 床面積	用途別床面積							
		居住専門	居住産業併用	農林水産業用	鉱工業用	商業サービス業用	公益事業用	公務文教用	その他
52 (対前年比)	218,509 (101.4)	118,029 (100.7)	20,679 (97.2)	8,305 (104.1)	16,871 (84.5)	27,892 (99.2)	4,348 (104.1)	19,610 (117.7)	94 (103.8)
53 (対前年比)	231,997 (106.2)	124,797 (105.7)	24,954 (120.7)	8,637 (104.0)	16,340 (96.9)	28,157 (101.0)	4,848 (111.5)	24,018 (122.5)	245 (260.6)
54 (対前年比)	245,300 (105.7)	123,945 (99.3)	26,673 (106.9)	8,709 (100.8)	21,879 (133.9)	33,533 (119.0)	5,606 (115.6)	24,781 (103.2)	173 (70.6)
55 (対前年比)	221,722 (90.4)	109.807 (88.6)	22,468 (84.2)	7,665 (88.0)	22,688 (103.7)	29,735 (88.7)	5,337 (95.2)	23,919 (96.5)	104 (60.1)
56 (対前年比)	202,752 (91.4)	100.122 (91.4)	20,028 (89.1)	6,678 (87.1)	21,346 (94.1)	28,170 (94.7)	5,551 (104.0)	20,716 (86.6)	139 (133.7)
57 (対前年比)	195,642 (96.5)	100,672 (100.5)	18,932 (94.5)	5,981 (89.6)	19,089 (89.4)	26,756 (95.0)	4,508 (81.2)	19,530 (94.3)	174 (125.2)
58 (対前年比)	189,281 (96.7)	92,470 (99.9)	18,706 (98.8)	6,301 (105.3)	19,130 (100.2)	30,292 (113.2)	4,262 (94.6)	17,892 (91.6)	228 (131.0)
59 (対前年比)	196,138 (103.6)	92,788 (100.1)	19,082 (102.0)	6,109 (97.0)	25,568 (133.7)	31,137 (102.8)	4,478 (105.1)	16,721 (93.5)	246 (107.9)
60第1四半期 (対前年同期比)	42,641 (107.2)	21,482 (107.6)	4,134 (99.3)	1,208 (110.1)	5,392 (110.7)	6,744 (105.7)	1,304 (145.5)	2,333 (98.8)	45 (95.7)
第2四半期 (対前年同期比)	54,360 (102.6)	27,007 (103.4)	5,579 (102.6)	1,504 (95.3)	7,115 (101.9)	8,200 (100.2)	1,494 (142.2)	3,399 (95.4)	61 (98.4)
第3四半期 (対前年同期比)	52,046 (97.6)	23,257 (98.1)	4,845 (98.5)	1,490 (92.7)	6,544 (95.5)	8,320 (101.3)	1,460 (106.6)	6,073 (91.9)	59 (81.9)

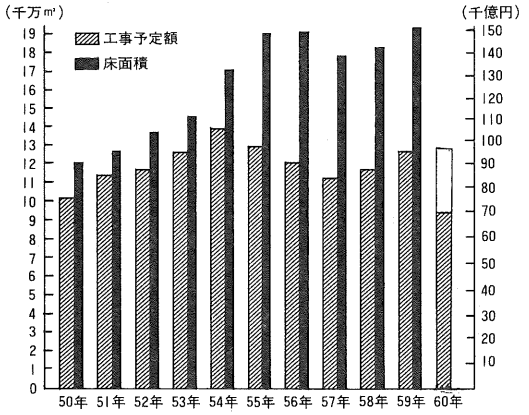
模物件の増加率が相対的に高かったこと，それに伴い持家の戸数のシェアが小さくなったことなどによる。

ところで政府が進めている，昭和56年度を初年度とする第４期住宅建設５カ年計画においては，計画期間中に770万戸の住宅建設を見込むとともに，公的



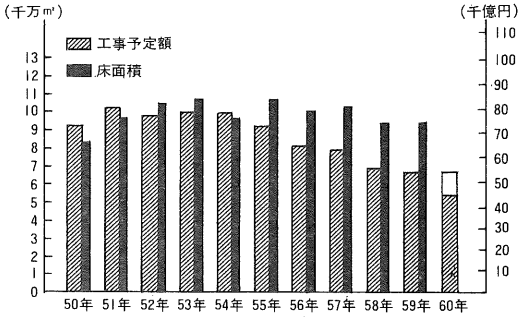
図―１　建築着工面積（総床面積）

（図―１～４とも建築統計年報，月報より。60年は９月までが実績，点線は推定）

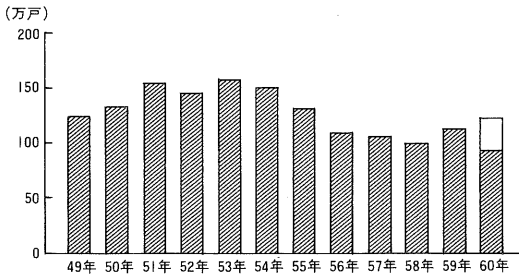


図―２　不燃建築着工統計

（図―２～４とも60年９月までは実績，以降白い部分は推定）



図―３　木造建築着工統計



図―４　新設住宅建設戸数

建築主別床面積			構造別床面積						
公共	民間		木造	不燃建築物小計	不燃建築物				
	会社・法人	個人			鉄骨・鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	コンクリートブロック造	その他
28,571 (115.4)	69,434 (104.4)	120,504 (98.3)	98,820 (98.4)	119,640 (104)	16,330 (129)	45,896 (109)	55,828 (95.1)	1,321 (92.1)	266 (136.4)
32,718 (114.5)	69,940 (100.7)	129,337 (107.3)	104,938 (106.7)	127,059 (106.2)	16,346 (100.1)	52,185 (113.7)	56,920 (102.0)	1,398 (105.8)	210 (78.9)
34,367 (105.0)	80,326 (114.8)	131,148 (101.4)	104,874 (99.9)	140,424 (110.5)	18,333 (112.2)	54,081 (103.6)	66,625 (117.1)	1,100 (78.7)	285 (135.7)
32,842 (95.6)	76,761 (95.6)	112,123 (85.5)	90,304 (86.1)	131,415 (93.6)	18,381 (100.3)	49,168 (90.9)	62,644 (94.0)	989 (89.9)	233 (81.8)
31,268 (95.2)	67,911 (88.5)	103,574 (92.4)	80,304 (88.9)	122,445 (93.2)	17,508 (95.3)	45,376 (92.3)	58,423 (93.3)	876 (88.6)	269 (115.5)
26,792 (85.7)	62,787 (92.5)	106,063 (102.4)	81,384 (101.3)	114,258 (93.3)	15,226 (87.0)	41,213 (90.8)	56,672 (97.0)	806 (92.0)	341 (126.8)
24,179 (90.2)	67,569 (107.6)	97,533 (91.9)	71,526 (87.9)	117,755 (103.1)	16,960 (111.4)	40,375 (98.0)	59,475 (104.9)	663 (82.3)	282 (82.7)
22,073 (91.3)	75,135 (111.2)	98,930 (101.4)	70,970 (99.2)	125,168 (106.3)	16,307 (96.1)	41,817 (103.6)	66,071 (111.1)	618 (93.2)	355 (125.9)
3,559 (92.7)	16,738 (111.8)	22,343 (106.5)	15,714 (104.2)	26,927 (109.0)	4,068 (114.3)	8,285 (106.9)	14.434 (109.0)	79 (82.3)	62 (89.9)
4,411 (89.3)	20,750 (104.9)	29,201 (103.4)	20,992 (100.7)	33,369 (103.9)	4,547 (108.2)	10,474 (96.2)	18,122 (108.0)	133 (85.3)	94 (89.5)
6,830 (87.4)	20,219 (100.6)	24,999 (98.2)	17,271 (94.9)	34,777 (98.9)	4,158 (102.4)	12,401 (99.9)	17,965 (97.8)	180 (83.3)	71 (74.0)

資金による住宅350万戸の建設も図られ，59年度までの実績はそれぞれ460万戸，269万戸と見込まれている。またこれによる住宅対策事業費は59年度が4兆8,964億円(前年度比3％減)，60年度は4兆7,931億円（同2％減）を計上しており，良好な住宅と住環境を求める国民のニーズに応え，居住水準の向上を図るとともに，住宅建設の促進，既存ストックの有効活用等を積極的に推進して行くことにしている。

一方，住宅・都市整備公団においては，59年度までに約121万戸が供給され，60年度には26,000戸の建設が予定されている。最近の新規施策としては，59年度に入居者のライフスタイル，家族の成長に対応して間取り等の変更が可能なフリープラン賃貸住宅の建設などを実施したが，さらに60年度においては，既存賃貸住宅の建替え実施調査，市街地住宅供給促進事業による賃貸住宅の建設などを実施している。また賃貸住宅の大型3DK化，分譲での3LDK化も引き続き進められている。一方58年春からコンクリート系分譲住宅を対象に建物施設の長期保証が打ち出されており，シーリング材については7年の保証が求められている。

建築着工の動向は59年の春先から，景気回復とともに微増ながらも増加傾向にある。また最近では，住宅の戸数面での充足は進んできているが，国民の住生活に対するニーズが高度化・多様化する一方で，住宅ストックの中には，規模，構造，住環境等において，要求に対応しえない住宅がなお相当数存在しているため，この面での住宅建設需要が増大している。しかし，我が国の住宅需要が，昭和40年代のように大幅に増加することは考えられない。その中で居住水準の改善に遅れが見られる一方，住宅ストックが増加しており，建替え需要も増加する状況にある。また，住宅に不満を持つ国民の意識も高まっていることなどから，我が国の潜在住宅需要は極めて根強いものがあると考えられ，今後，数年の内は建替え等需要，世帯増需要あわせて年間138万戸程度の需要が予想されている。

2－3　プレハブ住宅建築

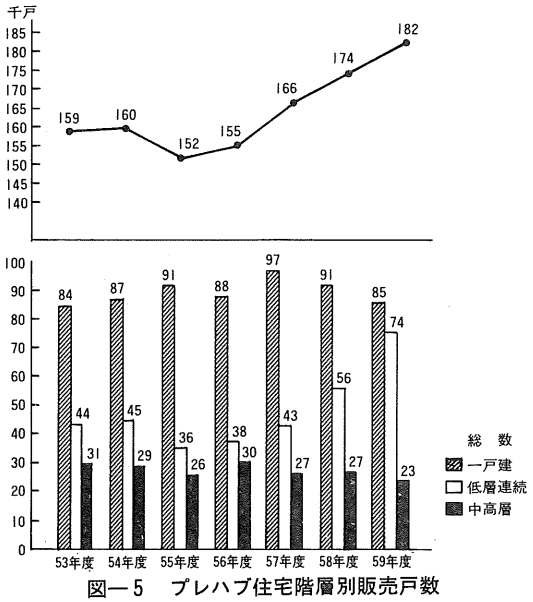
低成長下にある建築業界の中で，プレハブ住宅の販売（完工）実績は，57年度には前年比7.0％増，58年度は4.6％増，59年度は182,497戸で4.9％増となり，再び増加傾向を示している。全着工新設住宅に占める割合でも，過去最高の15.3％（58年度）に次ぐ2番目の15.1％を記録した。

59年度のプレハブ住宅建設動向を規模別に見ると，一戸建住宅は84,799戸でプレハブ住宅販売戸数のうち46.5％を占めている。しかし，57年度58.1％，58年度52.5％と減少傾向にあり，戸数についても6,504

表－4　プレハブ住宅販売戸数（(社)プレハブ建築協会調べ）

単位：戸

		55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
総数	(A) プレハブ住宅販売戸数（完工）	152,433	155,441	166,348	173,939	182,497
	伸び率（%）	2.0	7.0	4.6	4.9	
	(B) 全着工新設住宅数	1,213,859	1,142,732	1,157,100	1,134,867	1,207,147
	(A)／(B)	12.6%	13.6%	14.4%	15.3%	15.1%
	(C) プレハブ住宅生産能力数	259,956	277,972	284,293	271,850	300,319
		(183)	(186)	(187)	(180)	(184)
	(A)／(C)	58.6%	55.9%	58.5%	64.0%	60.8%
構造別	木質系住宅	29,070	26,529	29,570	32,003	33,007
	伸び率（%）	△8.7	11.5	8.2	3.1	
	鉄鋼系住宅	86,036	89,827	100,409	110,284	120,146
	伸び率（%）	4.4	11.8	9.8	8.9	
	コンクリート系住宅（低層）	11,836	9 967	10,227	7,649	7,842
	伸び率（%）	△15.8	2.6	△25.2	2.5	
	コンクリート系住宅（中高層）	25,491	29,118	26,142	24,003	21,502
	伸び率（%）	14.2	△10.2	△8.2	△10.4	



図－5　プレハブ住宅階層別販売戸数

戸（前年比7.1%減）の減少で大きな後退を示している。逆に低層連続は74,439戸で，前年より18,751戸（前年比33.7%増）増え，4年連続で増加傾向にあり，また占有率でも前年度の32.0%を大きく上回る40.8%となっている。中高層住宅については，販売数23,259戸（前年比13.7%減）で，占有率も12.7%と減少傾向を示しており，特に前年度好調だった鉄鋼系の落ち込みが目立っている。

また構造別では，木質系住宅が33,007戸（前年比3.1%増），鉄鋼系住宅が120,146戸（同8.9%増）とどちらも過去最高の販売戸数を示したのに対し，コンクリート系住宅は29,344戸（同7.3%減）とこの6年間減少を続けている。

それぞれの内訳をみると，木質系住宅は，一戸建24,266戸（前年比12.5%減），低層連続8,741戸（同104.9%増）と，低層連続の伸びが著しい。鉄鋼系住宅では，低層連続が62,410戸（同27.5%増）と増えたものの，昨年6倍弱の飛躍的伸びを示した中高層が1,757戸（40.3%減）と約半減したほか，一戸建でも55,979戸（前年比4.2%減）と減少傾向を示している。一方コンクリート系住宅については低層連続に関して3,288戸（前年比32.3%増）と増えたものの，一戸建は4,554戸（同11.8%減），中高層も23,529戸（同13.7%減）で相変わらずの減少傾向にある。

全体的に見れば，一戸建住宅，中高層住宅が減少傾向にあるものの，低層連続住宅が33.7%の増加を見せ，一戸建住宅と肩を並べる戸数となり，全体の伸びを支えている。その中でも特に木質系の倍増に目を見張るべきものがあるが，戸数の上から見ると，鉄鋼系低層連続建住宅に著しい伸びがあった。しかしシーリング材の需要に大きく影響する中高層住宅は，59年度は前年比86.3%と減少傾向であった。

ところで，プレハブ住宅に使用されるシーリング材の種類は8割以上がポリウレタン系である。そのうち2成分形は主としてコンクリート系に使用されており，また木質，鉄鋼系一戸建ではポリウレタン系1成分形，次いで変成シリコーン系1成分形，ブチル系テープ状シーリング材が多用されている。しかし，ポリウレタン系2成分形は混練など現場での品質管理が難しく，将来的には1成分形が主流とな

表－5　階層別・構造別販売戸数（完工）　　（(社)プレハブ建築協会調べ）

			55年度		56年度		57年度		58年度		59年度	
				対前年度比		対前年度比		対前年度比		対前年度比		対前年度比
				%		%		%		%		%
一戸建住宅		木質系	25,436	108.5	22,336	87.8	26,980	120.8	27,736	102.8	24,266	87.5
		鉄鋼系	58,934	101.5	59,435	100.6	63,615	107.0	58,404	91.8	55,979	95.8
		コンクリート系	6,355	109.4	5,801	91.3	6,004	103.5	5,163	86.0	4,554	88.2
		小計	90,725	103.9	87,572	96.5	96,599	110.3	91,303	94.5	84,799	92.9
共同建住宅	低層連続	木質系	3,634	60.9	4,193	115.4	2,590	61.8	4,267	164.7	8,741	204.9
		鉄鋼系	26,827	84.5	29,940	111.6	36,299	121.2	48,935	134.8	62,410	127.5
		コンクリート系	5,481	80.2	4,166	76.0	4,223	101.4	2,486	58.9	3,288	132.3
		小計	35,942	80.7	38,299	106.6	43,112	112.6	55,688	129.2	74,439	133.7
	中高層	鉄鋼系	275	35.1	452	164.4	495	109.5	2,945	594.9	1,757	59.7
		PC工法	19,229	89.0	23,017	119.7	20,081	87.2	18,613	92.7	17,526	94.2
		PS工法	1,088	203.7	387	35.6	116	30.0	160	137.9	126	78.8
		HPC工法	4,982	86.8	5,503	110.5	5,945	108.0	4,840	81.4	3,463	71.5
		RPC工法	192	—	211	109.9	—	—	390	—	387	99.2
		小計	25,766	89.9	29,570	114.8	26,637	90.1	26,948	101.2	23,259	86.3
	共同建計		61,708	78.8	67,869	110.0	69,749	102.8	82,636	118.5	97,698	118.2
合計			152,433	95.0	155,441	102.0	166.348	107.0	173,939	104.6	182,497	104.9

るのではないかという声も聞かれ，また徐々にではあるが変成シリコーン系の使用も増えつつあるようだ。一方，10年以上前に施工されたコンクリート系プレハブ建築のシーリング材のほとんどが耐用年数に達しており，それらの打替え需要が急増している。住宅・都市整備公団や各地方自治体，各住宅管理組合では数年前からこうした建物の改修を具体的に検討し対策を施しており，使用されるシーリング材も，現在のところポリウレタン系2成分形が一般的となっている。またPCプレハブの防水施工業者団体である全日本プレハブ建築防水協会（新井湊会長）では「PC工法の防水改修マニュアル」を作成するなど，そうした改修需要に対応した技術面でのレベルアップを確実に図っているところである。

3．建築関連業界の動向

3－1　メタルカーテンウォール

メタルカーテンウォール（以下MCW）の需要は，日本カーテンウォール工業会の統計によると，国内工事受注総額では54,55年度がそれぞれ204億円,205億円と横這い，56年度は188億円と大幅にダウンし，57年度は大型物件が集中し231億円と上昇した。58年以降は統計方法が複雑化したため，公式の資料は発表されていないが，日本軽金属，不二サッシといった大手サッシメーカーの売上げが減少気味であることから，高層建築に適用されるメタル系全体の使用面積も減少しているものと推測され，MCWの受注総額の減少も必至というところである。

高層建築では一応は安定したシェアを示しているものの，コンクリートカーテンウォール（以下PCCW）より建設コストが割高になることから，中層以下のビルとなるとPCCWの需要が圧倒的に多い。また，経年的な維持管理においてメタル表面の汚れなどの除去に費用がかさむ点もマイナスである。しかし，メタル系は軽量で高層建築に適する種々の物理的特性を持つほか，意匠性に富み，また，工期の短縮が図れ，耐久性に優れるといった利点がある。そうしたMCW，PCCWの両者の特徴を生かし，最近ではコンクリートとメタルを混合したメタル・コンクリートカーテンウォールが一般化しており，今後も期待されるところである。

MCWに使用されるシーリング材は，かつてのポリサルファイド系主流からシリコーン系および変成シリコーン系2成分形主流に急速に変換しつつある。これは50年代中頃からの傾向でその需要構成は逆転したとみられる。また，近年大型物件が減少する一方で，中・小物件が増加していることは，外壁の面積としては減少傾向となるものの，MCWの小型化に伴い，パネルのジョイント部が増加し，単位当りに使用されるシーリング材も増加するものと推測される。

シーリング材の重要性に対する認識が広まる一方，カーテンウォールメーカーやエンドユーザーからは，その水密耐久性など品質に関して不安をぬぐい切れぬ面があるのも事実である。特に最近では，普及率が最も高いシリコーン系シーリング材において，ゴミの付着が問題視されており，目地および壁面（石材質）全体の美観が損われていること。また，シリコーン系に限らずシーリング材全般について耐久性向上に向けての性能改善を求める声が相変らず強いのも事実である。

そうした背景から耐久性に限界のあるシーリング材には頼らない雨仕舞工法も登場し，オープンジョイント構法として定着，大規模物件での採用が目立ってきている。従来工法に比べディテール設計の複雑化，工程数の増加など割高となるが，メンテナンス上の問題が少なく，シール切れなどによる水密機能の急激な低下も考えられず，実績をあげている。一方，信頼性の低下を招いた初期のシーリング事故は，多くが二次シールでの配慮不足に依っていたため，最近では条件設定をより厳格にした目地設計がなされ，シーリング材の特性を生かしたシール工法も見直されつつあるようだ。

全体的な物件数の低下は別として，カーテン

ウォール・パネルの小型化に伴うジョイント部分の増加により，MCWに使用されるシーリング材需要は，安定していくと思われる。しかし，オープンジョイント構法の普及やゴム系の定形ガスケットの進出など，必ずしも楽観は許されないといえよう。

3－2　コンクリートカーテンウォール

MCWの価格がアルミの不況により安定しないのに比して，総じて施工単価が安い点，仕上材の先付技術の定着，防水性，耐火・耐震性が良好な事から，PCCWの59年売上げは前年比約27%増と，低迷を続ける建設業界にあって健闘を見せている。これは東京およびその周辺の第4次ホテル新・増設ブーム，さらに全国各地でのホテルラッシュに支えられたのが原因と見られているが，60年はこの状態が，微増かほぼ横這いになると見込まれている。

高層建築は，昭和50年以前は圧倒的にMCW系が強く，シェアでも50%以上の建物に採用されていたが，前述の長所などから，53年以降はこれが完全に逆転した。この傾向は，最近の耐震設計技術の進歩などにより引続いている。

PCCW工事に使用されるシーリング材としては，従来のポリサルファイド系から，耐久性を最重要視し高層物件を中心として，現在では変成シリコーン系が主流となっている。この傾向は，改修時の目地の打ち替え用途についても同様である。

一方最近では，超高層物件が減少傾向にあるところから，需要の対象は中高層，低層物件となってきている。このためPCCW業界では，これらに適した軽量で肉薄のGRC(耐アルカリ硝子繊維入コンクリート）などの需要が増えつつある。これらは構造的にも超高層物件ほどの耐久力は求められていず従って使用されるシーリング材も，従来のポリサルファイド系が中心となるものと思われる。

PCCW業界では今後こうした，中・低層物件を中心として，上述のほかにも各種セラミックスとの複合コンクリートなど耐久性と美装性を兼ね備えた新たな素材による営業展開を図っていこうとしており，この方面での需要増が見込まれている。

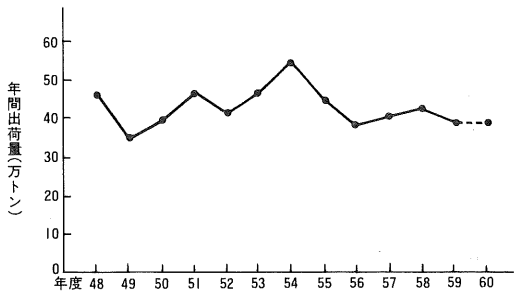
3－3　サッシ

新設住宅着工戸数が59年度は1,187,000戸と前年比4.4%増，60年1～9月は905,000戸で前年同期比3.5%増と増加傾向にあるものの，アルミサッシの生産量，出荷量は減少もしくは横這い状態にある。

生産量の推移を暦年比率で見ると，57年は前年比7.4%増，58年も3.7%増となったが，59年は7.8%減，60年1～9月も8.4%減と減少傾向にある。一方，出荷量では，57年は7.4%増，58年も2.1%増と40万トンを上回ったが，59年6.8%減と40万トンラインを割り，60年1～9月も0.5%減と振わない。サッシメーカー各社とも，新設住宅の増加や景気回復の影響を反映すべく需要拡大を図る方針でいるが，当分は横這いの状態が続くものと考えられる。

サッシでシーリング材を使用する部位は，ガラス廻りおよびサッシと躯体との取り合い部であるが，多量に使用される躯体との取り合いについてはポリサルファイド系が主流であり，近年変成シリコーン系が増加している。その他ポリウレタン系1・2成分形の需要がある。一方，ガラス廻りについては，コスト，施工性の点から定形ガスケットが大部分である。しかし，定形ガスケットの大きさや形が適合しにくいなどユーザーからの要求も厳しくなり，シリコーン系1成分形が採用されるケースもあるが，構造材的な性能改善がポイントとなっているようだ。

既存建築物の改修需要の増加はサッシ業界にも反映している。具体的な改修工法として，従来のハツ



図－6　サッシ合計年別出荷実績
（サッシ協会調べ，60年は推定）

リ工法に代るサッシカバー改窓工法が脚光を浴びている。

サッシカバー工法は，スチールサッシなどの改修を目的として神鋼アルフレッシュ社が開発したもので，現在多くのメーカーで手掛けられている。最近では改修物件の3分の2あまりにこの工法が採用されているが，腐食したスチールサッシに補強スペーサーを溶着し，その上にアルミサッシをビスで止め，あるいは溶着する工法で，従来のように居住者が工期中に移転したり，コンクリートモルタルによる軀体部分の補修の必要がないなどの点が特徴である。工期も従来工法に比べると3分の2ですみ，コストも約80%と割安になっている。

一方，住宅用サッシで北海道を中心とする合成樹脂製サッシの伸びは目覚しいものがあり，この分野へのウレタン系1成分形をはじめとするシーリング材の需要もまた大いに注目されるところである。

3－4　板ガラス

板ガラスの需要動向は表－6にも示されているとおり，普通板ガラス・変り板ガラスが59年は711万5,000換算箱(前年比6.4%減)で48年のオイルショック以降毎年減少傾向にあり，60年1～8月でも454万8,000換算箱（前年同期比1.3%減）と引続き減少が予想される。一方，フロート板ガラス・みがき板ガラスは59年2,634万換算箱(前年比1.4%増)，60年1～8月は1,773万3,000換算箱（前年同期比3.6%増）でひところに比べ伸び率は減少したが，依然として増加を続けている。これは最近のガラスCWなどで表面の平滑性，優れた透視像や反射像が要求され，さらに高価ではあるが耐久性に優れ，長期間使えるため，結局，割安になることなどによっている。

板ガラスの主要用途で全体の6割を占めるといわれる建築用では，新設住宅の着工がここにきて若干ではあるが増加傾向（3－3参照）にあり，この分野への需要増がわずかながらも期待できる。また3割を占める自動車用は輸出を含め，60年全体でほぼ一昨年並と推定される。その他1割は産業用として，主にインテリア（家具，テーブル，鏡）などに使用されている。

板ガラス全体では，前述した新設住宅や産業用板ガラスの増加などから,60年1～8月までで2.6%増と久しぶりに上向きを見せており，業界では今後も引続き需要拡大策を進めていく方針である。

その対象となっているものに断熱複層ガラスおよび安全ガラスがあり，これらは省エネ・安全という社会的な要請をうけての高付加価値製品として需要喚起がなされている。断熱複層ガラスは，すでに北海道など寒冷地で多用されているが，省エネを目途として関係各界から注目を集めており，通産省の統計では59年7.3%増,60年1～8月10.9%増と好調に推移している。

一方，安全ガラスである合せガラス，強化ガラスは破損しても飛散せず(合せガラス)，飛散しても細粒状（強化ガラス）になり，安全性を要求される学校,一般家庭,自動車用として使用されるようになってきた。合せガラスは59年前年比9.0%増，60年1

表－6　板ガラス需要総括表

（板ガラス協会調べ）
（単位：1000換算箱）

種類 / 歴年(昭和)	普通板・変り板ガラス 数量	前年比	フロート・みがき板ガラス 数量	前年比
55年	18,174	97.5	21,519	113.5
56〃	13,315	73.3	20,947	97.3
57〃	11,865	89.1	23,381	111.6
58〃	7,604	64.1	25,965	111.1
59〃	7,115	93.6	26,340	101.4
60年1月～8月	4,548	98.7	17,733	103.6

換算箱：種々の厚味の板ガラスを2㎜厚味に換算して，1箱＝9.29㎡で計算

表－7　複層ガラス生産・出荷量（通産統計）

（単位：1000㎡）

	安全ガラス 合せガラス 数量	前年比	強化ガラス 数量	前年比	複層ガラス 数量	前年比
55年	5,292	135.5	34,472	120.4	733	—
56〃	5,234	98.9	34,550	100.2	775	105.8
57〃	5,375	102.7	34,188	99.0	974	125.6
58〃	5,952	110.7	37,713	110.3	935	96.0
59〃	6,489	109.0	38,843	103.0	1,003	107.3
60年1月～7月	4,535	122.6	24,231	104.7	576	110.9

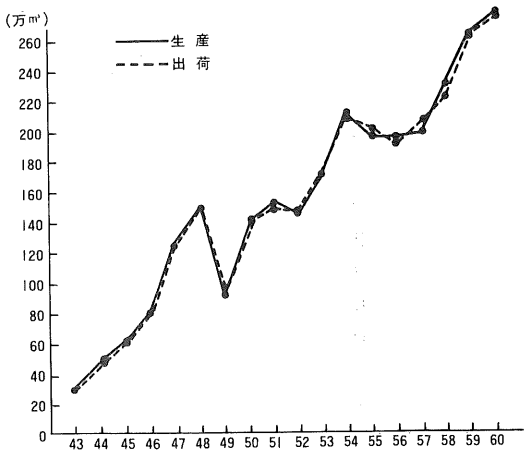
～7月22.6%増，強化ガラスは59年3.0%増，60年1～7月4.7%増を示した。このうち合せガラスは62年より自動車のフロントガラスへの使用が法制化されるためこの方面での需要増が見込まれる。

また，窓ガラスの安全対策として，弾性シーリング材およびゴムガスケットの使用が定着し，かつてのガラスパテの打替えも行なわれている。今後も社会的ニーズにマッチした板ガラス製品の需要増などにより，シーリング材の需要も性能改善への要求に対応しつつ徐々に増加していくであろう。

3－5　ALCパネル

ALC板は，1934年にスウェーデンで初めて工業生産化され，わが国においても1964年から生産が開始されている。現在，JIS 製品として市販されているのは，シポレックス，イトン，ヘーベル，デュロックス（いずれも商品名）の4種である。

ALCパネルの主な需要分野（外装材として）は，中層建物，店舗併用住宅，低層戸建住宅などである。昭和59年度の出荷量は268万3,133m²（前年度比13.7%増，通産省調べ，図－7）で，60年度に入ってからも，新設住宅の増加に伴い，4～9月までで146万1,022m²（前年同期比8.4%増）と好調に推移している。また生産量でも，59年度が12.1%増，60年4～9月でも4.7%増と依然として増加傾向を示している。これは，ALCパネルが中低層建築，店舗併用住宅に限らず，一般住宅や内装間仕切り用として用途が多様化してきたこと，耐火建築材料として住宅金融公庫の融資対象となっていること，また昨年改定となった建設省建築工事共通仕様書で，ALCパネルが一般床と外壁にも適用されるようになったことなどが影響しての結果であろう。メーカーとしてもユーザーの要求に対応して意匠面での製品開発を進めるなど，今後も一層の需要拡大を図っていく方針である。



図－7　ALC板生産・出荷統計（ALC協会調べ）
（60年度は4～8月実績による推定）

ALCパネルは断熱性が高く，鉄筋コンクリート造や木造に比べて，暖房に必要なエネルギーは約半分で済む。また遮音性に優れ，防音材としての効果もある。さらに現在，各地で進められている都市建設の不燃化においては，耐火建材としての評価も高い。これらの要因も加え今後の需要増加もかなり期待できるものとメーカー側でも捉えている。

ALC パネルは，外壁用が約70%以上，残りは屋根，床，間仕切に使用される。ALC建物に使用されるシーリング材は，全体の90%近くがアクリル系で，パネル接合部の目地や，サッシ廻り，他部材との接合部である。安価であることと，作業性の良さが多用される要因で，ALCメーカーも標準品として設定している。しかし，スライド構法など動きの大きい目地や建物全体のグレードアップを図る場合はポリウレタン系，変成シリコーン系などが使用され，近年徐々に増加の傾向にある。

ALCパネルは，一般住宅への普及，省エネ，不燃化といった時代のニーズによって今後も少なくとも現状レベルは維持できるものと推測される。また，シーリング材に関してはユーザーの要求性能の高度化とコストバランスによって選択される傾向になりつつあり，アクリル系一辺倒から変化が見え始めている。

4．メンテナンス用途のシーリング材

建築後10年以上を経過した建物の外壁を中心とし

た改・補修工事が，ここ数年来急激にふえ始めている。近代建築の軽量・柔構造化とともに拡大普及したシーリング材であるが，これら改・補修期にはいった建物に対する需要も，ここにきて用途分野の一画を形成するに至っている。

一般的にはメンテナンス用途として分類されるが，これを細かく分けると①シーリング材の寿命到達に伴なう全面的再施工②建物の用途変更に伴なう防水・気密性能向上を目的とした工事――となる。また，シーリング材自体とは関係なく，他部材の改修，例えばサッシの取替えなどに付随するシーリング工事，外装材塗替に伴なうシーリング工事なども頻繁に行なわれている。

現在行なわれているメンテナンス用途としてのシーリング材で最も多量に使用されているのが，上記の②である。建物の経年別に見た外壁からの漏水は，8～15年に多発している傾向があることからシーリング防水の改修工事も，この時期に頻度が高くなっている。これは，やはり寿命到達に伴なう事例であるが，材料自体の持つ耐久性能との比較，今後の期待耐用年数により，その後の改修工法仕様が選定されることになる。シーリング材普及過程における設計伸縮率の漸減傾向と，それに伴なう目地設計の変化なども改修工事の要因となっており，メーカー，施工業者(ゼネコンおよびサブコン)，さらに建物のオーナーに至るまで，その材料および施工・管理技術に注目するようになってきた。

そうした点で，ひとつの標準となるのが，建設省総プロ活動によるシーリング防水の劣化診断，補修・交換，総合耐久設計指針である。この運用により実際の補修工事への実施基準が得られ，また，適正な工事，目地設計，材料選定への目安としても適用できるのである。

当工業会もこの作成作業に協力させていただいたが，この成果はあくまで指針としてまとめられたもので絶対的な判断基準となるものではない。今後の実用を経て，試行錯誤的に運用が図られるものである。

前述したように，今年は総プロの成果が実用段階に移される年でもあり，従来のように劣化即打直しというパターンでは技術面でも対応しきれなくなるのは明らかである。劣化現象という現実に対し，その原因と解決策の究明がより厳格になると考えられ種々の情報に積極的に対応することが必要である。

5．土木分野のシーリング材

ここ数年来，公共投資政策は，大幅な財政赤字・国債残高の累積といった財政事情に強く規制されて，抑制政策がとられている。一方，民間消費・内需も，新設住宅着工戸数などに微増傾向が見られるものの，総体として伸び悩みの傾向にある。このような中で，政府施策として，建築工事前倒し発注など公共事業の執行促進が図られているが，実質予算総枠は減少傾向にある。60年度についても，予算規模は59年度より微減傾向で推移，大幅な変動要素は見当たらぬままである。このような状況を背景にして，道路，治水，下水道，都市公園など土木関連各事業の現行の五箇年計画進捗率は，極めて厳しい状況となっている。

土木分野で用いられるシーリング材としては，注入タイプおよびエラスタイトなどのアスファルト系を主流として，ポリウレタン系，ブチルゴム系，エポキシ系など各種あるが，このほかにもクロロプレンゴムや EPT を主成分とした成形タイプの目地材，強度・接着性を重視したポリマーセメント，発泡樹脂や木質材料を使用した板状のものなど多岐に亘っており，構造物の用途・種類，目地の目的によって選択使用されているのが実状である。また，土木構造物の場合，目地幅が大きく大規模物件が多いこともあり，性能とともに使い易さと価格が選択に当っての最大のポイントとなっている。

〈道路・橋梁目地〉　目地材が使用されている道路はセメント舗装道であり，道路総延長はアスファルト舗装道に比べるとはるかに少ない。トータルコスト面の優位さから年間1,000km前後の施工が確保さ

れ，第9次道路整備5箇年計画のもと，本州四国連絡橋や関越高速自動車道などの高速道路を中心に施工実績を伸ばしている。

現在，用いられている道路目地材は，成形タイプと注入タイプがあり，成形タイプには木質系，ゴム・樹脂発泡体，瀝青質繊維系，エラスタイトなどがあり，木質系，瀝青質系が主流をなしている。注入タイプには，加熱注入タイプのゴムアスファルト系，常温硬化型のポリウレタン系，ポリサルファイド系，シリコーン系などの弾性シーリング材があるが，これらの製品についてはコストを含め要求性能のすべてを満足させるものは見当たらず，㈳日本道路協会では加熱注入タイプのゴムアスが妥当としている。弾性タイプのシーリング材は，オイルピット，料金所，インター周辺など耐油性や施工性など特殊性能が要求される箇所に使用が限られているようだ。また，最近は化粧性が要求される遊歩道やコンクリート塀などに，ポリウレタン系を主体とした弾性シーリング材が頻繁に用いられている。

〈鉄道・高架橋関係〉 鉄道・高架橋関係では，補修も含め，近年，総体的に弾性シーリング材の使用が顕著になっており，「千葉都市モノレール」建設工事など新設物件を中心に，徐々にではあるが施工実績を伸ばしている。なかでも，国鉄などでは，ポリサルファイド系が一般的な普及を見せており，新幹線の駅舎など要求される仕様が高いところでは，外壁の金属パネルの目地止め用などをはじめとして，シリコーン系も使われている。また，駅舎のALCパネルなどには，ポリウレタン系が用いられている。

高架橋の場合は，ゴム系のガスケットタイプが多用されているが，橋桁の鉄部とコンクリート部の境目に，錆止めおよび亀裂誘発用の目地としてシリコーン系が使用されているような例もあり，また，変形能力と結合接着性に富む低モジュラスタイプの弾性シーリング材の使用も検討されている。さらには，地下鉄のセグメント部や簡易補修材としてもシーリング材が採用されており，これらは成形タイプのゴムガスケットと併用されるケースも多い。また，地下街も含めた駅関連施設に，明瞭・清潔感を目的として化粧目地の採用が目立っており，シーリング材も多用されている。

〈その他〉 近年，公共工事の中でも重要施策となっている市街地再開発での土木工事，共同溝，農業用水路，水処理施設などにシーリング材の適用が徐々に浸透してきている。特に，農業用水路などにはポリウレタン系の採用が増加しつつあるようだ。総体として変形能力とともに強度が要求されるこれらの土木分野では，作業性の良さを優先して使用している面もあるが，価格と要求性能に見合った適材適所の使い方が，今後は一層，進展していくものと思われる。

6．ルートセールス分野でのシーリング材

シーリング工事専門業者以外のいわゆるルートセールス分野において，近年，シーリング材の需要増は目覚しいものがある。全般的な傾向として，この分野では1成分形の使用が圧倒的に多く，シリコーン系が大半を占めているが，変成シリコーン系ならびにポリウレタン系の伸びが目立っており，DIYホームセンターや工具店ではコーキングガンの売れ行きが目立っている。

弾性シーリング材の性能メリットが一般利用者に浸透し，1成分タイプのグレードアップで一層手軽に扱えるようになったことなどが要因となっている。また，こうした傾向と同様，左官業，吹付業，塗装業など防水工事周辺業者がシーリング工事を請負うケースもふえている。ただし，この場合，直接手掛けることは単純な工事程度のもので，大型もしくは複雑な物件に関しては専門業者に任せているのが実情である。

機械工具関係

機械工具卸商には年間売上高2,000億円にも及ぶ総合卸と独自の専門分野をもつ専門卸とがある。専門卸の場合は，シーリング材と全く関係のない業者も多いが，総合卸では結構取扱い品目に含まれてお

り，現在未着手でも近い将来には手掛けようと計画している業者も多い。

例えば，都内の中堅機械工具卸商では，年間総売上高約12億円，そのうちシーリング材は2,000万円程度で，99%がカートリッジタイプのシリコーン系1成分形，売り先はほとんどが末端工具商である。

また，末端工具店などでは，主力製品とは言えないまでも取扱い品目としている店がふえ，総売上げの1%程度(社員4～5人で年間30～40万円)，月当り20本入ケース1箱強のペースというのが普通のようだ。やはり，シリコーン系が多く次いでポリウレタン系となっており，売り先は，鉄工所，精密機械メーカー，一般家庭などである。

建築金物関係

建築金物関係でのシーリング材の流れは，メーカー代理店もしくは1次卸店から建築金物卸商へ，ここから建築金物店，ガラス卸商，建材店などに流れるが，末端に行くほど不確定要素が強くなる。

取扱い量は，最近増加傾向にあり，中堅どころで月当りシリコーン系を中心に1,000本は販売しているが，業界の中でも不況色が濃い分野で，倒産業者も出るなど販売価格もかなりの低水準である。大工や設備業者などを客筋とする末端金物店でも取扱いがふえており，一般店ではシリコーン系，変成シリコーン系，ポリウレタン系，アクリル系，油性など月当り20～30万円程度の売上を出しているようだ。

工務店等関連工事ルート

いわゆる工務店の場合，外壁のシーリング工事については専門業者に委ねているが，内装については自前で手掛けることが多くなっている。特に，補修・改修となると全面的に手掛けるケースがふえているようでシーリング材の使用量も急増している。

1箇月に2～3件の新築工事を請負う工務店では内装のみで月当り10本未満，浴槽や台所のタイル目地などにシリコーン系もしくは変成シリコーン系を使用している。

塗装業者については千差万別で，大手・中小あるいは専門分野別でシーリングに対する取組み方も様々である。

中・小業者が直接シーリング工事を手掛けるケースはほとんどない。しかし，特殊なケースで，橋梁塗装を専門とする業者が最近の工事で，橋桁の鉄部の防錆のために，鉄部に接するコンクリートを斫りシーリング材を充填するという工事を請け負った。1成分形・2成分形シリコーン系を使用したが，この現場の成功で，シーリングにも積極的に取組もうという方針らしい。

こうした例が，それほどあるとは考えられないが需要の底辺が広がりを見せている一例であろう。また，大手塗装業者は自社で直接手掛けることも検討してはいるが，専門業者と提携して外壁工事を受注していこうという傾向も持っているようである。

あまり目立つ職種ではないが，建物の正面玄関などのテント取付業者もシーリング材を頻繁に使用している。建物とテントの接着面の防水工事用にシーリング材を常用しており，普通，間口2間のテント工事でカートリッジ約1本が使用されるようだ。中堅業者で，取替工事を含め月60～70物件をこなし，シーリング材使用量も月当り60～80本。シリコーン系のほか油性，ポリサルファイド系が使用されている。仕入先は，同業者団体である東京天幕雨覆組合からが40%前後，そのほかは塗料店などからの直接購入となるようだ。

このほか，ダクト等設備業者，ガラス工事店，自動ドア取付業者などの専門業者も従来からシーリング材を手掛けており使用量も多い。

DIY ルート

DIY 分野でもシーリング材の売上げが伸びている。DIY 店1店でのシーリング材の売上げは総売上の1%にも満たないが，DIY 店自体が巨大化し店数もふえていることから，雨漏防止やひび割れ注入・隙間充てんなどの目的で一般ユーザーからセミプロまで着実な伸びを見せている。

規模にもよるが，各店ともシリコーン系，変成シリコーン系，アクリル系が主体で大型店になるほど種類も豊富になる。

価格も全体的に安定しており，各品ともメーカー希望販売価格の１割引程度で売られている。また，ひと頃のチューブタイプよりも，カートリッジの方が人気が高まっている。

DIY 産業は，近年，販売店，DIY 商品メーカー・商社，さらにユーザーの意識向上運動が着々と成果を生み，内部的な充実が進んでいる。DIY アドバイザー制度，日本 DIY 大学，DIY 標語キャンペーンなどが運営され，着実に普及している。DIY 産業自体としての物量的な伸びは，ここにきて停滞気味であるが，これは販売ルートのどこで線引きを行なうかの問題で，これまでに形成された DIY 意識の昂揚による潜在需要層の拡大が表面化するには，まだ時間を要すると思われる。シーリング材の需要分野としても依然期待の持てるところである。

以上の分野では，弾性シーリング材を使用して工事が非常にやり易くなった，これほど使い易いものとは知らなかった，という声があちこちで聞かれた。一方，工務店などの少量使用者からは，使い残した材料を容器の改善などで有効に利用できないものか，ガラス工事業者からは，速乾性の材料はないだろうか――といった要望もあった。

底辺の広がりとともに要求性能の多様化が顕著になってきているのは確かで，今後のカギは一般利用者を含めたユーザーの要望にどこまで対応できるかにかかっているとも言えそうである。

7. 自動車用シーリング材の動向

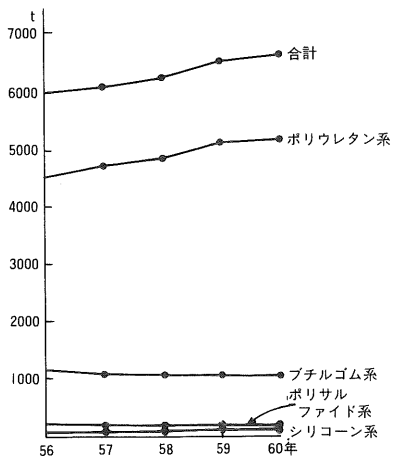
今年度の自動車業界においては，対米輸出自主規制枠の拡大もあって輸出が大幅に増加したことにより，自動車生産台数は，昨年同期比で着実に伸びている。しかし長期的にみれば国内および海外市場の厳しい環境を考えると，販売台数の大幅な伸びは期待できず，激しい競争下にある。この中で自動車材料の果たす役割りはますます重要になっている。今年も華々しさはないが，車体の軽量化，燃費向上，省資源，原価低減といった地道な研究開発はもちろんのこと，自動車に要求される個性化，高性能化，高品質化などの面で材料の果たした役割は大きい。今後の多様化の時代に対応するためには，新材料，新技術開発に負うところが多く，自動車材料の一層の開発，発展が望まれている。

自動化進むシーリング工程

ウィンドガラスのダイレクトグレージング用シーリング材には，１成分形ウレタンが用いられており，従来の２成分形に比べ工程管理上大幅に合理化されるとともに，ロボットによる塗布作業が進展している。さらに１成分形ウレタン用プライマーの耐候性向上品も開発，一部採用されており，ガラスへのセラミックコーティング廃止によるコストダウンが図られている。

また軽量化の面では EPDM のウェザーストリップなどは発泡倍率を上げ，より低密度化を図っている。

急速な自動化，機械化が進む自動車製造ラインの中で，塗装工程は最も遅れており，ようやく昭和58年頃から，ロボットを使った自動シーリング装置が実用化され始めた。その方法は多関節型，または極座標型ロボットをラインサイドに設置して，その先端にシーリングガンを固定して，ボディーのパネルの合せ目を教示に従ってシーリングするというものである。自動化に当ってのポイントは①ボディーと



図―８　自動車用シーリング材の出荷量

ロボットの相対位置精度の確保②シール速度・精度・信頼性に優れたロボット③シーリング材の性状と供給方法，塗布方法④塗布部位確認のためのセンサーの開発――などが挙げられる。日産自動車・永石敏氏は自動車技術会議に発表した「塗装工場の自動化の現状」の中で，自動化の問題点について次のように述べている。『①については，現在のシーリングライン上でのワークは，ドーリー，コンベアの着座精度，コンベアのサージング対策が不充分なため，いろいろな工夫が必要となる。ひとつの方法は，既存のシーリングコンベアとは別に専用のタクトコンベアを設け，各ステージでは，ボディー位置決め装置にてボディーを浮かして固定し，左右に配置したロボットでシーリングを行なわせる方法が考えられる。しかし，この方法はコンベアの改造費用が高く，スペースも必要で，既設工場への導入は困難を伴なう。既存のシーリングラインにそのままロボットを持ち込むとしたら，ロボットに走行機能が必要となり，かつワークとの相対位置ズレを矯正しながらワークに追従する高精度の自動追従装置が必要となる。この方式が開発されれば，シーリングの自動化は，急速に普及すると思われる。②の課題については，電動式で精度が良く，速度も早いロボットが開発実用化されつつあるが，今後はもっとスリムなロボットの出現が待たれる。③については，高チクソ性を持たせたシーリング材を高圧（80～120kg/㎠）で供給し，ノズル先端を被塗物より40～60㎜離して，吹き付ける方法にて自動化を可能にした。④については，①での位置精度の多少のバラツキを補い，かつ塗布を確実に行なうため是非必要とされており，現在は，タッチ式と光学式とが紹介されている。』

いずれにしても，乗用車1台当りのシーリング長さは60～80mといわれており，これらすべてを機械でシーリングし，かつきれいに仕上げるには，解決すべき問題点が多く残っている。

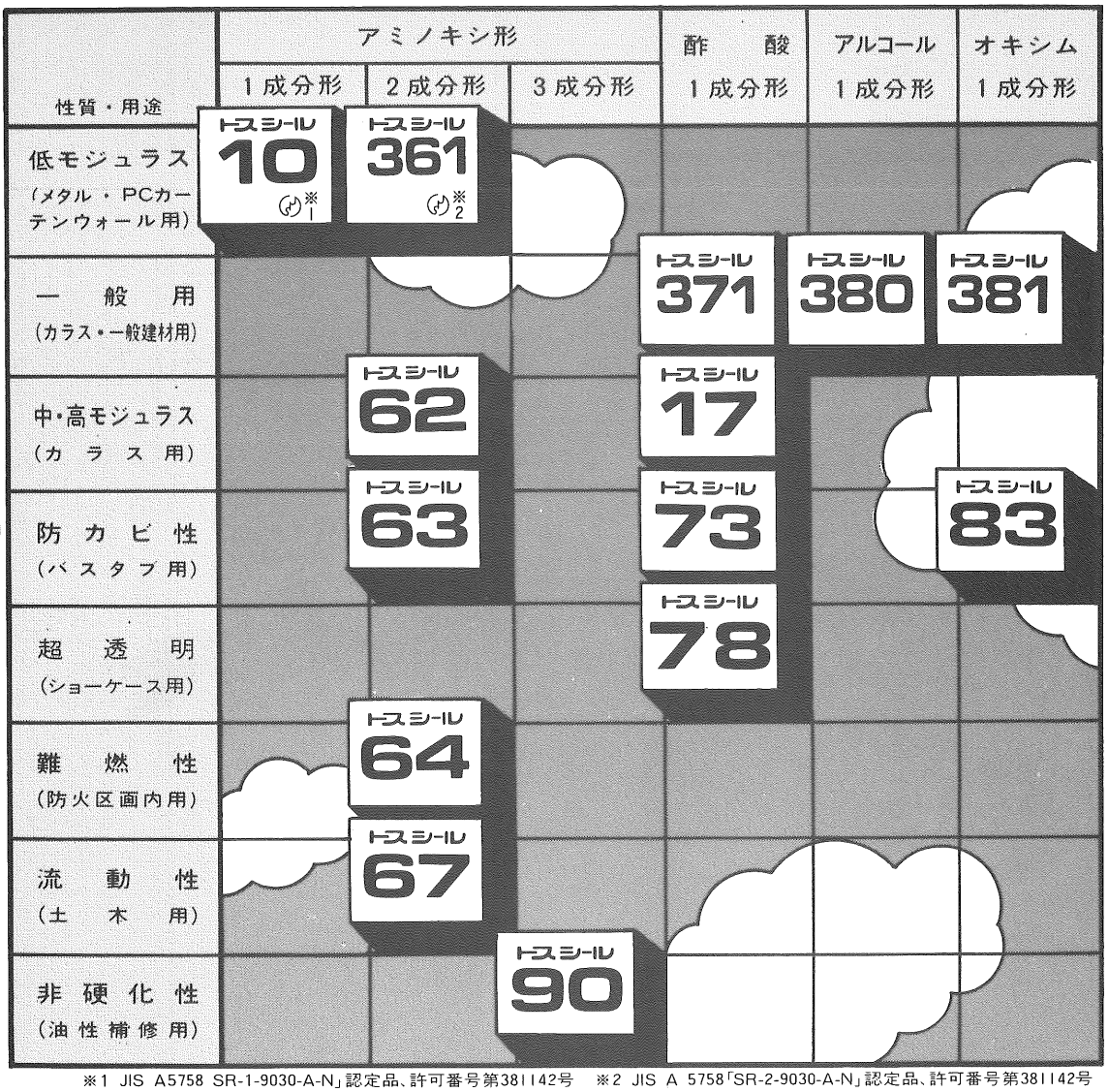
防錆対策としてのシーリング材

従来シーリング材は，水やほこりの侵入防止が主目的であったが，最近では，塗料ではカバーが困難な部位の防錆処理法としても一般化するようになった。またその適用範囲も，エンジンフードからエンジンルームへ，また乗用車からトラックへと広がっている。

この背景として，オイルショック以後の省エネの要求により，車の寿命を決定づける主要因の一つである腐食劣化の改善が特に耐久消費の国柄である欧米で関心事となったことがある。現在では日本車の主要輸出先である欧米，カナダにおいて，道路凍結防止塩の使用量が年々急増し腐食の害が問題になっていた。このため日本でも防錆防食対策の必要性が強く認識されるようになってきた。

北米での凍結防止塩の散布量は1960年が200万トン，1970年は800万トン，1980年は1200万トンと増加の傾向を示している。一方，日本でも高速道路を中心に，都市部でも交通緩和のため散布されており，最近東北の都市部で，道路保全の面から，スパイクタイヤの使用が規制されつつあり，その結果，凍結防止塩の使用量増加が予測される。

そのほか大気中の亜硫酸ガス，窒素酸化物，酸性雨などが自動車腐食の要因と考えられるため，今後，より高度な防錆対策が必要となるであろう。



※1 JIS A5758 SR-1-9030-A-N」認定品、許可番号第381142号　※2 JIS A 5758「SR-2-9030-A-N」認定品、許可番号第381142号

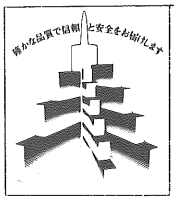
信頼のブランド

トスシール

各種用途に適した製品のラインナップ

超高層ビルに数々の実績があるトスシール。この実績が保証する品質の確かさ、十分なる技術サービス体制、豊富な製品ラインが、どのような用途にもきっとご満足のゆく製品となって、皆様のお手許にお届けすることができます。

●建築用シーリング材に関することなら、まず、東芝シリコーンにご相談ください



Toshiba SILICONE
東芝シリコーン

東芝シリコーン株式会社
本社/〒106 東京都港区六本木6-2-31☎ (03)479 -3501
支店/大阪・名古屋●営業所/札幌・仙台・金沢・広島・福岡

セメダイン　理想のシーリング材

■可使時間が長く、しかも弾性の発現が早いため硬化途中の動きに対してすぐれた追随性を発揮し、動的耐久性にもすぐれています。
■年間を通して広い温度範囲下で安定した良好な作業性が得られます。
■目地を汚染することがありません。
■ほとんどすべての被着体にすぐれた接着性があります。
■耐熱・耐水・耐候・耐オゾン・耐薬品性にすぐれ、安定した性能を維持します。

オールラウンド 新登場 シーラー!

メタルカーテンウォールから　一般RC造までピシリと決める。



2成分形変成シリコーン系弾性シーリング材

POSシールタイプII

色
白
レンガ
ブロンズ
グレー
黒

接着剤とシーリング材の総合メーカー
セメダイン株式会社
本　社　〒141 東京都品川区東五反田4-5-9 ☎(03)442 1341

東京支社 ☎(03)442 1311　札幌営業所 ☎(011)261 1471　八王子営業所 ☎(0426)46 4851　神戸営業所 ☎(078)371 6291
東京支社北分室 ☎(03)845 5461　仙台営業所 ☎(0222)94 6167　静岡営業所 ☎(0542)52 3031　岡山営業所 ☎(0862)32 8412
大阪支社 ☎(06)251 3555　新潟営業所 ☎(0252)45 2281　金沢営業所 ☎(0762)51 3501　広島営業所 ☎(082)249 0941
名古屋支店 ☎(052)781 3166　吉河営業所 ☎(0280)92 3338　豊橋営業所 ☎(0532)62 5164　福岡営業所 ☎(092)741 7188

シーリング防水の適材適所表

——その誕生から運用まで——

技術委員会

Ⅰ．誕生までの経緯

1．建設省での発端

これは大変なことになった，どうしたら良いのだろうか，という思いで足どりが重かった。もう1年半も前の59年6月，建設省官庁営繕部監督課からの帰りのことである。

「『共仕』9．7．4表のA種は良いとしても，B種とC種には耐久性区分が違うとはいえ同じ基材名のシーリング材が重複して入っているではないか。これではどう使い分けて良いのか，極く少数の専門家以外には全く分からない。メンブレン防水のように，用途や工法に適した材料の組合せ，あるいはその逆の組合せを大至急作って欲しい」といわれたのであった。

そして，これが『シーリング防水の適材適所表』を作る直接の引金になったのである。

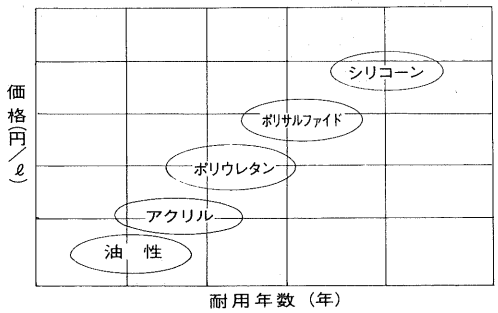
2．背景にあった技術的成果

(1)　『シーリング防水の適材適所表』の原型は，ある建設会社が7～8年前に作成したシーリング材の選定表であり，その会社のシーリング工事に関する社内資料に掲載されていたものである。この表は，JIS A 5757（建築用シーリング材の用途別性能）に基づいていること，部位・被着体を細かく分類しそれを組合せていること，適応するシーリング材には全て○印か△印がつけられていることなど非常にユニークなものである。

あるシーリング材メーカーではこれをベースに，被着体の種類を簡略化し自社のシーリング材と組合せた表をつくり社内資料に載せているのを見たことがある。

(2)　3～4年前になるであろうか，住宅・都市整備公団の工事監督部施工指導課から，「シーリング材の価格と耐用年数をx・y軸にとり，これにシーリング材の種類をプロットした図（図―1参照）ができないか」と要望されたことがある。その時に，「シーリング材には建物の構造・部位などを含む広義の被着体に対する適・不適があり（例えば，シリコーン系シーリング材はコンクリート壁にはほとんど使用されていないし，アクリル系シーリング材は金属パネルを用途としていない），これらを包含した図を作ることは不可能であろう。しかし，適材適所的な考え方をベースにした被着体別の図（例えば，コンクリート壁の打継目地でシーリング材表面に塗装する場合の価格・耐用年数の相関図）ならば作れるかもしれないので研究課題としたい」と回答したことがある。『シーリング防水の適材適所表』とはややニュアンスが異なるが，適材適所的な考え方をまとめる必要性を痛感したものである。

(3)　丁度同じ時期であったと思うが，技術委員会のなかに，建設省の建築工事共通仕様書や施工監理指針の昭和56年版の改定作業に対応することと，当時日本シーリング工業会が提唱していたシーリング



図―1　シーリング材の価格と耐用年数

工事に対する3年間の保証年限を見直すことを目的とした建設省・保証問題ワーキンググループ（略して建保WG）が活動していた。このなかで，広義の被着体がシーリング材に対して要求する性能を洗い出したことがある。この作業を進展させれば『シーリング防水の適材適所表』に結びついたものと思われるが，残念ながら中断せざるをえなかった。それは，その後技術委員会の重要な業務となった建設省総合技術開発プロジェクト：建築物の耐久性向上技術の開発，いわゆる耐久性総プロへの協力や，日本シーリング工業会がその母体となって開始したJIS A 5758（建築用シーリング材）1976の改正作業などに力を注がなければならなかったからである。

しかし，中断したとはいえ，この洗い出し作業は決して無駄ではなかったのである。その例を**表—1**に示したが，この表に適応するシーリング材を組合せれば『シーリング防水の適材適所表』の叩き台程度にまで出来上っていることが分かるであろう。

(4) 57年に米国で開催された ASC（Adhesives and Sealants Council）の国際会議に日本シーリング工業会が初めて参加し，正式代表を派遣したことを覚えているであろうか。この時，日本のシーリング事情と日本シーリング工業会の活動状況をPRするために，英文パンフレット『Construction Sealants in Japan』を作成した。

これに，シーリング材別に使用されている被着体の比率を推定した図（**図—2**参照）を掲載しているが，これは前述した建保WGの研究の副産物ともいえるものであろう。『シーリング防水の適材適所表』を作成するには，どんな被着体にどんなシーリング材が使われているのかという実態調査が必要であるが，英文パンフレット作成を機におよその推定を試みたものである。

3. 作成に当っての方針

このような背景があったので，建設省から用途とシーリング材の組合せを要望された時に，『シーリング防水の適材適所表』を作ろうと決断するのが早かったのである。早速，『シーリング防水の適材適所表』のひな型を作り，次のような考え方を基本として検討を開始した。建設省から要望を受けて帰ってきた4～5日後のことである。

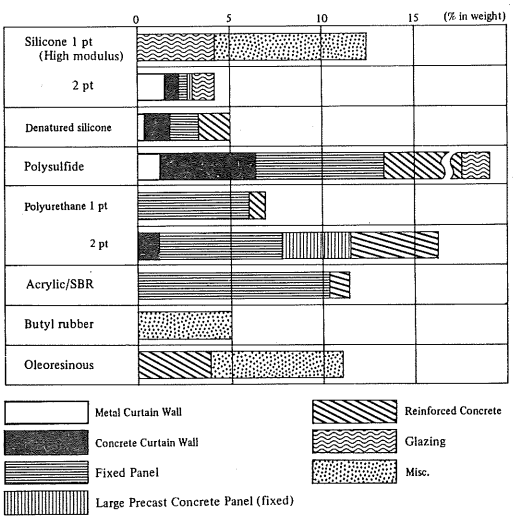
(1) 当時既に技術委員会内部に定着しつつあった基本的概念として，如何なる被着体に対してもシーリング防水としてシーリング材が適用される場合は少なくとも10年の耐用年数が得られることとする。

(2) 耐用年数には，防水機能だけではなく，被塗

表—1 被着体別要求性能

被着体＼シーリング材に対する要求性能			耐疲労性	耐熱性	耐候性	表面塗装性	美観	部材強度、特殊被着体
メタルカーテンウォール	方立，笠木，柱		A	A	A			
	パネル		A	A	A			⊗
	サッシ		A	A	A			
	ガラス回り		A,B	B	A			
	アルミキャスト		A	A	A			⊗
PCカーテンウォール	PC板	吹付	A,B	B	A			
		石，タイル	A,B	B	A		⊗	
	サッシ回り	打込	C	B	A		⊗	
		後付	A	B	A			
	ガラス回り		A,B	B	A			
S造外装パネル	ALC板	ユニット間	B	B	A,B	A		⊗
		板間	C	C	B	A		⊗
	サンドイッチ板他		B	B	A,B	B	⊗	⊗
	GRC，穴あきPC板，グラサル他		B	B	A	B	⊗	
	金属パネル(含ホーロー)		B	A	A		⊗	⊗※
	連窓サッシ		B	B	A			
壁式PC（含HPC）	PC板		B,C	(B),C	B	A		
	サッシ回り		C	(B),C	B	A		
RC造	打継・誘発	吹付	C	B,C	A,B	B		
		石，タイル	C	B	A		⊗	
	サッシ回り		C	B	A,B	B		
	ガラス回り		B	B	A			
	サッシ水切，笠木		A	A	A			⊗※
ガラス	サスペンション		B	B	A			

耐疲労性（動きの大きさ）	A	20～10% 9030
	B	10～5% 8020，7020
	C	5%～ 7010
耐熱性	A	金属
	B	コンクリート(片面金属)
	C	非露出
耐候性	A	露出
	B	非露出
表面塗装性	A	有
	B	有・無どちらか
美観(表面及び周辺)	⊗	目立つ
部材強度	⊗	関係有
特殊被着体	※	有



図—2 Current Applications by Chemical Types

装性や非汚染性などのような2次的な機能も加えることとする。

(3) 経済性も考慮し，A種からF種までのシーリング用材料の種類のうち被着体に適応する最も低価格の種類に○印をつけることとする。

(4) 硬化過程のムーブメントへの追従性や汚染防止処置などについて注釈をつけることとする。

(5) シーリング材の銘柄間の差を考慮し，○印をつけた組合せについては，どんな銘柄を使用しても10年の耐用年数がえられるよう安全側であることとする。

(6) 実績を重視するが，経験や知識から安全と考えられる組合せには○印をつけることとする。

4. 適材適所表の誕生

こうして出来上ったのが，シーリングニュースNo.22 (1984) にも掲載した建設省への答申案（**表－2**参照，59年7月4日に答申）であり，ここに『シーリング防水の適材適所表』が誕生したのである。

以前にも，適材適所表を作ろうという試みがなかったわけではないが，内容そのものもさることながらあらゆる立場からの見解が一致する表など作れるものではないという見方が多勢を占めていた。そこにたまたま，建設省からの要望があり，幸か不幸か2週間程度の猶予しかなかったため，一気に作りあげたのがこの『シーリング防水の適材適所表』である。十分な討論を行い納得した上で作ったものではないので，満足すべき出来上りではないし，異論や反論も多いことであろう。

『シーリング防水の適材適所表』誕生のいきさつを裏話を混じえながら述べたのは，このような事情を理解して頂きたかったからである。

表－2　外壁（含笠木）シーリング工事 適材適所表（建設省への答申案）

外壁の種別				A	B				C					D	E		F
					9030				8020					7020	7010			
				SR1HM	SR1LM	SR2	MS2	PS2	SR1LM	SR2	MS1	MS2	PS2	PU1	PU2	ACE	SBE	油性
金属カーテンウォール	ノックダウン				○[1]	○												
	パネル目地				○[1]	○	○	○[1]										
	ガラス目地				○[1]	○												
PCカーテンウォール	石打打込 PC 目地（大理石を除く）						⊖	⊖				○	○					
	タイル打込 PC 目地					⊖[1]	⊖	⊖		○[1]		○	○					
	吹付塗装 PC 目地					⊖[1]	⊖	⊖		○[1]		○	○					
	サッシ回り目地					⊖[1]	⊖	⊖		○[1]		○	○					
	ガラス回り目地				○	○												
コンクリート壁	打継・誘発・サッシ回り目地	シール表面吹付塗装	あり											○	○			
			なし								○	○	○					
	石張り目地（大理石を除く）										○	○	○					
	タイル張り目地										○	○	○					
	壁式PC目地	シール表面吹付塗装	あり											○	○			
			なし								○	○	○					
外装パネル	ALC版取合	スライド工法	シール表面吹付塗装	あり										○	○			
				なし							○	○						
		挿入筋工法・シール表面吹付塗装あり														○	○	
	樹脂製板，塗装鋼板目地								○		○	○						
	ホーロー鋼板目地										○	○						
	GRC，セメント押出成型板他の目地				⊖[1]	⊖[1]	⊖	⊖	○[1]	○[1]	○	○	○					
	ボード類目地	シール表面吹付塗装	あり											○[1]	○			
			なし								○[1]	○	○					
ガラス	ガラス・スクリーン（ガラス間目地）			○														
	ガラス回り目地	標準タイプ		○					○	○			○					
		スカイライト		○					○	○								
サッシ	サッシ間目地（水切，皿板目地を含む）					○												
笠木	金属笠木目地					○												
	石材笠木目地（大理石を除く）											○	○					
	PC笠木目地					⊖[1]	⊖	⊖		○[1]		○	○					

○ カーテンウォールの面内変形率1/300未満
⊖ 〃 1/300以上

1 硬化途中の動きが目地幅の15%以下
2 部材長2m以下
3 汚染防止処置を講ずる
4 硬化途中の乾湿による変形が目地幅の10%以下

● 表の耐久性は必要最低区分を示すものであり，上位の耐久性のものを使用するのは差支えない。

II．適材適所表について

1. 内容と解説

いよいよ本題に入って『シーリング防水の適材適所表』そのものについて解説することにしよう。

後述するように『シーリング防水の適材適所表』には，建設省への答申案（**表－2**参照）を若干修正した幾つかの表が存在するのであるが，シーリング管理士用テキストに掲載した**表－3**を用いるのが無難であろう。以下，**表－3**について解説する。

(1) ここでいう被着体とは，建物の構造や部位などを含む広義の被着体である。

また，この表の被着体の種類は，外壁に笠木とガラスを含めた外装である。従って，この表は外装シーリング防水の選定表である。シーリング材は，外装以外に内装や設備にも多用されているが，ここでは触れていない。これらについては，別の視点から適材適所表を作成する必要があろう。

(2) シーリング材の種類は，JIS A 5758（建築用シーリング材）1986改正答申案を先取りした耐久性区分により分類している。

また，この表のシーリング材の種類には，1成分形ポリサルファイド系シーリング材，SBR系シーリング材，ブチルゴム系シーリング材，油性コーキング材が含まれていないが，その理由は次のとおりである。

1) 1成分形ポリサルファイド系シーリング材はメーカーが1社であり実績が少ないこと，SBR系シーリング材もメーカーが1社であり特定の用途に用いられていること。

2) ブチルゴム系シーリング材は，外装に用いられることが少ないこと。

3) 油性コーキング材は，コンクリート壁の打継・誘発目地やサッシ回り目地に使用されてきたが，最近ではほとんど使用されないことと，塑性のコーキング材であり他のシーリング材とは本質的にその特性が異なるため，同じ表に組込むことがむずかしいこと。

なお，アクリルウレタン系シーリング材についてはJISの耐久性に基づいて○印をつけたが，実績が少ないので運用にあたっては十分な留意が必要である。

(3) この表の○印は，実績的に多用され過去の知識と経験から標準的な設計と施工がなされるならば，耐用年数の目標値を10年と定めることができるであろう被着体とシーリング材の組合せを示したものである。

(4) また，この表の組合せは，銘柄間の特性上の差を考慮したものである。銘柄によってはこの組合せより高度の用途やより広範囲の組合せに適応するものも少なくないと思われる。運用にあたっては，これらの点を十分に考慮すべきであろう。

(5) 被着体とシーリング材の組合せの詳細

1)金属カーテンウォール

金属カーテンウォールの目地のムーブメントは，主として温度によるムーブメントである。耐熱性と設計伸縮率の大きい耐久性10030あるいは9030に適合するシーリング材とする。

a．ノックダウン方式

ノックダウン方式のカーテンウォールの目地は，方立接合部とガラス目地が連続しているので，耐光接着性（ガラスを通してシーリ

表－3　シーリング材の選定表（シーリング管理士用テキスト）

被着体の種類＼シーリング材の種類					9030C	10030		9030					8020						
					SR 1 HM	SR 1 LM	SR 2	SR 1 LM	SR 2	MS 2	PS 2	UA 2	MS 1	MS 2	PS 2	UA 2	PU 1	PU 2	AC E
金属カーテンウォール	ノックダウン方式					○[1]	○												
	パネル方式	パネル目地						○[1]	○	○	○[2]	○							
		ガラス回り目地				○	○												
PCカーテンウォール	石材打込み PC 目地									⊖	⊖	⊖		◑	◑	◑			
	タイル打込み PC 目地							⊖[3]	⊖[3]	⊖	⊖	⊖		◑	◑	◑			
	塗装 PC 目地							⊖[3]	⊖[3]	⊖	⊖	⊖		◑	◑	◑			
	サッシ回り目地							⊖[3]	⊖[3]	⊖	⊖	⊖		◑	◑	◑			
	ガラス回り目地							○	○										
コンクリート壁	打継・誘発・サッシ回り目地	表面	あり														○	○	
	壁式 PC 目地	塗装	なし										○	○	○	○			
	石張り目地(大理石を除く)												○	○	○	○			
	タイル張り目地												○	○	○	○			
外装パネル	ALC 目地	スライド工法	表面	あり													○	○	
			塗装	なし									○	○		○			
		挿入筋工法表面塗装あり															○	○	○
	樹脂鋼板・塗装鋼板・ホーロー鋼板目地							○	○					○	○	○			
	GRC，セメント押出成形板目地							⊖[3]	⊖[3]	⊖	⊖	⊖	◑	◑	◑	◑			
	ボード類目地		表面	あり													○	○	
			塗装	なし									○	○	○	○			
ガラス	ガラス・スクリーン(ガラス間目地)				○														
	ガラス回り目地(標準タイプ)				○			○	○						○				
金属製建具	サッシなどの水切・皿板目地							○[1]	○										
笠木	金属笠木目地						○												
	石材笠木目地(大理石を除く)												○	○	○				
	PC 笠木目地							⊖[3]	⊖[3]	⊖	⊖	⊖	◑	◑	◑	◑			

〔凡　例〕

◑カーテンウォールの面内変形率1／300未満

⊖カーテンウォールの面内変形率1／300以上

1　硬化過程の動きが小さい場合に限る

2　部材長さ2m以下

3　汚染防止処置を講ずる

表の耐久性は必要最低区分を示すものであり，上位の耐久性のものを使用するのは差し支えない。

SR－1：シリコーン系シーリング材(1成分形)

SR－2：シリコーン系シーリング材(2成分形)

MS－1：変形シリコーン系シーリング材(1成分形)

MS－2：変成シリコーン系シーリング材(2成分形)

PS－2：ポリサルファイド系シーリング材(2成分形)

UA－2：アクリルウレタン系シーリング材(2成分形)

PU－1：ポリウレタン系シーリング材(1成分形)

PU－2：ポリウレタン系シーリング材(2成分形)

AC－E：アクリル系シーリング材(エマルジョンタイプ)

HM：高モジュラス型

LM：低モジュラス型

ング材裏面にあたる紫外線に対する接着性）に優れた耐久性10030に適合するシリコーン系シーリング材とする。1成分形は硬化過程のムーブメントへの追従性が劣るので，その量が小さい場合に限定する。

b．パネル方式

この方式のカーテンウォールでのパネル目地はガラス回り目地とは独立しているので，耐久性9030に適合するシーリング材とする。ポリサルファイド系シーリング材は耐久性9030に適合するものであっても温度変化によるムーブメントへの追従性が劣るので，部材長さ2m以下の目地に限定する。

ガラス回り目地は，ムーブメントへの追従性と耐光接着性に優れた耐久性10030に適合するシリコーン系シーリング材とする。

2)PC カーテンウォール

PC カーテンウォールの目地のムーブメントは，主として面内変形である。面内変形率1／300を境に，1／300以上の場合は設計せん断変形率の大きい耐久性9030に適合するシーリング材とし，1／300未満の場合は耐久性8020に適合するシーリング材とするが，実績のない1成分形変成シリコーン系シーリング材とシーリング材表面塗装仕上げを要するポリウレタン系シーリング材を除外する。

a．石材打込 PC 目地（大理石を除く）

石材打込 PC 目地は，目地周辺を汚染する恐れのあるシリコーン系シーリング材を除外する。

大理石は外壁にはほとんど使用されないことと，目地周辺が汚染されやすいことから除外する。

b．タイル打込 PC 目地及び吹付塗装 PC 目地

面内変形率1/300以上の場合は耐久性9030，1／300未満の場合は耐久性8020に適合するシーリング材とする。シリコーン系シーリング材は目地周辺を汚染する恐れがあるので，汚染防止処置を講ずることとする。

c．サッシ回り目地

PC 板に打込んだり後付けするサッシ回り目地は対象としない。従ってここでいうサッシ回り目地とは主として柱・梁方式の連窓サッシであり対応するシーリング材は，2) b と同じである。

d．ガラス回り目地

PC カーテンウォールのガラス回り目地は，ムーブメントへの追従性と耐光接着性に優れたシリコーン系シーリング材とする。

3)コンクリート壁

コンクリート壁の目地のムーブメントは非常に小さいので，耐久性8020に適合するシーリング材とする。シーリング材表面露出仕上げの場合は耐候性を要するので，ポリウレタン系シーリング材を除く。シーリング材表面塗装仕上げの場合は耐候性を要しないので，ポリウレタン系シーリング材とする。

なお，ポリサルファイド系シーリング材は塗料，仕上塗材のベタツキ，変色などを生ずる恐れがあるので，シーリング材表面には塗装しないことが望ましい。ポリウレタン系シーリング材は耐候性は劣るが被塗装性が優れているので，シーリング材表面に塗装することが望ましい。

4)外装パネル

外装にパネルを留めつける方式を想定している。面内変形率1／300以上の場合は，設計せん断変形率の大きい耐久性9030に適合するシーリング材とするが，一般には耐久性9030を必要としない。しかし，多種多様の外装パネルに対応させなければならないので，シーリング材の適用には慎重を期す必要がある。

a．ALC 板目地

ALC 縦張り挿入筋工法の目地はほとんど動かず，シーリング材の表面は塗装仕上げが施され，また，比較的小規模の建物が多いので，経済性も考慮して耐久性7020に適合するシーリング材とする。

ALC スライド工法は，ALC 板を緊結し大型 ALC 板とするユニット方式，ボルトと稲妻型金具でスライドさせる方式を想定してい

るが，ALC横張りカバープレート方式もこれに含める。目地のムーブメントが小さい横張りなどでシーリング材表面塗装仕上げの場合は，ポリウレタン系シーリング材とし，目地の動きが大きいスライド工法などでシーリング材表面露出仕上げの場合は，変成シリコーン系シーリング材とアクリルウレタン系シーリング材とする。

ポリサルファイド系シーリング材は，経時変化によってモジュラスが大きくなるものがあり，他に対応できるシーリング材が多いので，除外する。

b．樹脂鋼板，塗装鋼板目地

鉄骨にタッピングビスなどで留めつける方式の樹脂・塗装鋼板目地は比較的ムーブメントは小さいが，高温になることが予想されるので，シリコーン系シーリング材か耐久性8020に適合する変成シリコーン系シーリング材，ポリサルファイド系シーリング材，アクリルウレタン系シーリング材とする。なお，塩ビ鋼板や弗素樹脂塗装鋼板などは接着性を確保することが難しいので，シーリング材とプライマーの選定には慎重を期す必要がある。

c．GRC，セメント押出成形板などの目地

面内変形率1／300以上の場合は，耐久性9030に適合するシーリング材とし，1／300未満の一般的な留めつけの場合は，耐久性8020に適合する変成シリコーン系シーリング材，ポリサルファイド系シーリング材，アクリルウレタン系シーリング材とする。

d．ボード類目地

石綿スレート(複合板を含む)，珪カル板などのボード類目地のムーブメントは主として乾燥・湿潤によるものであり，建築工事中のいわゆるアバレによって目地が大きく動くことがあるので，なるべく高性能のシーリング材を選択することが望ましい。

5)ガラス

ガラス目地は，耐風圧性と耐光接着性が重要であり，対応するシーリング材は主としてシリコーン系シーリング材とする。

a．ガラス・スクリーン

ガラス方立やガラス・サスペンション方式のガラス間目地は，耐久性9030Gに適合するシーリング材とする。

b．ガラス回り目地

一般のサッシにガラスをはめこむガラス回り目地は，シリコーン系シーリング材とする。グレージングビード程度の防水性能で可とする場合は，シリコーン系シーリング材のような長期の耐光接着性は期待できないが，ポリサルファイド系シーリング材も可とする。

6)金属製建具

ここでいう目地は，サッシなどの水切りや皿板などの接合部の目地を想定しており，ムーブメントが大きいので，耐久性9030に適合するシリコーン系シーリング材のみとする。

7)4.2.7　笠木

a．金属笠木目地

最も温度変化によるムーブメントが大きく，最も高温になる目地なので，耐久性10030に適合する2成分形シリコーン系シーリング材とする。

b．石材笠木目地

ほとんど動かない目地なので，石材打込PC板目地に準ずる。ただし，面内変形率には関係しない。

c．PC笠木目地

PCカーテンウォールに連続するPC笠木目地は，タイル打込・吹付塗装PCカーテンウォール目地に準じ，その他のPC笠木目地は，面内変形率1／300未満のPCカーテンウォール目地に準ずる。

(6)　この『シーリング防水の適材適所表』には○印がついていない空欄に問題が残っている。この空欄には，次のようないろいろな意味が含まれているからである。

a．シーリング材がその被着体を開発時から適用外としている欄（—印をつけるのが適当か)。

b．シーリング材がその被着体を適用としていな

がら事故発生の恐れがある欄（×印が適当か）。

c．耐用年数が10年未満と推定される欄（△印が適当か）。

d．10年を超える耐用年数が期待できる欄（◎印が適当か）。

しかし，建設省の意向は原則として１用途１基材であり，◎印や△印をつけたのではかえって混乱すること，また－印や×印は明確であるが，◎印は10年を超えるといっても13年なのか15年なのか，△印は７年なのか３年なのか分からないことから最小限の○印をつけ，残りは空欄としたのである。

なお，これらの内容を加味した表は61年５月頃発行される予定の耐久性総プロの研究成果『シーリング防水の総合耐久設計指針』のなかに，被着体・材料係数として掲載される見込みであり期待したい。

2．普及への軌道展開

(1)　『シーリング防水の適材適所表』の建設省への答申案（**表－２**参照）は，建築工事共通仕様書（昭和60年版）との整合をとり若干手直しされて，建築工事施工監理指針（昭和60年版）の9.7.4表にシーリング材の種類と使用部位（目安）として掲載されている（**表－４**参照）。

(2)　**表－２**を建設省へ答申しシーリングニュースNo.22（1984）に掲載した後，耐久性総プロの非構造分科会シーリングWGにおいて，シーリング防水の総合耐久設計指針（案）を作成することになった。このなかで，対象とする被着体の種類とシーリング材の種類の組合せを，**表－２**をベースとして提案した。

(3)　61年２月中旬に行われる第９回シーリング管理士・第７回シーリング技術管理士養成講習会で使用するシーリング管理士用テキスト・シーリング材編改訂版にも**表－２**を手直したシーリング材選定表（**表－３**参照）を掲載した。

この表は**表－２**とほとんど変らないが，シーリング材の種類にJIS A 5758（建築用シーリング材）1986改正答申案を先取

表－４　シーリング材の種類と使用部位（目安）
（日本シーリング工業会）（建築工事施工監理指針・昭和60年版）

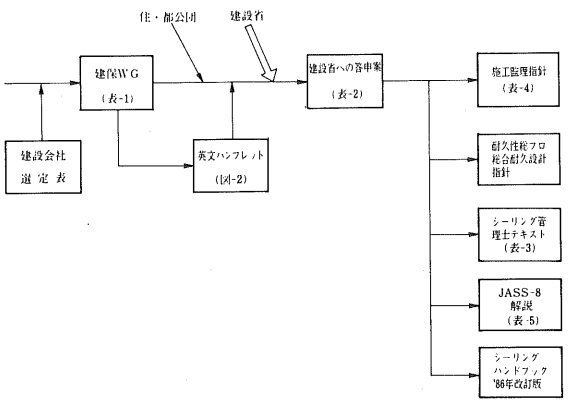
外壁などの種類 ＼ シーリング材の種類				A	B				C					D	E		F
				8020	9030				8020					7020	7010		－
					SR 1 HM	SR 1 LM	SR 2	MS 2	PS 2	SR 1 LM	MS 1	MS 2	PS 2	PU 1	PU 2	AC E	SB E	油性
金属カーテンウォール	ノックダウン				⊖¹	⊖												
	パネル目地				⊖¹	⊖	⊖	⊖¹										
	ガラス回り				⊖¹	⊖												
PCカーテンウォール	石材打込PC目地（大理石を除く）						⊖	⊖			○	○						
	タイル打込PC目地					⊖³	⊖	⊖			○	○						
	吹付塗装PC目地					⊖³	⊖	⊖			○	○						
	サッシ回り目地					⊖³	⊖	⊖			○	○						
	ガラス回り				○	○												
コンクリート壁	打継・誘発・サッシ回り目地	シーリング材面	あり											○	○			
		表吹付塗装	なし								○	○	○					○
	石張り目地（大理石を除く）										○	○						
	タイル張り目地										○	○	○					
	壁式PC目地	シーリング材面	あり											○	○			
		表吹付塗装	なし								○	○	○					
外装パネル	ALC板目地 スライド工法	シーリング材面	あり											○³	○³			
		表吹付塗装	なし								○³	○³	○³					
		挿入筋工法・シーリング材面取付塗装あり												○³	○³	○	○	
	樹脂網板，塗装鉄板目地											○	○					
	ホーロー鋼板目地											○	○					
	GRC，セメント押出成型板他の目地				⊖³	⊖³	⊖	⊖	⊖	○³	○	○	○					
	ボード類目地	シーリング材面	あり											○³	○			
		表吹付塗装	なし								○³	○	○					
ガラス	ガラス・スクリーン（ガラス間目地）			○														
カーテンウォール	ガラス回り	標準タイプ		○						○			○					
		スカイライト		○						○								
笠木	金属笠木目地						○											
	石材笠木目地（大理石を除く）											○	○					
	PC笠木目地					⊖³	⊖	⊖				○	○					

○ カーテンウォールの面内変形率1/300 未満
⊖ 1/300 以上

1　硬化途中の動きが目地幅の15%以下
2　部材長さ２m以下
3　汚染防止処置を講ずる
4　硬化途中の乾湿による変形が目地幅の10%以下
5　低モジュラス形を使用する

表－５　被着体とシーリング材の適切な組合せ
（JASS 8 防水工事・解説への提案）

ジョイント区別	被着体の種類 ＼ シーリング材の種類			9030G	10030	9030				8032						7020	－
				SR 1	SR 1 HM	SR 2 LM	SR 1	SR 2 LM	MS 2	PS 2	UA 2	MS 1	MS 2	PS 2	AU 2	PU 1	PU 2	AC E	油性
ワーキングジョイント	金属カーテンウォール	ノックダウン方式			○¹	○													
		パネル方式	パネル目地		○¹			○¹	○	○	○¹	○							
			ガラス回り目地		○¹	○													
	PCカーテンウォール	石材打込 PC 目地（大理石を除く）						⊖	⊖	⊖		①	①	①					
		タイル打込 PC 目地					⊖¹	⊖¹	⊖	⊖	⊖	①	①	①					
		吹付塗装 PC 目地					⊖¹	⊖¹	⊖	⊖	⊖	①	①	①					
		サッシ回り目地					⊖¹	⊖¹	⊖	⊖	⊖	①	①	①					
		ガラス回り目地					⊖	⊖											
	外装パネル	ALC 板目地 スライド工法	シーリング材面	あり												○	○		
			吹付塗装	なし								○	○		◯				
			挿入筋工法・シール面吹付塗装あり													○	○	○	
		樹脂網板，塗装鉄板目地，ホーロー鳳板目地					○	○					○	○	○				
		GRC，セメント押出成型板地の目地					⊖¹	⊖¹	⊖	⊖	⊖	①	①	①	①				
		ボード面目地	シーリング材面	あり												○	○		
			吹付塗装	なし								○	○	○	○				
	ガラス	ガラス回り目地（標準タイプ）		○			○	○					○						
	サッシ	サッシ間目地（水切，皿板金物を含む）					○	○											
	笠木	金属笠木目地				○													
		石材笠木目地（大理石を除く）											○	○	○				
		PC 笠木目地					⊖¹	⊖¹	⊖	⊖	⊖		①	①	①				
ノンワーキングジョイント	コンクリート壁	打継・誘発・サッシ回り目地	シーリング材面	あり												○	○		○
		壁式 PC 目地	吹付塗装	なし								○	○	○	○				
		石張り目地（大理石を除く）										○	○	○	○				
		タイル張り目地										○	○	○	○				



図－３　『シーリング防水の適材適所表』のフロー

りして，耐久性区分10030・9030Gとアクリルウレタン系シーリング材を加え，**表－2**で○印のついていない油性コーキング材を削除したものである。

(4) 61年3月に発行予定の日本建築学会・建築工事標準仕様書 JASS 8 防水工事・同解説1986改定版にも被着体とシーリング材の組合せを，**表－2～4**をベースとして提案した（**表－5**参照）。

3. シーリング防水のガイドラインとして運用

これまでの説明で『シーリング防水の適材適所表』について理解されたと思うが，肝心なのはその運用であろう。

この『シーリング防水の適材適所表』は，日本シーリング工業会技術委員会が，外装シーリング防水の被着体とシーリング材の組合せについて提案するガイドラインである。そこで，この『シーリング防水の適材適所表』を運用するにあたって，次のような点に留意することを希望する。

(1) 製造者は，このガイドラインをベースとして，知識や経験から自社の銘柄の特徴を盛込んだ独自の“シーリング防水の適材適所表”を作成することが望ましい。勿論，この『シーリング防水の適材適所表』より高度の，あるいは広範囲の適用を示す場合には，根拠や裏付による説明が必要であろう。

(2) 設計者は，設計図に一つの銘柄だけを特記することは少ないであろうから，銘柄間の差を考慮したこの『シーリング防水の適材適所表』を参考にしてシーリング材の種類を指定することが望ましい。

(3) 施工者及び監理者は，目安として『シーリング防水の適材適所表』を理解することが必要であるが，実際の施工や監理にあたってはメーカーの適材適所表に基づいて使用する銘柄の適・否を判断し運用することが望ましい。

(4) この『シーリング防水の適材適所表』が少しずつ修正されていろいろな指針などへ掲載されようとしているが（**図－3**参照），これらに掲載されている『シーリング防水の適材適所表』を規格や基準と受取って絶対的な適用を行うことは避けなければならない。くどいようだが，この『シーリング防水の適材適所表』はあくまでもガイドラインに過ぎず，その精神を汲んで運用すべきだからである。

III. おわりに

シーリングに要求される性能は，その用途が外装であっても単に防水性（水密性）だけにとどまらず意匠性，被塗装性，非汚染性，作業性，経済性など多岐にわたっている。また，シーリング材が対象とする被着体の種類も多種多様である。これらの要求性能を全て満足させるシーリング材があれば何の問題もないが，シーリング材には一長一短があり，とても1種類のシーリング材で対応することができるものではない。そこで，数種類のシーリング材のなかから被着体に適応するものを選択することになり，シーリング材の選定表，即ち適材適所表が必要になるのである。

シーリング材の選択は設計そのものであろうから，適材適所表は設計者が作成するのが良いと思われる。しかし，数多い建築材料のなかでも特異な材料であるシーリング材の特性を十分に把握している設計者が多数存在するとは言えないところであり，メーカーの団体である日本シーリング工業会の技術委員会が乏しい建築の知識にもかかわらず適材適所表を作らざるを得なかったのである。

技術委員会が提案した『シーリング防水の適材適所表』は，予想外に反響が大きく，建設省や日本建築学会などの指針や仕様書にそれぞれの立場から修正したものが掲載され，あるいは掲載されようとしている。この点では，技術委員会の提案は有意義であったといえるであろうが，肝心の『シーリング防水の適材適所表』が満足すべき出来上りではないことも事実である。

よりよい適材適所表を目指し，かつ技術的進歩に即した改訂も必要と考えられるところで，関係各位のご指導，ご協力を賜りたい。

Kanebo-NSC

変成シリコーン初の
プラスチックカートリッジ入り

デュアリボン®MS

1成分形 ● 変成シリコーン系シーリング材



特　徴

1. 使い易いポリカートリッジ入り
2. 非常に軟かく押出性が抜群
3. シリコーン系に匹敵する低温硬化性とタックフリー
4. 貯蔵安定性がよい

そのほか接着性・耐候性など優れた性能をバランスよく保持しており、各種仕上塗材との馴染みも良好です。

カネボウ・シーラント シリーズ

● ブチルゴム系	P-3000
● アクリル系	P-4000
● ポリサルファイド系	P-5000
● ポリウレタン系	P-6000
● 一液ポリウレタン系	P-6500
● 変成シリコーン系	P-8000
● ベルエースMS	(変成シリコーン 8020タイプ)

カネボウ・エヌエスシー株式会社

本　　社　大阪府箕面市船場西1-6-5(カネボウ千里ビル)
〒562　TEL (0727)28－4701(代)
東京営業所　東京都千代田区平河町2－8－2
〒102　TEL (03)263－4701
名古屋出張所　名古屋市中村区名駅4－17－19(鐘紡ビル内)
〒450　TEL (052)583－8606
広島出張所　広島市中区大手町3－5－11
〒730　TEL (082)249－6615
福岡出張所　福岡市中央区大手門3－7－19
〒810　TEL (092)752－0024

建築用シーリング材
JIS A 5758 改正作業を終えて

技術委員会

はじめに

JIS A 5758建築用シーリング材の改正作業は昭和59年6月20日別表の委員会構成による第1回本委員会の開催に始まり約1年5ヶ月の長期間にわたって行われ，昭和60年2月末の通産省工業技術院への本文改正案の提出および昭和60年11月の解説文改正案の提出をもって終了することができた。

現在，このJIS A 5758建築用シーリング材の改正本文及び解説は工業技術院への答申案の段階であり，正式には昭和61年1～2月の日本工業標準調査会建築部会の審議を経て4～5月頃に告示される見込となっている。この改正作業の過程では次のような委員会，説明会などが行われた。

○本委員会　3回
○小委員会　6回
○解説作成委員会　5回
○工業会会員への説明会　2回

〈原案作成委員会構成表〉

（委員会長）	小池　迪夫	東京工業大学工業材料研究所
	加藤　正守	千葉大学工学部
	松井　　司	通商産業省生活産業局
	咲山　忠男	工業技術院標準部
	浦上　和彦	建設省住宅局
	須藤　作幸	建材試験センター中央試験所
	寺内　　伸	鹿島建設株式会社
	松本　洋一	清水建設株式会社
	鈴木　邦臣	大成建設株式会社
	操上　弘昌	マサル工業株式会社
	浜口七三郎	社団法人日本サッシ協会
	笹谷　茂生	サンスター技研株式会社
	平野　英作	昭石化工株式会社
	原田　直彦	信越化学工業株式会社
	平岡　　亨	日東電気工業株式会社
	西沢順之助	横浜ゴム株式会社

（順不同）

また，今回の改正は日本シーリング工業会が工業技術院より受託したため，工業会内部にもJISプロジェクトを結成し，作業が推進された。

Ⅰ．改正の主旨

今回の改正は本規格が制定（昭和54年7月）されてから5年を経過したことによる全体的な見直しが主テーマである。シーリング工業会としてもこの規格に5年間対応してきており，改正要望点をまとめて臨んだが，通商産業省工業技術院からの調査及び作成の委託内容は次の通りであった。

1．委託事項

JIS A 5758建築用シーリング材工業標準改正原案の調査及び作成

2．工業標準改正原案調査作成の目的

建築材料の質的向上にともなって材料間の各種のジョイント，ひび割れなどの水密・気密を保持するための充てん剤は，使用される材料により多種多様なものが要求されており，また最近の技術開発などにより，従来本規格ではアクリル系とポリウレタン系と個々に区分されているが，これに今回アクリルポリウレタン系を追加することとし，検査規定などを見直し，規格内容を国内水準以上に規定し，品質の確保を図ることとする。

3．工業標準改正原案に規定すべき事項等

(1) 種類にアクリルポリウレタン系を追加する。

(2) 検査項目を見直す。

(3) 規格内容の全体を見直す。
水準：国内製品の品質と同等以上に規定する。

II. 審議中特に問題となった事項

以後，JIS 解説文を中心として述べていくが，更に詳細を付け加える形での説明としたい。

審議中特に問題となった事項は，次のような点であるが，ここでは概要の説明として詳細は次章の改正点の説明の中で述べることにする。

JIS 解説

1．変成シリコーン系の名称を含むシーリング材の名称の付け方の合理的な方法はないか。
2．同じ耐久性区分でも基材の種類によって，用途及び使い方を変えている現状をどのように規格に反映させるか。
3．シリコーン系1成分形シーリング材高モジュラスタイプのように，ガラス～ガラス目地，ガラス～サッシ目地に多用されるシーリング材については，要求性能からみて耐久性試験方法はどうあるべきか。
4．現在，実際に生じている種々の汚染現象に対応する汚染性試験方法が考えられないか。
5．シーリング材の有効期間を表示するに当り，その期間中に季節が変わって，現場作業に支障が生じる場合，どのように表示して対応するか。
6．耐久性試験後の判定方法として，より的確に評価する方法はないか。

説　明

1.は変成シリコーン系の名称がシリコーン系と混同され易いとの事に端を発したものである。

2.は同じ耐久性区分，例えば9030の各基材の場合でもJIS規格以外の動暴露性能では有意差があり，適材適所が異なることをわかり易く明示する方法があるのかということである。

3.は1成分形高モジュラスタイプが現在の耐久性区分9030，8020には適合せず，また要求される性能も異なることから，別の試験方法や区分が必要ではないかということである。

4.は現在の汚染性試験はポリサルファイド系のフェノールレジンとアルカリとの反応による変色汚染性については検査できるが，シリコーン系の撥水汚染性については検査できず，それをどうするかということである。

5.は有効期間，貯蔵方法，施工温度範囲などの適切な設定と表示方法についての検討である。

6.は耐久性試験後の判定を計数的にとらえる方法はないかということで，耐久性試験後の引張試験などが検討課題である。

III. 改正点を中心とした内容の説明（重要点のみ）

2．種類及び記号

本　文

(1) 主成分による区分

シリコーン系：シリコーン（オルガノポリシロキサン）を主成分としたシーリング材。湿気硬化する1成分形及び基剤と硬化剤との反応により硬化する2成分形がある。（記号 SR）

変成シリコーン系：変成シリコーン（オルガノシロキサンをもつ有機ポリマー）を主成分としたシーリング材。湿気硬化する1成分形及び基剤と硬化剤との反応により硬化する2成分形がある。（記号 MS）

ポリサルファイド系：ポリサルファイドを主成分としたシーリング材。湿気硬化する1成分形及び基剤と硬化剤との反応により硬化する2成分形がある。（記号 PS）

アクリルウレタン系：アクリルウレタンを主成分としたシーリング材。基剤と硬化剤との反応により硬化する2成分形がある。（記号 UA）

ポリウレタン系：ポリウレタンを主成分としたシーリング材。湿気硬化する1成分形及び基剤と硬化剤との反応により硬化する2成分形がある。（記号 PU）

アクリル系：アクリル樹脂を主成分としたシー

リング材。乾燥硬化する１成分形の，エマルションタイプがある。(記号 AC)

SBR 系：スチレンブタジエンゴムを主成分としたシーリング材。乾燥硬化する１成分形のラテックスタイプがある。(記号 SB)

ブチルゴム系：ブチルゴムを主成分としたシーリング材。乾燥硬化する１成分形の溶剤タイプがある。(記号 BU)

JIS 解説

従来，解説でポリウレタン系の中に包含されていたアクリルウレタンを独立させ新設した。アクリルウレタン系はポリウレタン系と異なる特性を有し，実績もあるので独立させたものである。

アクリル系の溶剤タイプは JIS 制定後５年を経過した中で，製品が存在しなくなったので削除した。

変成シリコーン系の名称がシリコーン系と混同されているとの指摘があり，シーリング材の合理的な命名方法について種々検討された。しかし，現在変成シリコーンという名称は市場に定着しており，シリコーン系と混同されていないとの意見が多く，また合理的な名称の付け方は長時間の検討を要する問題であるため，現行通りとした。

なお，各種の類似もしくは変性ポリマーが登場する機運にあるが，それらの区別はカタログ，技術資料などに明記しておくことが必要である。

説　明

①アクリルウレタン系の独立はポリウレタン系より実績上でも耐候性，耐熱性が良好で，耐久性区分も9030に適合するものがあり，価格もポリウレタン系より高価で，適材適所も異なるため独立する必要性が生じた。

②変成シリコーンに端を発した名称問題は，特に変性系についての呼び方が主鎖を中心とするのか，反応形態を中心とするのか，また何を何で変性しているのかなど，各種の見方，考え方があり合理的な一つの方法に集約するまでに至らなかった。また変成シリコーンの名称が定着してシリコーンと区別されているとの情報・意見により現行どおりとなったが，工業会としては③を含めて将来の検討課題としたい。

③また，類似もしくは変性ポリマーなどの新たな登場に対しては，JIS において対象基材となるまで従来品との明確な区別と名称の検討などが必要であるという意味である。

本　文

(3)　耐久性による区分

耐久性は，試験条件により表１のとおり区分する。

表１　耐久性による区分及び記号

区分及び記号 / 耐久性試験条件	10030	9030	8020	7020	7010	7005	9030G
圧縮加熱温度　(℃)	100	90	80	70	70	70	90(1)
目地幅の拡大・縮小 (%)	±30	±30	±20	±20	±10	± 5	30(2)

注(1)せん断加熱温度を示す。
(2)目地幅に対するせん断変形率を示す。

JIS 解説

新規に耐久性区分10030，9030G が追加された。耐久性区分10030はシリコーン系シーリング材低モジュラスタイプの実績と性能を考慮しての新設である。また，耐久性区分9030G はシリコーン系１成分形シーリング材高モジュラスタイプの実績と性能を考慮して，耐久性試験工程中の目地幅の拡大，縮小をせん断変形に変更して，独立させたものである。この耐久性区分については，被着体区分の必要性や，JIS の耐久性に関連して動暴露試験導入の提案がなされたが，条件設定が不十分であり，標準化するためには時期尚早ということで見送りとなった。

説　明

①耐久性区分10030は２成分形シリコーン系が金属カーテンウォールに多く使用され，その長期間の実績が良好なことから，9030の上位の耐久性ランクとして設定され，シリコーン系低モ

ジュラスタイプのみが該当するように新設されたものである。検討中には10040との提案もあったが，設計伸縮率20％（耐久性区分9030）で使用実績があり，10040にすることによる設計伸縮率の上乗せは基礎的な資料が不足していることから時期尚早とのことで見送られた。

②耐久性区分9030Gには，1成分形シリコーン系シーリング材高モジュラスタイプが該当するが，この区分は用途別の区分をとり入れた特殊ケースとなっている。

③耐久性区分全体を現在の伸縮方向のみでなく，せん断方向をとり入れて，金属用，コンクリート用，ガラス用の用途別にする提案，また，金属用にはかかせない動暴露試験の導入などが検討されたが，準備不足ならびに，標準化に至らない部分が多すぎて時期尚早となり，将来の課題となった。

3. 品　　質

本　　文

（表2　品質試験項目）

JIS 解説

「3.5　シーリング材は製造後未開封のまま，温度5～25℃で貯蔵した場合，少なくとも6ヶ月間は安定でなければならない。」が，9.　表示に「有効期間」を，また「取扱い上の注意事項」の中に施工温度範囲及び貯蔵方法を明記することにより除外した。

表－3（省略）試験結果の判定基準では，

①押出し性

通年用，冬用を夏用と同じ20秒以下にした。これはより良い作業性が得られるように改正したものである。

②50％引張応力

「表示値±0.3であること」が「表示値±(0.1M＋0.3)であること，M：表示値」に改正した。これはシーリング材の50％引張応力が0.5～7.0 kg／㎠であるのに対し，画一的に±0.3kg/㎠の表示精度を求めていた不合理を改正し，応力の大きさに対応した精度を求めたものである。

③耐久性

現状の判定基準は「3個の試験体に試料の溶解，膨潤，ひび割れ及び被着体からのはく離などの明確な異常が認められないこと。」となっているが，これに対して，この耐久性試験工程終了後，引張接着性試験を行い，その物性値(50％引張応力，最大引張応力，最大荷重時の伸び，破断時の伸びなど）の標準養生値からの変化率で合否を判定したらどうかとの提案がなされた。しかし，この提案も変化率をどこに設定するかのバックデーターが少なく採用することが出来なかったが，今後これらのデーターの集積が必要であるとの認識となった。

表2　品質試験項目

<table>
<tr><td rowspan="3">シーリング材の種類</td><td colspan="9">試　　験　　項　　目</td></tr>
<tr><td rowspan="2">押出し性</td><td rowspan="2">スランプ又はセルフレベリング</td><td rowspan="2">初期耐水性</td><td rowspan="2">低温貯蔵安定性</td><td rowspan="2">汚染性</td><td rowspan="2">耐オゾン性</td><td colspan="7">耐　久　性</td></tr>
<tr><td>10030</td><td>9030</td><td>8020</td><td>7020</td><td>7010</td><td>7005</td><td>9030G</td></tr>
<tr><td>シリコーン系</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2">いずれか1区分 ○</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>○(6)</td></tr>
<tr><td>変成シリコーン系</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td><td colspan="3">いずれか1区分 ○</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>ポリサルファイド系</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td><td colspan="3">いずれか1区分 ○</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>アクリルウレタン系</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td><td colspan="3">いずれか1区分 ○</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>ポリウレタン系</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td><td colspan="4">いずれか1区分 ○</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>アクリル系</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td colspan="2">いずれか1区分 ○</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>SBR系</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td colspan="2">いずれか1区分 ○</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>ブチルゴム系</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td><td>—</td></tr>
</table>

注(6)1成分形のみに適用する。

4. 原料及び製造

本　文

4.1. 原料　原料は次のとおりとする。

(1)基材ポリマー　オルガノポリシロキサン，変成シリコーンポリマー，ポリサルファイド，ウレタンプレポリマー，アクリル樹脂，スチレンブタジエンゴム，ブチルゴムなどとする。

(2)鉱物質充てん材　例えば微粉末シリカ，無機顔料，炭酸カルシウム，タルク，クレーなどとする。

(3)その他混和剤　例えばジメチルポリシロキサン，フタル酸エステル，ポリブテン，溶剤などとする。

(4)硬化成分　例えばアセトキシシラン，金属有機酸塩，金属過酸化物，アクリルオリゴマー，ポリオールなどとする。ただし，乾燥硬化1成分形には用いない。

4.2. 製造

シーリング材は原料の基材ポリマー，鉱物質充てん材，その他混和剤及び硬化成分を調整・調合し，均質に練り混ぜて製造する。ただし，2成分形シーリング材では練り混ぜによって，硬化が開始するように原料を分けて製造する。また，乾燥硬化1成分形には硬化成分を使用しない。

JIS 解説

今回の改正でこの項を新設した。

説　明

従来はこの「原料及び製造」が本文になかったが，審査事項との整合性からみて必要であり新設したものである。

6. 試　験

本　文

6.13　耐久性（表10）

JIS 解説

6.3. スランプ

「黄銅製容器」をセルフレベリング試験器具と整合させるため，「耐食性金属」に変更した。また，みぞ形容器の洗浄方法として「よく洗浄し」と改正したが，この内容はシーリング材の

表10　耐久性試験工程(I)・(II)

試験工程＼耐久性の区分				10030	9030	8020	7020	7010	7005
1	目地幅を12mmに固定して50℃の温水中に浸せき(h)			24					
2	目地幅の固定解除後，標準状態に置く(23)(h)			24					
3	圧縮加熱	目地幅	(mm)	8.4	8.4	9.6	9.6	10.8	11.4
			(%)	−30	−30	−20	−20	−10	− 5
		温度	(℃)	100	90	80	70	70	70
		時間	(h)	168					
4	目地幅の固定解除後，標準状態に置く(23)(24)(h)			24					
5	引張冷却	目地幅	(mm)	15.6	15.6	14.4	14.4	13.2	12.6
			(%)	+30	+30	+20	+20	+10	+ 5
		温度	(℃)	−10					
		時間	(h)	24					
6	目地幅の固定解除後，標準状態に置く(23)(24)(h)			24					
7	工程の繰り返し			試験工程1〜6繰り返し1回					
8	目地幅を12mmに固定し標準状態に置く(25)(h)			24以上					
9	目地幅の(　)拡大・縮小(4〜6回/min)	目地幅	(mm)	8.4〜15.6	8.4〜15.6	9.6〜14.4	9.6〜14.4	10.8〜13.2	11.4〜12.6
			(%)	−30〜+30	−30〜+30	−20〜+20	−20〜+20	−10〜+10	− 5〜+ 5
		回数	(回)	2000					

試験工程＼耐久性の区分				9030G
1	作製時の寸法に固定して50℃の温水中に浸せき(h)			24
2	固定解除後，標準状態に置く(23)(h)			24
3	せん断加熱	せん断変形	(mm)	3.6
			(%)	30
		温度	(℃)	90
		時間	(h)	168
4	固定解除後，標準状態に置く(23)(24)(h)			24
5	せん断冷却	せん断変形(26)	(mm)	3.6
			(%)	30
		温度	(℃)	10
		時間	(h)	24
6	固定解除後，標準状態に置く(23)(24)(h)			24
7	工程の繰り返し			試験工程1〜6繰り返し1回
8	作製時の寸法に固定し標準状態に置く(25)(h)			24以上
9	試験体のせん断変形(23)(4〜6回/min)	せん断変形	(mm)	両方向 3.6
			(%)	両方向 30
		回数	(回)	2000

種類に応じた洗浄方法を用いるということである。

なお，「ずれ」は試験に特有な現象で，試験の目的であるスランプと区別するため「ずれ」を防止する方法として，プライマーを塗るまたはサンドペーパーで軽く目荒しする等の処置を講じてもよいとした。

6.7. 汚染性

この試験方法は，従来ポリサルファイド系に配合されていたフェノール系樹脂とアルカリ水との反応による呈色をチェックするためには適しているが，最近種々生じているシーリング材成分の分離による汚染に対しては不適である。これに対する汚染性試験方法を種々検討したが，試験法の標準化まで至らず現行通りとした。

参考までにこの汚染性を再現する方法の参考例を示すが，判定するための試験期間については，一般に6ケ月以上の長期間を要する場合が多い。

〔シーリング材成分による目地周辺の汚染性試験方法，参考例〕

JIS A 1410（プラスチック建築材料の屋外暴露試験方法）に準じた屋外暴露試験機上に，対象となる被着体（例えば大理石，花崗岩などの石材，淡色系のホーロー鉄板や塗装板など）で縦横の十文字目地を構成し，シーリング材を充てんして暴露試験片とする。比較用試験片として，無充てん目地（空目地）試験片または他の基材のシーリング材を充てんした試験片を作製し，同時に試験に供する。試験片はあまり小さいと汚染の判定がし難いので，被着体の大きさは幅10cm×長さ15cm以上必要である。また，目地幅は10～20mmが適切といえる。

暴露開始後1，2，3，6，12ヶ月目に観察を行ない，比較用試験片の状態と比較して，汚染程度の判定を行なう。

6.8 可使時間

押出し性の改正にともない「30秒値」を「20秒値」とした。

6.12 引張接着性

引張試験用被着体の厚さに，試験能率の向上等を考慮して自由度を持たせた。

また，ガラスを用途とするシーリング材の促進暴露条件500時間を1000時間に改正した。これはより長期の接着性を確認するためである。

6.13 耐久性

耐久性の区分に10030と9030Gを追加した。10030は従来の評価方法を踏襲し，試験工程の中の圧縮加熱温度を100°C，目地幅の拡大・縮小を±30%で試験するものである。9030Gは従来の目地幅の拡大・縮小をシーリング材の長手方向のせん断変形に変えた試験工程によるもので，今回の改正で新らしく採用された評価方法である。

9. 表　示

本　文

9.1 製品には容器ごとに次の事項を表示する。ただし，1成分形については(6)及び(8)を除く。

(1)商品名，種類の名称又は記号

(2)容量（l）（2成分形の場合は混合後の容量）

(3)製造業者名又はその記号

(4)製造年月日

(5)有効期間

(6)混合比（質量比）

(7)適用被着体，プライマー使用の要否及びプライマーの種類

(8)可使時間

(9)タックフリー

(10)取扱い上の注意事項

9.2 カタログ又は技術資料など適当な資料に次の事項を表示する。

(1)比重

(2)加熱減量

(3)引張接着性

JIS 解説

9.1の表示項目に「有効期間」が追加された。従来は「5～25°Cで貯蔵した場合，少なくとも6ヶ

月間は安定でなければならない。」という規定であったが，貯蔵方法や施工温度範囲を明記して，その条件で使用される限り問題がない期間を「有効期間」とすることとした。貯蔵方法や施工温度範囲は(10)の「取扱い上の注意事項」に表示するものとし，10～25°Cのように5°C刻みの表示が望ましい。

説明

有効期間，貯蔵方法，施工温度範囲についての基準或は目安については，現在工業会の技術委員会で検討を重ねており，この改正JISが発行されるまでには設定される予定である。

おわりに

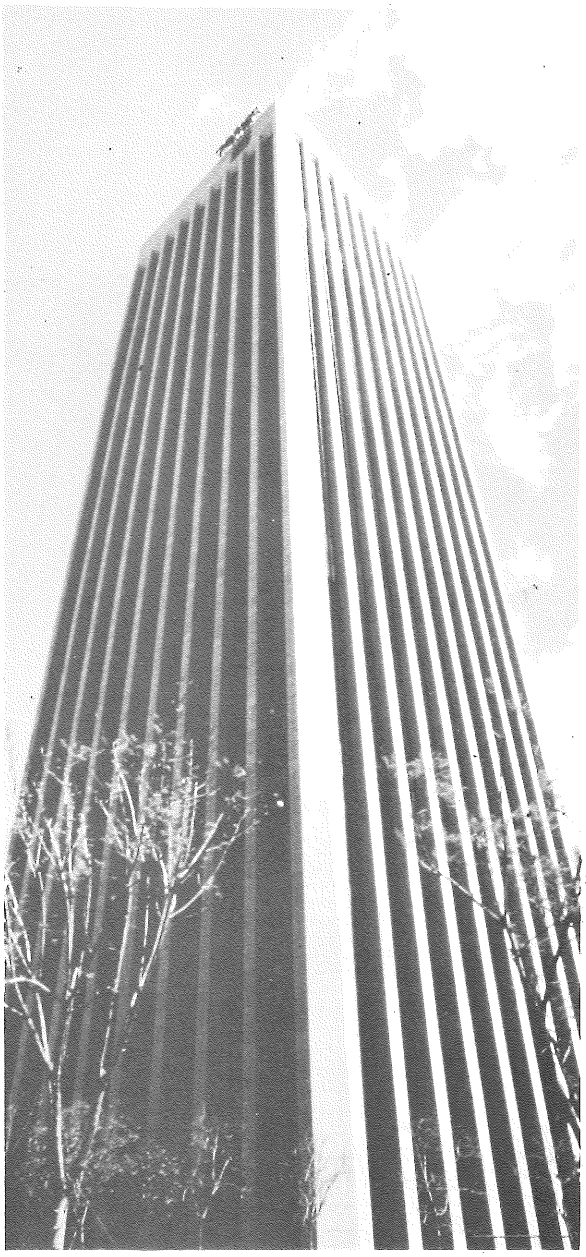
今回のJIS A 5758の改正作業は審議対象のうち部分的には十分な時間があったが，耐久性区分の用途別化，動暴露試験の導入，汚染性試験の改正及び合理的名称方法の設定などに対しては時間が足りなかった。足りなかったというよりは，事前の準備不足であったというべきであろう。

したがって，次回の改正までには既に現在からの準備が必要であり，工業会技術委員会としてもワーキンググループを存続して，これに取組んでいく予定である。ちょうど工業技術院からも今後5カ年の間のJIS改正予定の提出を求められている。そこで工業会としては，昭和65年にはJIS A 5758を改正する旨回答した。また，JIS A 5758に含まれていない各種の試験方法を標準化し，JIS A 5757の試験方法と合わせてシーリング材の試験方法をJIS化したいと考えている。

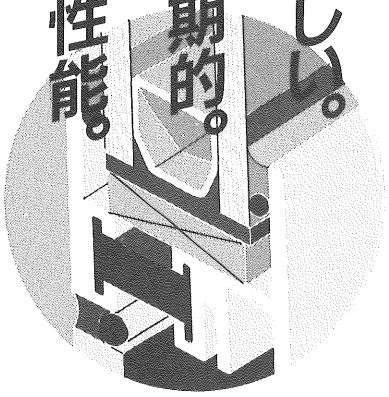
なお，答申案が無事工業技術院に提出できたことを小池迪夫委員会長をはじめ原案作成委員会のメンバーの方々にこの誌上を借りて厚く御礼申し上げます。



あのパーマポール、新登場。



ここが新しい。
ここが画期的。
ここが高性能。



◉日本のシーリング界が待っていたベースポリマー。あのパーマポールが米国Products Research & Chemical Corporation（PRC社）との技術提携により、いよいよ国内製造販売。

◉パーマポールは、新しいポリサルファイド系シーリング材のベースポリマー。接着性が良い、作業性、耐久性、耐熱性、耐候性に優れているなどの特長を一成分形で可能にしました。

◉建築、複層ガラス、航空宇宙、車輌用として幅広い活用が期待されます。

◉日本触媒はパーマポールの国産化を出発点にして、日本のシーリング界の発展に役立ちたいと願っています。

パーマポール®

変成ポリサルファイド系ポリマー

日本触媒

日本触媒化学工業株式会社

技術相談を承っております。
お気軽にご相談ください。

お問い合わせは
技術開発部までどうぞ。

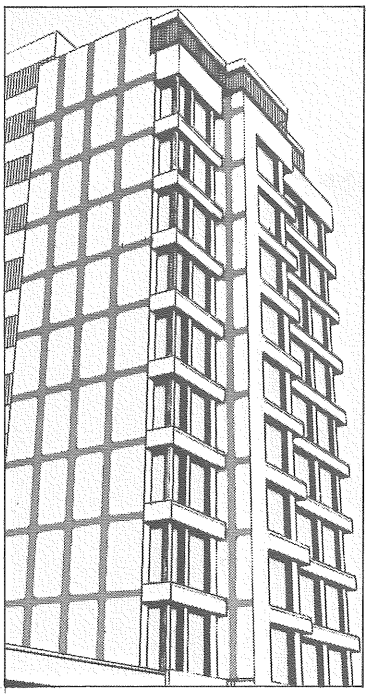
●大阪☎(06)202-6031(代)〒541大阪市東区高麗橋5-1(興銀ビル)
●東京☎(03)502-1651(代)〒100東京都千代田区内幸町1-2-2(日比谷大阪ビル)

日本ではじめて!

ニューパッケージ・モノソーセージ

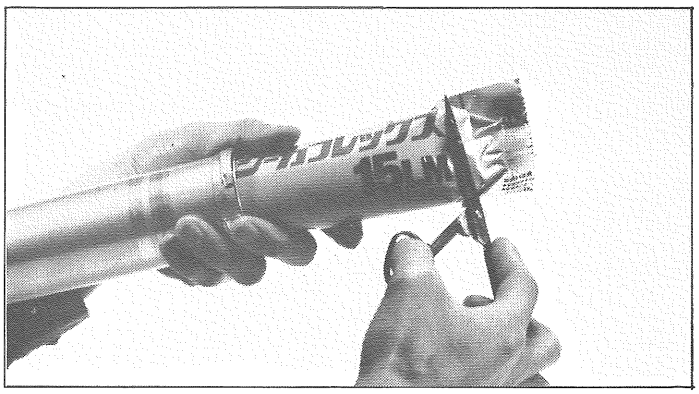
シーカフレックス-15LM

- ポリウレタン 1成分形
- 低モジュラス
- JIS-A 5758 8020相当品
- ALC 土木建築用伸縮目地



特 徴

①コストダウン
②アルミパッケージの先端部カットだけで使用可能
③専用ガン不要
④使用後の廃棄物（アルミパッケージ）が少ない



Sika

日本シーカ株式会社

本　　社　〒105 東京都港区新橋４－２－１・第29森ビルTEL(03) 436-4131(代表)
東京営業所　〒105 東京都港区新橋４－２－１・第29森ビルTEL(03) 436-6031(代表)
大阪営業所　〒530 大阪市北区野崎町７－８・梅田パークビルTEL(06) 315-7851(代表)
名古屋営業所　〒464 名古屋市千種区内山3-10-17・今池セントラルビルTEL(052)733-7353(代表)
富山営業所　〒930 富山市本町７－７オキタビルTEL(0764)42-3232(代表)
仙台営業所　〒980 仙台市五橋２－４－27・宮城県米ビルTEL(0222)67-2501(代表)
札幌営業所　〒060 札幌市中央区北２条西２丁目加森ビル－１TEL(011)221-6331(代表)
福岡営業所　〒812 福岡市博多区博多駅前３-19-14ビーエスビル博多TEL(092)472-1684(代表)
沖縄出張所　〒902 那覇市安里381-１・本部ビル５F御リユウゼン内TEL(0988)85-3987(代表)
新潟(ケミカル産業)　〒950 新潟市姥ケ山 1356－９TEL(0252)86-3456(代表)

aus シール®

製法特許出願済

建築内外装用
ラテックス系 弾性シーラント

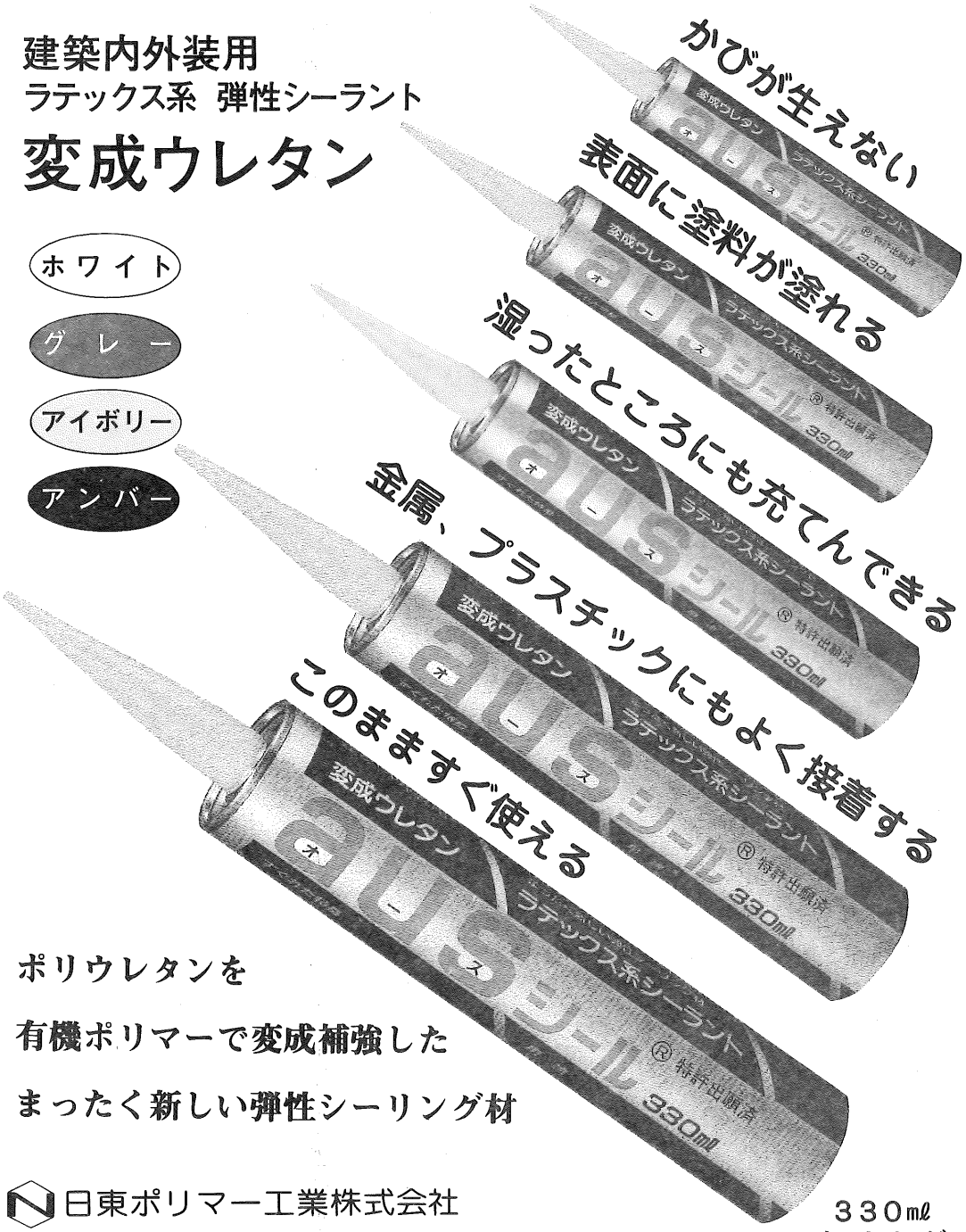
変成ウレタン

ホワイト

グレー

アイボリー

アンバー



ポリウレタンを

有機ポリマーで変成補強した

まったく新しい弾性シーリング材

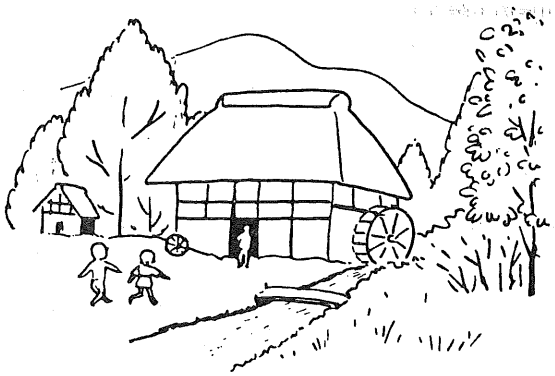
日東ポリマー工業株式会社

本社・営業所　尼崎市大浜町2丁目5番1号　〒660　☎(06)418—7421(代)

東京営業所　東京都千代田区外神田2—2—17(共同ビル万世)　〒101　☎(03)255—6338

330mℓ
カートリッジ

シーリング雑感



川遊びと水みち



矢内泰弘

〔止水との出会い〕

水に親しんだ子供の頃の遊びに郷愁を感じつつ筆を走らせることにした。太陽と水に親しみ戯れた子供の頃の遊びに，爽快感を抱いているのは筆者のみではないと思う。

川魚捕りも兄や近所のリーダーの真似ごとから道具を使い，工夫を凝らして自分なりの手法で結構楽しんだものである。

釣竿による比較的ポピュラーなもの，置き針と云ってタコ糸に小石を括り付け，夕方川辺に仕掛け翌朝引き上げるウナギ捕り，春5～6月，ハヤの横腹が真赤に染まった頃，小石を川の浅瀬に敷きつめ馬蹄形に玉石で囲み，ハヤが入り込むのを待って一網打尽にするワナ仕掛け……これらがどちらかというと〝待ち〟の姿勢で臨むものであるのに対し，輪網による川岸の踏込み捕り，銛とガラス箱で動きの鈍いカジカや川ドジョウを狙うヤス漁（夜中にカンテラを照らして，眠りに入った魚を狙う場合もある），下流から小石を川面に投げつけ，石の下に魚を逃げ込ませたところを手捕りする方法，川の中洲を利用して，二股に分かれた片流れを塞止め，一括捕漁する方法等のように〝攻め〟の仕掛け漁もある。

子供ながらに，家事手伝いもせねばならず，限られた遊び時間をいかに楽しく，効率良く過ごすかで頭がいっぱいであった。

現在でも，これらの遊びの幾つかを昔を想い出しながら楽しんでいるところである。

この幾つかの川遊びの中で，中洲を利用して，二股に分かれた片流れを塞止めする方法について多少記憶を辿ってみることにする。決め手は攻めの手順と塞止めの確実さにある。その結果がバケツ一杯の漁となるか，肩を落として帰宅するかの違いになって表われる。大変な労力を掛けてのろまなカジカ数匹で終わっては子供ながらに疲労感が漂うこととなる。

そこで工夫が要るのである。それは塞止めの効率化をいかに図るかであり，第1に作業に入る前に川面に立って，流れの水量と自分達の塞止め能力（良質な土片や玉石および腕力と仲間の連係プレー）から直接塞止めかまたは二段塞止めのどちらにするかを的確に判断することである。だらだらと時間を掛けると魚は水の汚れや水量の変化に敏感に反応し，川下りをして逃げてしまうからである。

直接塞止めとは，比較的水量が少なく，塞止め巾の狭い場合に行うもので，川遊びに掛ける時間の無い場合などは無理をしても，この手法を選択することとなる。土片と裏込め用玉石を川の流れに沿って約30度の角度で手前岸辺から中洲に向かって敷並べていく方法である。

二段塞止めとは，水量が多く，直接塞止めでは水圧に押されてしまいそうな場合に行うもので，あらかじめ大きめの玉石を塞止め，上流1mのところに並べて水量を

極力中洲の反対側に押しやり，流水圧を弱めたところで土片と裏込め玉石で止水する方法である。これには時間を要し，川下の捕り口で網を張って置いても何らかのかたちで魚に逃げられてしまう場合が多いが止水としては，確実に仕上がるのである。

こんな川遊びの中にも子供ながらの工夫があり，経験を積む毎に色々と次の手立てを考えていく。しかしながら，その都度，予期せぬ出来事や詰めの甘さで失敗に終るケースも多かった様に思うのである。

その予期せぬ出来事や詰めの甘さとは！

- 狙った中洲付近にはもともと魚は少なかった。
- 土片が良質でなく（黒土芝生は量感があるが砂付芝生は水が浸透しやすい）玉石も不足ぎみであった。
- 作業を焦るあまり止水が不充分（この場合，途中で水漏れ個所を部分的に手当てしてもなかなかうまく水が止まらない）で，特に，川底の不陸（下地ごしらえ）を直しながら土片を並べないと時には決壊の恐れさえある。
- 塞止めの始点と終点あたりからの，特に終点からの水漏れが多い。これは作業を早く終了して，魚捕りをしたいがために，作業内容が疎かになるからかと思う。
- 中洲の中央部から地下水のように（反対側の川から）遊水が湧き出るのを表面的（作業中）には気付かなかった。

と言った点である。

〔水の恩恵〕

普段何気なく過ごしている私達には，水の有害さは実感として摑みにくいものである。古来から人間は水に親しみ，色々な形で恩恵を受けてきた。反面，時として台風雨やそれに伴う洪水等で苦しめられもしてきた。

歴史的にも水に纏わる争いは数限りない。家康が河川行政で水運を開いたように，次の世に継いできた遺産も数限りない。最近では小樽市の運河裁判のような例も見受けられる。

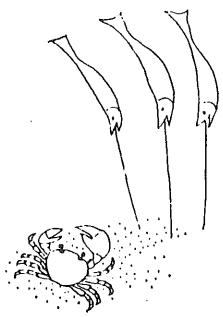
そんな中で，ささやかにも子供の頃，祖父が日露戦争参戦の行軍時，飢えと喉の渇きに「どれほどに生家の裏山の清水を飲みたいと思ったことか！」とよく語ってくれたこと，これなどは実に「水辺に集まる動物達」で放映されるテレビ映像とダブってくる想いである。

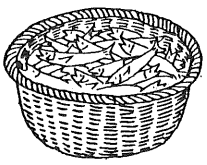
〔水みちの成果〕

時は過ぎて，今から15年前，公団の昭和46年度事業であったHPC工法団地建設の工事監理に携わった時の話をしてみたい。HPC工法は高度成長期の最中に次の時代を担う住宅建設工法として8PC工法と共に脚光を浴びた工法である。当該団地が新工法施工2つ目でありながら当初の試験施工のフィードバックが充分なされないままの設計図書であったことと，施工者も初体験であったこと等で，各種施工図，加工図起しには困難を窮めた。

HPC工区は3つの工区に分かれており，担当監督員は筆者を含めて3人。通常は担当工区を特定するところであるが，特殊設計（特に工業化工法ということから）で技術情報を集約する必要性から担当工区を特定せず3人の共同監理とすることとした。

そこで主要工事種目を徹底検討する為に，A君が構造と内装パネル，B君が建具と金物，筆者が防水と内外装を担当し，その他雑工





事等は全員で当ることとした。

各工事種目毎に納まり，工程等問題点が山積し，A・B君と徹夜で検討議論することも度々で，最後は気力と体力，そしてチームワークが支えであった。

防水の納まりを考えていくにも，これまでの筆者の浅知識では対応しきれず猛勉強を強いられた。先ず，近代防水の歴史を，そして，現行の規格，基準の整理，その他専門用語を解釈することから始め，適応材種の整理をした。

たとえば，主なものを挙げると，

イ．各種シーリングの耐久性とコストの相関図，加えて限定予算とのコストプライスグラフの策定

ロ．コストプライスからシーリングを次のように使い分ける。

① メンテナンスの容易な個所，つまり雨漏れ個所が発見しやすく，修繕作業性（足場）の良い部位は，油性，SBR，アクリルシーリングの範囲で使い分ける。

② 雨漏れ個所が発見しにくく，修繕作業困難な部位はウレタンシーリングとする。

その結果，廊下，バルコニー壁ジョイント及びアルミサッシュ廻りはSBR，アクリルシーリングとし，梁上端は油性コーキングとした。

また，妻壁やコアー外壁ジョイントはウレタンシーリングとした。特に妻壁のように構造壁と化粧壁で二重になっている場合には漏水個所の発見がより困難であるために，水みち設定を含めた二重防水で完全を期す必要があると考えた。

ハ．最低シーリング厚の規定として，仕上がり寸法（シーリングが痩せ切った状態での寸法）を7㎜とする。

ニ．屋根ジョイントウレタン塗膜防水がPC板挙動に対応するためにガムテープを活用する。

ホ．プライマーの選定については，試験塗りの上，密着性の目視テストを行う。

ヘ．廊下，バルコニーの巾木部L型塗膜防水の気泡解消と粘成度確保の物性確認をする。

ト．二液型シーリング及び塗膜材は丸型容器を使い，調合は特定責任者がその任に当る。

——等々である。

この結果，基本的な施工要点について，施工者と監理者の間で事前確認のうえ行なわれた施工には築後15年経過した現在でも充分手応えを感じる成果が挙げられる。反面，施工体制とチェック体制の油断から出た施工時の問題のほか種々の誤りも挙げることができる。これら具体的な内容については，紙面の都合もあり別の機会を待ちたい。

おわりに，この種の材料とその用途については各界の方々により，色々な形での分析，整理が進められているが，益々多種多様化の傾向にあり，ユーザーとして，工事仕様を整備する上で使用材料等の選択適用に混迷しているのが実態である。そこで，メーカーの方々にお願いするのは，特に新規材料での初期施工の，徹底した追跡調査による分析と，その結果のわかり易い解説である。

（住宅・都市整備公団管理部住宅保全課建物係長）

● 屋上防水工事
● 外壁防水工事
● シーリング工事
● ライニング工事
責任施工

日本シーリング工事業団体連合会会員
全日本アスファルト防水事業協同組合会員
サンスター会会員
リフリート工法普及会会員
ソフランシール工業会会員
（広島県知事許可般-57第4809号）

株式会社サンゼオン防水工業所
〒733 広島市西区中広町3丁目17-16
TEL 082-291-1631

● 防水及補修全般
結露防止，改修工事
● 漏水現場診断施工設計

本部運営の効率向上と会員サービスを

総務委員会

60年度は当委員会が，59年度９月の事務局長および女子事務員の交代のもとに，新しい事務局運営を始めた年である。

皆様ご承知の通り，本年度はますます市場が混迷し，各会社共々，使用される費用（経費）は，厳しく評価されていることと思う。総務としても合理的，効率的な運営を前提として，当工業会の予算設定および運用について，皆様から拠出された貴重な資金を，事務所固定費の削減を計ることで事業活動にまわせる様志向したつもりである。

その結果事務所運営に関する諸費用が当会総予算に対し50%程度になった。委員会活動費は前年度に比べ約147%の予算設定が行われ，各委員長の要望に全面的にお応え出来たとは言いかねるものの，一歩前進だったと思う。次のステップについては，内容充実を図り，公的費用を生きたお金とすべく，一層の配慮を払わなければならないと思っている。

当委員会としての主な施策予定を下記に示す。

1．組織の拡充と運営強化について

・理事会　５回（61年１月～12月）

・幹事会　10回（ 同　１月～12月）

会員会社のトップおよびトップに準じられる方々の忙しさから，60年度は事務的諸問題は幹事間で審議，立案し，理事会では，検討課題により報告承認事項と，別途意志統一を計る事項として分割する運営形態が，定着化出来た年であったと思う。

2．事務局の活性化と効率化について

先に記したように，新体制のもとに，最低限度の機械化を図り，事務処理の適確化およびスピード化を実践した。

1)　ファックスの導入〈60年５月より〉

通信費の削減に寄与し，特に61年以降は予算付けで明確化出来るものと思うと同時に，会員各社の委員の方からも，便宜上の効果に賛同が得られた。

通信費の実績　59年　132万円

同　予定　60年　90万円

2)　ワープロの活用について

過去，月報他印刷物については，外部に依頼していたが，女子事務員２名のエキスパート化により，事務処理能力が倍加し，事務局で発行することになった。また，今後の課題として，過去から将来にわたる資料として残すべきもの，即ち，ファイリング・システムの取り込みを開始した。これは，61年度の主テーマにして行きたい。目標としては情報の整理を行い，かつ，会員各社にフィードバック出来る様なシステムまで可能になればと思っている。

3)　財務管理の徹底について

事業費の運用が適切に行われているかのチェックを，外部の会計事務所にサービス価格で契約依頼してきたが，会計事務所のコンピューターを活用し，手作業の矛盾を解決し，毎月監査業務をも実施している。

4)　その他

今日，工業会の歴史は20年を経て，当初より工業会活動をされている方も数少なくなっている。当工業会の要職に携っておられた，信越化学の江坂氏，東芝シリコーンの金子氏のご両名が，10数年の活動の足跡を残され去って行かれた。長年のご苦労に対し感謝の念に堪えない。時の流れにせよ，寂しき限りではあるが，今後は，先輩ご両名の残された，よりよき運営手法について，これを範として継承していきたい。

委員会報告

新たな局面
種々の技術的成果への対応

技術委員会

昭和60年は対外活動において正に収穫の年であったと云えよう。永年のシーリング技術の研鑽と蓄積の結果を結集した委員会内部の英知と協力の賜物である。またこれらの活動に真剣に御指導をいただいた諸先生方や関係各位の御努力もあって実りの多い年になり得たことに対し，誌上を借りて謝辞を述べる次第である。

上記の収穫の全容については既に「シーリングニュース26号」で〝最近の技術動向〟として紹介している通りであるが，改めて項目を列挙すると下記のようになる。

1)建設省・建築工事共通仕様書
（昭和60年版）……完了
2)建設省・建築工事施工監理指針
（昭和60年版）……完了
3)建設省総合技術開発プロジェクト
「建築物の耐久性向上技術の開発」……完了
4) JIS A 5758
「建築用シーリング材」1986……完了
5)建築学会・建築工事標準仕様書
JASS 8 第3節 シーリング工事—1986 …完了
6)新基材名〝変成ポリサルファイド系〟の
呼称決定……完了
7) NSK・外防協との共同試験 ……継続中
8)シーリング材の色調，呼称の統一化……継続中
9)その他，関連団体へのシーリング技術の普及
……継続中

上記の1)～5)は相互に密接な関連があり，所謂，設計—材料—施工に渉る事項と工事面での新築—補修・改修に渉る事項が網羅されている。一部タイミングの問題があって全てに整合性が得られていない点はあるが，シーリング防水技術の集大成に近い成果と云えよう。

これらの根幹をなすのが，JIS A 5758の改正案と本誌掲載の〝シーリング防水の適材適所表〟である。後者については，建設省の要望に基づいて作成したことに始まり，総プロやJASS 8にも応用展開されて来た経緯がある。逆にこの表があって，初めて作業が進んだとも云えよう。

さて，本年の目標としては，当然のことながら成果の普及と懸案事項の推進が挙げられる。

建設省共仕，JIS，JASSの内容の周知徹底は当然の事として，総プロ成果への対応には相当なエネルギーの注入を必要としよう。

世の中は，より耐久性を求めると同時に適確な補修・改修を望んでいる。そして，総プロにおける，3次診断の結果によっては材料自身の耐久性や既存シーリング材の断面形状から設計や施工の良否が浮彫りにされて来ることが予想される。

期待耐用年数とこれに伴う保証問題をどう取扱うかの問題も発生する。従って総プロ成果の普及に対する具体的対応は今年度の極めて大きい課題であり，工業会を挙げてこれに取組む必要があろう。

NSK や外防協との共同試験を始めとして関連団体との共同作業も増加の方向にある。

個々の対応から団体としての対応の方向に向けて委員会の活動範囲を拡大させたいと考えている。

このような活動は委員会内部の処理ではなく工業会全体の参画によって行われる必要がある。そこで広報誌を通じて技術委員会の抱える問題を会員各位に知って頂くような活動も開始した。今後益々多勢の協力を得て，より充実したそして新しい技術レベルを加味した成果を挙げるよう努力を重ね，工業会の発展に寄与したいと考える。

継続活動こそ前進への一歩

調査委員会

調査委員会活動としては，確たる成果をあげられぬうちに１年が過ぎ去った――というのが正直なところである。工事件数，着工面積は数字の上では上向き傾向にあるが，建築業界の内部事情は，元請をはじめサブコン，メーカーも含めたダンピングまがいの受注競争が相変らず行なわれており，一向に改善されぬ状況にある。我々も，決して傍観できる立場にあるわけでなく，その中でもがき苦しんでいるのが実情だ。この１年を経過したところで，格差はあるものの出荷面の全体的な伸び率の低下は引続いており，生産過剰気味の市況下にあって過当競争，低価格水準での販売合戦，その結果の減収・減益といった悪循環はほとんど変らず，むしろ悪化したと言っても良いくらいである。我々としても，こうした事態は，ここ数年我身をもって経験してきたことである。

この局面は，建設業の低迷に伴い，かつての量に支えられた成長パターンが完全に崩壊した結果でもあり，抜本的な解決策をもって対処することが必要であろう。

当委員会も，この最大課題については，何らかの成果，一歩と言わず半歩の前進でも良いという覚悟で努力してきたつもりである。しかし，冒頭述べたように，その成果が得られたとは言い難く，我々の力量不足を露呈するように（実際そのとおりなのだが）引続いての課題として持ち越さざるを得なくなってしまった。

もちろん，満足のゆく成果なるものは一朝一夕でなせるものではない。活動を続けることが前進のための必須条件である。前委員長時代に設定された参考標準設計価格は，付帯条件の明確化，工事費用の細分化，施工体系における価格差の明瞭化など，従来になく理解を得易い，実勢に即した標準として有意な成果のひとつといえよう。しかし，それで事が足りるわけでなく，当然ながら，健全な工事受注がなされるために役立てて行かねばならない。

微力ながらも，当委員会としてなし得たことのひとつは，この標準設計価格表に基づいて，全国各地のシーリング事情の把握に努めたことである。

北海道から九州に至るまで，各支部およびシーリング工事団体の協力を得て，本部調査委員会としての把握を心掛け，実際に全国を行脚したものである。

各地の経済状況，あるいは，販売ルートは，地域事情，商習慣的な要素がからみ，千差万別とは行かないまでも微妙な異差があったことも事実である。この実情把握は，あくまで断片的なもので公式化できるものでもないが，今後の調査委員会ならびに本部活動の全国レベルでの展開に役立てばと考える次第である。また，同趣旨の実態調査は，最大需要地域である関東地区について，東シ協，７日会のご協力を得て東京支部により特に緻密に行なわれたことを記しておく。

現状からして，われわれを取巻く環境が急激に好転することは考えられず，必然的に首記の課題も極限まで逼迫してくるであろう。本年こそはと思いつつ，何年を凌いできたか，いや，振り返る余裕すら既に無い状態である。販・工におかれる状況も全く同様と認識し，問題解決に当っては，われわれのみならずシーリング防水を支えている材・販・工の利害一致に立脚した展開が何よりも必要であろう。

委員会報告

期待と重要性高まる管理士制度

検定委員会

今年も「シーリング管理士」,「シーリング技術管理士」の養成講習会ならびに検定試験が近づいて来た。昨年度までに200余名の「シーリング管理士」と，同じく200余名の「シーリング技術管理士」を世に送り出し，いささかなりとも，正しいシーリング施工と管理を業界に定着させる役割の一端を担っているものと自画自賛している次第である。もちろん建築業界，学会あるいは建設省等の指導よろしきを得て，今日のシーリングの重要性認識の定着があったものと考えられるし,シーリング技能検定制度(昨年度までのシーリング防水工事作業の検定合格者は3,000名に近い)や建築施工管理技士制度等国家認定制度の寄与があったことも事実であろう。

日本シーリング工業会が認定する「シーリング管理士」,「シーリング技術管理士」は国家資格ではないが，そのレベルの高さにおいてその価値は非常に大きいものと自負している。事実，今後各所でその成果が発表され内容が明らかにされる建設省総プロ活動の「シーリング防水の総合耐久設計指針」では，「シーリング管理士」の技能面での役割が重要視されるはずで，今後，有資格者の有無がシーリング防水工事に大きな影響を持つようになるのは間違いないところであろう。

国家認定制度と両々あいまって管理士制度も健全に発展することを願って止まないものであるが，資格の権威づけといったことも考える必要があると思われる。昨夏日シ工連とも若干の討議を行ない，個人資格化等の方向も探ってみたが，時期尚早ということでペンディングとなっている。今後とも十分に議論をつくし，より良い制度への努力を続けたいと考えているので，皆様の深いご理解を切に希望する次第である。

ところで最近の傾向であるが「シーリング管理士」の受験者数の減少が目立っており，２年遅れで発足した「シーリング技術管理士」と資格者数が並んでしまうに至っていることである。技術管理士が増えることはもちろん歓迎すべきことではあるが，管理士の数の伸び悩みが気掛りな点ではある。現場で実際施工に携わる方々にも是非管理士の資格を取得していただき，より完全なシーリング施工に寄与していただきたいと思う。

建築業界を取巻く環境は厳しく早急に回復するとも思えないが，この厳しい時にこそ，体質を強化し対応することが要求されるのではあるまいか？より多くの施工会社が日シ工連に加盟し，多数の「シーリング管理士」が誕生することを願うものである。

さて本年も２月には養成講習が実施される訳で，その準備に忙しい毎日である。毎年のことながら，講師の方々にはテキストの見直し，試験問題の作成をお願いし，検定委員会でチェックを重ね，印刷に回すといったことで，更には機密の保持にも気を配る等事務局の労苦も大変である。今年はテキストの大幅な改訂は行なわなかったが，来年度は JIS の改正，JASS の改定等をふまえて，大幅な見直しを考えている。

もう一つ，今年度は４年毎の更新講習を再開する年である。規約の改正で昨年度まで若干間があいたが今年からまた毎年４年毎の更新手続を実施することになる。講習の時期は本年度の総会（通常５月）の前ということで４月に東京地区と大阪地区の２ヶ所で実施する予定である。講義主体の講習となるが，最近の動向を市場の面および,技術の面から解説をし，実りある講習会にしたいと考えている。

建築用シーリング材参考標準設計価格

昭和61年1月　　（単位：m当り円）

材料区分	積算基準（円／ℓ）	目地寸法（幅×深さmm）	材料価格	材料ロス	労務費	副資材費	諸経費		施工単価	備考
							直接経費	間接経費		
シリコーン系1成分形	5,100	10×10	510	153	380	149	95	283	1,570	
		15×10	765	230	461	182	131	391	2,160	
		20×10	1,020	306	521	216	165	489	2,720	
シリコーン系2成分形	4,350	10×10	435	87	430	149	88	261	1,450	
		15×10	653	131	504	182	118	352	1,945	
		20×10	870	174	590	216	148	442	2,440	
		20×15	1,305	261	698	254	201	601	3,320	
		25×15	1,631	326	826	289	246	732	4,050	
		30×15	1,958	392	972	327	292	869	4,810	
		40×20	3,480	696	1,294	399	470	1,391	7,730	
変成シリコーン系1成分形	5,000	10×10	500	150	380	149	94	237	1,510	
		15×10	750	225	460	182	130	323	2,070	
		20×10	1,000	300	521	215	160	404	2,600	
変成シリコーン系2成分系	4,000	10×10	400	80	430	149	85	256	1,400	
		15×10	600	120	504	182	112	332	1,850	
		20×10	800	160	590	216	141	423	2,330	
		20×15	1,200	240	698	254	191	567	3,150	
		25×15	1,500	300	826	289	233	692	3,840	
		30×15	1,800	360	972	327	277	824	4,560	
		40×20	3,200	640	1,294	399	443	1,314	7,290	
ポリサルファイド系	4,000	10×10	400	80	430	149	85	256	1,400	
		15×10	600	120	504	182	112	332	1,850	
		20×10	800	160	590	216	141	423	2,330	
		20×15	1,200	240	698	254	191	567	3,150	
		25×15	1,500	300	826	289	233	692	3,840	
		30×15	1,800	360	972	327	277	824	4,560	
		40×20	3,200	640	1,294	399	443	1,314	7,290	
アクリルウレタン系	3,400	10×10	340	68	430	149	79	237	1,300	
		15×10	510	102	504	182	104	316	1,720	
		20×10	680	136	590	216	130	389	2,140	
		20×15	1,020	204	698	254	174	522	2,870	
		25×15	1,275	255	826	289	212	635	3,490	
		30×15	1,530	306	972	327	251	752	4,140	
		40×20	2,720	544	1,294	399	397	1,190	6,540	
ポリウレタン系1成分形	2,700	10×10	270	81	380	149	70	210	1,160	
		15×10	405	122	461	182	94	276	1,540	
		20×10	540	162	521	216	115	346	1,900	
ポリウレタン系2成分形	2,300	10×10	230	46	430	149	68	207	1,130	
		15×10	345	69	504	182	88	262	1,440	
		20×10	460	92	590	216	109	323	1,790	
		20×15	690	138	698	254	142	418	2,340	
		25×15	863	173	826	289	172	507	2,830	
		30×15	1,035	207	972	327	203	606	3,350	
		40×20	1,840	368	1,294	399	312	927	5,140	
アクリル系	1,100	10×10	110	22	272	149	44	133	730	
		15×10	165	33	317	182	56	167	920	
		20×10	220	44	372	216	68	200	1,120	
SBR系	900	10×10	90	18	272	149	42	129	700	
		15×10	135	27	317	182	53	156	870	
		20×10	180	36	372	216	64	192	1,060	
ブチルゴム系	1,100	10×10	110	22	272	149	44	133	730	
		15×10	165	33	317	182	56	167	920	
油性	850	10×10	85	17	272	18	31	97	520	
		15×10	128	26	317	27	40	122	660	
		20×10	170	34	372	37	49	148	810	
		30×10	255	51	435	45	63	191	1,040	

注）上記価格は製造業者，地域，JIS 規格合否等により多少変動することがあります。

建築用シーリング工事参考標準設計価格付帯条件

1. 施工時の材料を次のように設定する。

(1) 2成分形シーリング材のロスは20%とする。

(2) 1成分形シーリング材のロスは30%とする。(仕上げ時にはみだした材料の再使用ができない)

(3)ガラス：ガラスのジョイントに1成分形シリコーンを使用した場合のロスは下記の通りとする。

(a)ガラス：ガラス突付け……50%

(b)ガラス：ガラス＋リブ付…… 100%

（ガラス上下の中間にブレ止め用の器具を取り付け，気泡が混入しないよう2～3方向から同時に充填し，同時にヘラ仕上げをする。その際，はみだした材料は再使用できない。またブレ止め部のダメ工事がある。）

2. ゴンドラ使用の場合は，次の通りとする。

(1)ゴンドラは無償供与とし，揚重，取付け点検費用は，別途とする。

(2)階層割増しは，下記のように設定する。

項目＼階高	12階以下	13階以上	備考
a 労務費	40%アップ	50%アップ	・ゴンドラの盛替え作業 ・未作業昇降時間，大規模現場の場内運搬，その他の管理業務等の費用がa，bに含まれる。
b 直接経費	25%アップ	50%アップ	
c 間接経費	a，bに準じてアップする		
作業日稼動日数の平均	18日／月	16日／月	

※ゴンドラ作業の計算例　　(単位；m当り円)

項目＼階高	材料	積算価格	目地寸法	材料価格	ロス	労務費	副資材	諸経費 直接	諸経費 間接	施工価格	アップ率
12階以下	ポリサルファイド(2成分)	4,000円/ℓ	20×10	800	160	826	216	176	481	2,659	14.1%
			20×15	1200	240	977	254	239	643	3,553	12.8%
13階以上			20×10	800	160	885	216	211	502	2,774	19.0%
			20×15	1200	240	1,047	254	286	669	3,696	17.3%

3. 本価格の適用は目地長さ500m以上とする。

4. 施工体系

2次工事業者 → 1次工事業者 → 関連業者 → ゼネコン → 施主

注) シーリング工事の流れは非常に複雑で上図のようにいくつかの段階を経て工事業者に発注される場合が多い。図中の関連業者とは防水，サッシ，PC，カーテンウォール，ガラス業者等を指す。
また1次工事業者は施工管理のみを行ない実際の工事は2次工事業者以下が行なう場合が一般的である。

上表に示す価格はゼネコンが施主から請負う段階での標準的な価格である。

建築用シーリング材市販製品一覧表

シリコーン系シーリング材

シリコーンシーリング材には1成分形と2成分形があり，主成分自体がシロキサン結合をしているので耐候性・耐熱性・耐寒性のみでなく，耐久性にもすぐれている。

1成分形は空気中の水分に触れると常温で硬化する。酢酸型に代表される高モジュラス型のほか，低モジュラス型や塑性タイプのマスチック型もある。2成分形は基剤と硬化剤からなり，混合することによって均一に硬化し，低モジュラス高伸度のすぐれた性能を発揮する。

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
(株)エービーシー商会	ABCシリコーンカートリッジ	クリアー，ホワイト，グレー，ブラック，ダークブラウン，アイボリー	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
サンスター技研(株)	ペンギンシール2505	クリアー，ホワイト，ニューアイボリー，グレー，ダークブラウン，ブラック	330mℓカートリッジ×40本/ケース	1成分形	高モジュラス
	ペンギンシール2520	ホワイト，グレー，アイボリー，ブラック	3ℓセット×2	10：1	低モジュラス
	ペンギンシール2510	ホワイト，グレー，アンバー，ブラック	500mℓフィルムパック	1成分形	低モジュラス
	ペンギンシール2530	グレー，アンバー	500mℓフィルムパック	1成分形	マスチックタイプ
シャープ化学工業(株)	シャーピーシールS	クリアー，グレー，アンバー，アイボリー，ホワイト，アルミ	330mℓカートリッジ×10本(段ボール箱入)	1成分形	
信越化学工業(株)	KE42	透明，白，黒，グレー，アルミ，アンバー，ダークブラウン，アイボリー	330mℓカートリッジ	1成分形	
	KE45	透明，白，黒，グレー，アルミ，アンバー，アイボリー，ダークブラウン	330mℓカートリッジ	1成分形	
	KE422	透明	330mℓカートリッジ	1成分形	
	KE420	高透明	330mℓカートリッジ	1成分形	超高透明
	KE4288	白	330mℓカートリッジ	1成分形	防かび性，酢酸型
	KE4588	白，アイボリー	330mℓカートリッジ	1成分形	防かび性，オキシム型
	シーラント72	白，グレー，黒，アンバー	330mℓカートリッジ	1成分形	中モジュラス，アルコール型
	シーラント80	白，グレー，黒，ブラウン	330mℓカートリッジ	1成分形	低モジュラス
	シーラント70	白，グレー，アンバー，黒	3ℓセット	10：1	低モジュラス(F)
	シーラント701	白，グレー，黒，アンバー	3ℓセット	10：1	低モジュラス(F)
	シーラント77	白，グレー，黒，アンバー	3ℓセット	10：1	低モジュラス(F)
	シーラント79	グレー，アンバー	3ℓセット	100：10：0.71	塑性シーラント，3成分形
	シーラント74	白，ライトグレー，ダークグレー	3ℓセット	10：1	低モジュラス，60分耐火シーラント
(株)スリーボンド	スリーボンド5211	ホワイト，クリアー，アルミ，グレー，アイボリー，アンバー，ブラック	1/3ℓカートリッジ×10本(段ボール箱入)	1成分形	無酸型
	スリーボンド5241	ホワイト，クリアー，アンバー，グレー	1/3ℓカートリッジ×10本(段ボール箱入)	1成分形	酢酸型
	スリーボンド5271	グレー	3ℓセット	10：1	

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
世界長(株)	セカイチョーシーラーＳＩ	クリアー，ホワイト，ダークブラウン，グレー，アイボリー，アルミグレー	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
セメダイン(株)	セメダイン シリコーンシーラー8060	クリアー，アルミ，ホワイト，アンバー，ナチュラルストーン，ダークアンバー，グレー	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
	セメダイン シリコーンシーラー8065	クリアー，シルバー，ホワイト，アンバー，ナチュラルストーン，グレー，ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
テイバ化工(株)	ボニーシリコーンSE5050	グレー	4ℓ	1成分形	マスチックタイプ 表面のみ硬化
	ボニーシリコーン3011	グレー，クリアー，ホワイト	1/3ℓ×10本	1成分形	酢酸型
	ボニーシリコーン3010	ホワイト，アイボリー，グレー，クリアー，アンバー	1/3ℓ×10本	1成分形	無酸型
東芝シリコーン(株)	トスシール361	ホワイト，ニュートラル，グレー，アンバー，ブラック	3ℓセット	100：3	㊗9030 低モジュラス
	トスシール62	グレー，ブラック	3ℓセット	100：3	中モジュラス ガラス用
	トスシール63	アイボリー	3ℓセット	100：3	防かび性
	トスシール64	ホワイト，ブラック	3ℓセット	100：3	準不燃性
	トスシール67	グレー	16ℓセット	100：4.5	流動性
	トスシール10	ホワイト，グレー，ダークブラウン	0.5ℓフィルムパック 4ℓ丸缶	1成分形	㊗9030 低モジュラス アミノキシ型
	トスシール371	クリアー，ホワイト，グレー，アルミグレー，ブラウン，ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型，速硬性
	トスシール17	クリアー，グレー，ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型，高モジュラス，遅硬化性
	トスシール73	ホワイト	1/3ℓカートリッジ	1成分形	防かび，酢酸型
	トスシール78	クリアー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	高透明，酢酸型
	トスシール381	クリアー，ホワイト，グレー，アルミグレー，ダークブラウン，ブラック，ニュートラル	1/3ℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
	トスシール83	ホワイト，アイボリー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	防かび，オキシム型
	トスシール380	ホワイト，グレー，ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ 4ℓ丸缶	1成分形	低モジュラス アルコール型
	トスシール90	ニュートラル	3ℓセット	100：3：0.64	油性目地補修用，3成分形
トーレ・シリコーン(株)	ＳＨ780	クリアー，ホワイト，グレー，アイボリー，ニューアイボリー，アルミ，アンバー，ブラック，ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酸型
	ＳＨ781	クリアー，ホワイト，グレー，アンバー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	ＳＥ788	クリアー，グレー，ホワイト，アンバー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酸型，中モジュラス

会　社　名	商　品　名	色	容量・荷姿	混合比	備　考
トーレ・シリコーン(株)	SE789	クリアー，グレー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型，中モジュラス
	SH790	ホワイト，グレー，ナチュラルストーン，アンバー，ブラック，アイボリー	1/2ℓフィルムパック	1成分形	低モジュラス
	SH792	ホワイト，アイボリー，グレー，ナチュラルストーン，アンバー，ブラック	3ℓセット	10：1	低モジュラス㊞
	SE555	グレー，アンバー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	脱アルコール中モジュラス
	SE777	スーパークリアー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	SE5003	グレー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	準不燃性
	SE5010	ホワイト，アイボリー，ニューアイボリー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酸型，防かび性
	SE5011	ホワイト	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型，防かび性
	SE9090	グレー	1/3ℓカートリッジ 4ℓ	1成分形	マスチックタイプ（表面のみ硬化）
	SE794	グレー，アンバー	3ℓセット	100：3	準不燃性
	SE796	グレー，アンバー	3ℓセット	100：3	中モジュラスガラス用
日東ポリマー工業(株)	ニューワイドシーラー	クリアー，グレー，ホワイト，アンバー，シルバー，アイボリー，ブラック	330mℓカートリッジ×20本（段ボール箱入）	1成分形	
日本タイルメント(株)	タイルメントシリコーンシーラント	クリアー，ホワイト，グレー，アンバー，アイボリー，アルミ，ブラック，ガラスクリアー（100mℓチューブはホワイトのみ）	333mℓカートリッジ×20本 100mℓチューブ×60本	1成分形	
	防水シリコンゴム	クリアー，ホワイト	150mℓスクリューCT×40本	1成分形	
日本フランシール(株)	ロードシルV－2	クリアー	1/3ℓカートリッジ×20本（段ボール箱入）	1成分形	酢酸型，中モジュラス
	ロードシル3－B	クリアー，グレー，ホワイト，アルミ	1/3ℓカートリッジ×20本（段ボール箱入）	1成分形	酢酸型
	ロードシルV－60	クリアー，グレー，ホワイト，ダークブラウン，アイボリー，ブラック	1/3ℓカートリッジ×20本（段ボール箱入）	1成分形	オキシム型，中モジュラス
	ロードシルV－70	クリアー，グレー，ホワイト，ダークブラウン，アイボリー，ブラック	1/3ℓカートリッジ×20本（段ボール箱入）	1成分形	オキシム型
	ロードシル5C	グレー，ホワイト，ブラック	1/3ℓカートリッジ×20本（段ボール箱入）	1成分形	アルコール型
バイエル合成シリコーン(株)	バイエル合成シリコーンシーラント　BA－10	アイボリー，グレー，アンバー，ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型，低モジュラス
	バイエル合成シリコーンシーラント　AP－20	クリアー，ホワイト，グレー，アンバー，ダークブラウン，ブラック，アルミ	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	バイエル合成シリコーンシーラント　AP－22	グラスクリアー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型，超透明
	バイエル合成シリコーンシーラント　BM－30	クリアー，ホワイト，アンバー，ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型
	バイエル合成シリコーンシーラント　BO－50	クリアー，ホワイト，アイボリー，グレー，アンバー，ダークブラウン，ブラック，アルミ	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型
	バイエル合成シリコーンシーラントBO－50GC	グラスクリアー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型
	バイエル合成シリコーンシーラントBL－40	クリアー，ホワイト，グレー，ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	アルコール型
	バイエル合成シリコーンシーラントMS－60	グレー，ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	マスチック型
横浜ゴム(株)	ハマタイトSS－310	ホワイト，グレー，ダークブラウン，アイボリー，ブラック，クリアー	333mℓカートリッジ×20本（段ボール箱入）	1成分形	無酢酸型
	ハマタイトシリコーン70	ホワイト，グレー，ダークブラウン，ブラック	4ℓセット×2（段ボール箱入）	10：1：（0.48～0.57）	(0.48～0.57)はカラーマスター

変成シリコーン系シーリング材

変成シリコーンシーリング材はオルガノシロキサンを有する有機ポリマーを主成分とするまったく新しいシーリング材であり，湿気硬化する1成分形と反応硬化する2成分形がある。硬化は水と触媒の作用によりシロキサン結合を形成し，ゴム弾性体となる。性能はシロキサン結合を含むためシリコーンシーリング材に近く作業性，耐熱性，耐久性が良好でありシーリング材としての要求性能をバランスよく保持している。

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
(株)エービーシー商会	ABC変成シリコーンM	ホワイト，ライトグレー，グレー，ブラウン，ダークブラウン	3.5ℓ×4	10：1	㊞9030
カネボウ・エヌエスシー(株)	カネボウ P—8000	グレー，ブロンズ，ホワイト	3.4ℓセット×2（段ボール箱入）	10：1	㊞9030
	ベルエースMS	グレー，ブロンズ，アンバー，ベージュ，ホワイト	4ℓセット×2（段ボール箱入）	100：10：(3.5)	㊞8020 (3.5)はカラーマスター
	デュアリボンMS	ホワイト，グレー，アイボリー，ベージュ	1/3ℓカートリッジ×10本（段ボール箱入）	1成分形	
コニシ(株)	ボンドMSシール	ホワイト，アイボリー，グレー，アンバー，ブロンズ，ブラック	4ℓセット×2（段ボール箱入）	100：10：(3)	㊞9030 (3)はカラーマスター
	ボンド変成シリコーンコーク	グレー，白，アイボリー，ベージュ	333mℓカートリッジ×20本	1成分形	
サンスター技研(株)	ペンギンシール2500	グレー，アンバー，ホワイト，ベージュ，ブラック	4ℓセット×2 トナー200g×40袋	10：1：0.4	㊞9030
	ペンギンシール2555（パワーファイブ）	グレー，アンバー，ホワイト，ベージュ	320mℓカートリッジ	1成分形	低モジュラス
三洋工業(株)	スリーコーンB—3000	ホワイト，グレー，ダークブラウン	3ℓセット	10：1	
	スリーコーンC—320	ホワイト，グレー，アイボリー，アンバー	320mℓカートリッジ	1成分形	
サンライズメイセイ(株)	SRシール S50	グレー，白	3ℓセット×4	10：1	㊞9030
	SRシール S70	グレー，白	333mℓカートリッジ	1成分形	
シャープ化学工業(株)	シャービーシール M	ホワイト，グレー，ブラウン，アイボリー，ベージュ	320mℓカートリッジ×10本（段ボール箱入）	1成分形	
	シャービーシール M—2	グレー，ホワイト，ブラウン	4ℓセット×2（段ボール箱入）	10：1	
世界長(株)	セカイチョーシーラーMS	ホワイト，グレー，アイボリー，アンバー，ダークブラウン，ブロンズ，黒	4ℓセット×2	100：10：(3)	㊞9030 (3)はカラーマスター
	セカイチョーシーラーHS	ホワイト，グレー，アイボリー，アンバー，ダークブラウン，ブロンズ，黒	4ℓセット×2	100：10：(3)	㊞8020 (3)はカラーマスター
セメダイン(株)	POSシール	ホワイト，グレー，アイボリー，ベージュ，アンバー	333mℓカートリッジ	1成分形	
	POSシールタイプII	ホワイト，グレー，ブラック，ブロンズ，アンバー	4ℓセット×2	100：3	
テイパ化工(株)	ボニーシーラーMS—3000	グレー，ブラウン，ホワイト	4ℓセット×2（段ボール箱入）	10：1	㊞9030
日興化学工業(株)	ニッシーラーMS	白，グレー，アンバー，ブロンズ，黒	5ℓセット×2（段ボール箱入）	10：1	
日東ポリマー工業(株)	ニットーコーク5000MS	ホワイト，グレー，ブラウン	3ℓセット×4（段ボール箱入）	10：1	
日本タイルメント(株)	スーパーシール	ホワイト，グレー	333mℓカートリッジ×10本×2箱（1梱包）	1成分形	
日本添加剤工業(株)	ファインシーラーNo.500	グレー，ダークブラウン，ホワイト，ブラック	4ℓセット×2（段ボール箱入）カラーマスター（10ケ入カートン）	100：3：(5)	㊞9030 (5)はカラーマスター
(株)服部商店	サンシール #801	グレー，ホワイト，アイボリー，ダークブラウン	4ℓセット×2（段ボール箱入）	10：1	
日立化成ポリマー(株)	ハイボン 2000	グレー，アイボリー，ブロンズ，ブラック	4ℓセット×2	100：10：(3)	(3)はカラーマスター
横浜ゴム(株)	ハマタイトスーパーII	ホワイト，グレー，ダークブラウン，ダークアンバー，ブラック	4ℓセット×2（段ボール箱入）	100：10：(3)	㊞9030 (3)はカラーマスター
	ハマタイトスーパーワン	ホワイト，グレー，ベージュ，ダークブラウン	333mℓカートリッジ×20本	1成分形	

ポリサルファイド系シーリング材

ポリサルファイドシーリング材は弾性シーリング材としてもっとも歴史が古く，高層ビルの建築が可能となったカーテンウォール工法の発展とともに，可動ジョイントの防水に使用され，その真価を発揮してきた。ポリサルファイドシーリング材の特徴は，そのすぐれた耐久性に加えて，種々の建築材料によく接着することで，金属，石材，コンクリートおよび各種塗装に対する強固な接着は建築用途における汎用シーリング材としての地歩を固め，多くの実績をあげている。

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
アサヒボンド工業(株)	101～109	グレー，黒，白，ブロンズ，ライトブロンズ，アンバー，ライトグレー，クリーム，その他	3.47ℓセット	10：1	
(株)エービーシー商会	チオコーク	グレー，ライトグレー，ブラウン，ダークブラウン，ブラック	3.5ℓセット×4 7.0ℓセット×1	10：1	㊞9030
カネボウ・エヌエスシー(株)	カネボウP—5000	グレー，ブロンズ，アンバー	4ℓセット×2 (段ボール箱入)	10：1	㊞8020
関西パテ化工(株)	ハイトシール	ダークグレー，ブロンズ	3.4ℓセット	10：1	
コニシ(株)	ボンドシール#10	グレー，ブロンズ，アンバー，黒，アイボリー	4ℓセット×2	10：1	㊞9030
サンスター技研(株)	ベタシール 169	グレー，ホワイト，アンバー，ブラック	4ℓセット×2	10：1	㊞8020
三洋工業(株)	スリーコールB—4000	グレー，アンバー，オフホワイト	4ℓセット	10：1	㊞9030 ㊞8020
サンライズメイセイ(株)	SRシールT27	グレー	3ℓセット×4	10：1	
シャープ化学工業(株)	シャーピーシールT—35	グレー，ライトグレー，ダークブラウン，ブラック，ホワイト	4ℓセット×2 (段ボール箱入)	10：1	㊞8020
昭石化工(株)	フジチオコール	グレー，ブラウン，アンバー，アイボリー，ダークアンバー，ブラック	4ℓセット	10：1	㊞8020
住友スリーエム(株)	ウェザーバンシーラー	ブラック，グレー	3ℓセット×4 (段ボール箱入)	ブラック 100：12 グレー 100：7	
世界長(株)	セカイチョーシーラーTH	白，グレー，アンバー，ダークブラウン，ブロンズ，黒	4ℓセット×2	グレー100：10 白100：5 その他 100：10：(4)	㊞8020 (4)はカラーマスター
セメダイン(株)	ポリシール	グレー，ブラック，ブロンズ，アンバー2，アンバー3	4ℓセット×2	10：1	㊞9030
大日化成(株)	サンシーラーP	グレー，アンバー，ブラウン，黒	3ℓセット×2 (段ボール箱入)	100：8	㊞8020
テイパ化工(株)	ポニーシーラー PS—2000	グレー，ブロンズ1，ブロンズ2，ブラック，アンバー5	4ℓセット×2 (段ボール箱入)	100：8	㊞9030
(株)東亜応用化工	エポコールシーラ	グレー，ブロンズ，黒，白，アイボリー	3.2ℓセット×4 (段ボール箱入)	100：8	

会　社　名	商　品　名	色	容量・荷姿	混合比	備　考
東レチオコール(株)	トプコール	ホワイト，アイボリー，グレー30，グレー50，ブラウン，ブラック	333mℓカートリッジ×20本	1成分形	汎用タイプ
日興化学工業(株)	ニッシール	白，グレー，アンバー，ブロンズ，黒	3ℓセット×4 (段ボール箱入)	10：1	
日東ポリマー工業(株)	ニットーコーク300S	グレー，アンバー，ブラウン	3.3ℓセット×2 (段ボール箱入)	10：1	
(株)日本化学研究所	チオシールニッカ#3151	グレー	3.2ℓセット×2	10：1	
	チオシールニッカ#501	ブロンズ	3.2ℓセット×2	10：1	
	チオシールニッカ#1000	アイボリー	3.2ℓセット×2	10：1	
	チオシールニッカ#300	アンバー	3.2ℓセット×2	10：1	
日本添加剤工業(株)	ファインシーラーNo.300	グレー，ダークブラウン，ブラック，クリームホワイト	4ℓセット×2 (段ボール箱入)	10：1	Ⓟ 9030
(株)ノーベル樹脂化学	ニューコーク #501	グレー，各色	3.75ℓセット×2 (段ボール箱入)	10：1 1：1(土木用)	
(株)ハイケミカル	ハイケミコークNo.4000	グレー，ブロンズ，ブラック他	3.3ℓセット×2 (段ボール箱入)	10：1	
日立化成ポリマー(株)	ハイボン 1000	グレー，ブロンズ，アイボリー，アンバー，ブラウン，ブラック	4ℓセット×2 (段ボール箱入)	10：1	Ⓟ8020
三星産業(株)	三星シール PS	グレー，ブロンズ，アイボリー	4ℓセット×2 (段ボール箱入)	10：1	Ⓟ8020
横浜ゴム(株)	ハマタイトSC－500	オフホワイト，グレー，ダークブラウン，ブラック，アンバー	4ℓセット×2 (段ボール箱入)	20：1	Ⓟ8020 (Ⓟ9030)

アクリルウレタン系シーリング材

アクリルウレタンシーリング材はイソシアネート基（－NCO）を有する基剤成分と官能基を有する特殊なアクリルオリゴマーとが反応して得られる新規の2成分形シーリング材であり，特に耐熱性，耐候性にすぐれていることを特徴とする。

硬化したゴム弾性体は復元性，耐疲労性にすぐれているなどシーリング材としての必要機能が安定して具現される。主に金属パネル，PCカーテンウォール，石目地，タイル目地に適している。

会　社　名	商　品　名	色	容量・荷姿	混合比	備　考
日東電気工業(株)	ニトシールA2000	グレー，ダークブラウン，アイボリー，ブラウン，ブラック，ホワイト	5.5ℓセット×2 (段ボール箱入)	1：2.5	
山内ゴム工業(株)	トップシーラー#7	グレー，白，その他	6ℓセット×2 (段ボール箱入)	1：3	

ポリウレタン系シーリング材

ポリウレタンシーリング材はイソシアネート基（－NCO）を有する基剤成分と，活性水素化合物を含む硬化剤成分とを組み合わせた常温硬化型の弾性シーリング材の一つである。

ポリウレタンシーリング材はほかの溶剤型，エマルジョン型シーリング材よりも性能的にすぐれており，無溶剤型弾性シーリング材としては安価であるから中間的な性能の要求分野への利用が多く，一般に中高層以下のコンクリート，石綿スレート，ALC 板などの目地に用いられる。

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
アサヒボンド工業(株)	アサヒシール651～659	黒，白，ブロンズ，グレー，ライトブロンズ，クリーム，アンバー，ライトグレー，その他	4.4ℓセット 7.35ℓセット	1：3	
(株)エービーシー商会	ABCコーキングウレタン	グレー，ライトグレー，ダークブラウン，アイボリー，ホワイト，ブラウン	4.5ℓセット×2 9.0ℓセット×1	1：2	㊐8020
	ABCコーキングウレタン70	グレー，アイボリー，ホワイト，ダークブラウン	4.5ℓセット×1 9ℓセット×1	1：3	㊐7020
	ABCコーキングウレタンカートリッジ	ホワイト，グレー，アイボリー，ダークブラウン	333mℓカートリッジ×20本	1成分形	
オート化学工業(株)	オートンシーラー101A	グレー，ホワイト，アイボリー，アンバー	320mℓカートリッジ 4ℓ缶 12ℓペール缶	1成分形	一般汎用
	オートンシーラー101LM	ホワイト	320mℓカートリッジ 12ℓペール缶	一成分形	低モジュラス
	オートンシーラー101N	ホワイト，グレー	320mℓカートリッジ 12ℓペール缶	一成分形	ノンブリージングタイプ
カネボウ・エヌエスシー(株)	カネボウ P—6000	グレー，ブロンズ，ホワイト	4.3ℓセット×2 (段ボール箱入) 9ℓセット	1：3	㊐8020
	カネボウ P—6200	アイボリー	4.3ℓセット	1：3	
	カネボウ P—6500	ホワイト，グレー	320mℓカートリッジ	1成分形	
関西パテ化工(株)	セルシール PU	グレー	12.5ℓ	1成分形	
	セルシール PU	グレー，アンバー，白	4.6ℓセット	1：2	
	セルシール PU	グレー	333mℓカートリッジ	1成分形	
コニシ(株)	ボンドUシール	グレー，ブロンズ，アイボリー	6ℓセット×2	1：3	㊐8020
	ボンドウレタンコーク	グレー，白，アンバー，アイボリー	320mℓカートリッジ×20本	1成分形	
サンスター技研(株)	ペンギンシール 980	グレー，ホワイト，ベージュ，アンバー	6ℓセット×2 トナー300ｇ×40袋	1：2.9：0.15	㊐8020
	ペンギンシール 970	ブラック，グレー	12ℓセット	1：1	
	ペンギンシール 955	グレー，ホワイト，アンバー，ベージュ	14ℓ 320mℓカートリッジ	1成分形	
三洋工業(株)	スリーウレッチ 103	グレー，ナチュラルストーン	4.6ℓセット	1：3	㊐8020
	スリーウレッチ C320	グレー，アイボリー，ホワイト，アンバー	320mℓカートリッジ	1成分形	
サンライズメイセイ(株)	SRシール U31		7.1ℓセット	1：3	
	SRシール U73		320mℓカートリッジ	1成分形	
シャープ化学工業(株)	シャービーシールU	グレー，ホワイト，アイボリー，ブラウン	320mℓカートリッジ×10本 (段ボール箱入)	1成分形	
	シャービーシールU—75	グレー，ホワイト，アイボリー，ブラック	6.8ℓセット×2 (段ボール箱入)	1：2	㊐8020
			7.2ℓセットペール缶	1：3	

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
昭石化工(株)	ユーゼット	グレー，アイボリー，ブラウン，ダークブラウン	8ℓセット 3.4ℓセット	1：2	㊇8020
	ユーゼット 103	グレー，アイボリー，ブラウン，ダークブラウン	8.2ℓセット 5.4ℓセット 2.7ℓセット	1：3	㊇8020
スリーボンド(株)	PANDO412A	グレー	1/3ℓカートリッジ×25本 (段ボール箱入)	1成分形	
世界長(株)	セカイチョーシーラー U—1	ホワイト，グレー，アイボリー，ダークブラウン	320mℓカートリッジ	1成分形	
	セカイチョーシーラー PU—213	グレー，アイボリー，ダークブラウン	7ℓセット×2 4ℓセット×2	1：3	㊇8020
セメダイン(株)	S—750	ホワイト，アイボリーホワイト，ブロンズ，アンバー，グレー	4.35ℓセット×2 7.25ℓセット	1：3	㊇8020
	S—700	ホワイト，グレー，アンバー，ブラック，アイボリー，	333mℓカートリッジ	1成分形	
大日化成(株)	サンシーラー U—13	白，グレー，アイボリー，ブラウン	5.8ℓセット×2 (段ボール箱入)	1：3	㊇8020
	スカイシール U	白，グレー，アイボリー，ブラウン	1/3ℓカートリッジ×20本 (段ボール箱入)	1成分形	
大和高分子工業(株)	ダイワシール #100	グレー，ホワイト，アイボリー，アンバー，グリーン	320mℓカートリッジ×25本 (段ボール箱入)	1成分形	
	ダイワシール #500	グレー	7.14ℓセット	1：2	
テイパ化工(株)	ボニーシーラーU—2000	グレー，ブラウン，アイボリー，ブラック	7ℓセット×2 (段ボール箱入)	1：2	㊇8020
	ボニーシーラーU—3000	グレー，ブラウン，アイボリー，ブラック	6ℓセット×2 (段ボール箱入)	1：3	㊇8020
	ボニーシーラーU—8000	グレー，ホワイト，アイボリー，アンバー	865mℓカートリッジ×12本 320mℓカートリッジ×20本 (段ボール箱入)	1成分形	
(株)東亜応用化工	エポコール U—3	グレー，ブロンズ，黒，白，アイボリー	5.6ℓセット×2 (段ボール箱入)	1：3	
日興化学工業(株)	ニッシーラーウレタン	白，グレー，アンバー，ブロンズ，黒	5ℓセット×2 (段ボール箱入)	1：3	
日東電気工業(株)	ニトシール A 2100	グレーほか	7ℓセット×2 (段ボール箱入)	1：8	
日東ポリマー工業(株)	ニットーコーク200U	グレーほか4色	4.3ℓセット×2 (段ボール箱入)	1：3	
	ニットーウレタン	グレーほか4色	320mℓカートリッジ×20本 (段ボール箱入)	1成分形	
(株)日本化学研究所	ニッカウレタイトシーラー	グレー，ホワイト，ブラック	6ℓセット	1：2 1：3	
日本シーカ(株)	シーカフレックス1a	グレー，白，ダークアンバー，ベージュ，黒	320mℓカートリッジ×20本 (段ボール箱入) 400mℓモノ・ソーセージ20本／箱 12.5ℓペール缶入	1成分形	
	シーカフレックス15LM	グレー，白	320mℓカートリッジ×20本 (段ボール箱入) 400mℓソーセージタイプ(4本/真空パック×5/箱)	1成分形	低モジュラス
	シーカフレックス11FC	グレー，白，黒	320mℓカートリッジ×20本 (段ボール箱入) 400mℓモノ・ソーセージ20本／箱	1成分形	速乾型
日本タイルメント(株)	タイルメントウレタンシーラント	ホワイト，グレー，アンバー，アイボリー	333mℓカートリッジ×20本	1成分形	

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
日本添加剤工業(株)	ファインシーラーNo.200	グレー，ダークブラウン，ブラック，クリームホワイト	7ℓセットペール缶 3.5ℓセット×2 (段ボール箱入)	1：3	㊇8020
	ファインシーラーNo.20	クリームホワイト，グレー	7ℓセットペール缶	1：3	ALC用
	ファインシーラー No.200 水路用	グレー	7ℓセットペール缶	1：3	土木用
	ファインシーラーNo.2000	グレー	7ℓセットペール缶	1：3	土木用
	ファインシーラーNo.201	グレー，ダークブラウン，ホワイト	320mℓカートリッジ×20本	1成分形	
日本ポリウレタン工業(株)	U—ラント	グレー，ホワイト，アイボリー，アンバー	320mℓカートリッジ 4ℓペール缶 12ℓペール缶	1成分形	
(株)ノーベル樹脂化学	ニューコーク #401	グレー，各色	9ℓセット(段ボール箱入) 4ℓセット×2(段ボール箱入)	1：3	㊇8020 土木用，建築用
(株)ハイケミカル	ハイケミコークNo.3000	グレー，ブロンズ，ブラック，ホワイト	7.1ℓセット(主剤×4,硬化剤×2,段ボール箱入)	1：3	
	ワンウレタン	グレー，アンバー，アイボリー，ホワイト他	320mℓカートリッジ×20本 (段ボール箱入)	1成分形	
(株)服部商店	サンシール #701	グレー，ホワイト，アイボリー，ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
	サンシール #903	グレー，ホワイト，アイボリー，アンバー，ダークブラウン	7.5ℓセット	1：3	㊇8020
	サンシールAU	ホワイト，グレー，ダークブラウン	7.0ℓセット	1：10	ALC専用
日立化成ポリマー(株)	ハイボン 5000	グレー，ブロンズ，オフホワイト	4.4ℓセット×2 (段ボール箱入) 7.3ℓセット	1：3	㊇8020
保土谷建材工業(株)	ミリオネートNS—26	グレー，白，黒，茶	5.8ℓセット×2 (段ボール箱入)	1：3	㊇8020
	ミリオネートNS—12	グレー，白，黒，茶	5.8ℓセット×2 (段ボール箱入)	1：2.5	㊇8020
	ミリオネートシーラー	グレー，ホワイト，アイボリー，アンバー	320mℓカートリッジ×25本 (段ボール箱入)	1成分形	
三星産業(株)	三星シールAU	グレー，ブロンズ，ホワイト	3.7ℓセット×2 (段ボール箱入) 7.2ℓセット(ペール缶入)	1：3	㊇8020
山内ゴム工業(株)	トップシーラー#U2	グレー，白，ダークブラウン	6ℓセット	1：3	
横浜ゴム(株)	ハマタイト UH—30	アイボリーホワイト，グレー，ダークブラウン，ブラック，ベージュ	6ℓセット×2 (段ボール箱入)	1：3：(0.1)	㊇8020 (0.1)はカラーマスター
	ハマタイトシールエース	ホワイト，グレー，ダークブラウン，ベージュ	320mℓカートリッジ×25本 (段ボール箱入)，12ℓペール缶入	1成分形	

アクリル系シーリング材

アクリルシーリング材は水性の合成樹脂系シーリング材であり，通常アクリルエマルジョン樹脂を主成分とした1成分形シーリング材である。硬化は含有水分が蒸発したり，目地構成材に吸収されることによって始まり弾力性が出現し，シーリング機能が発揮される。おもな用途としてはコンクリート，ALC，石材，石綿スレート，木材などの目地施工に適している。

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
カネボウ・エヌエスシー(株)	カネボウ P—4000	ホワイト，グレー	18ℓ 320mℓカートリッジ	㊇7020
関西パテ化工(株)	ハイトコーク	白	17.3ℓ 333mℓカートリッジ	
	ハイトコークボンド	白	333mℓチューブ	

会　社　名	商　品　名	色	容量・荷姿	備　考
コ　ニ　シ(株)	ボンドアクリルコーク	白，アイボリー，グレー	17.4ℓ 330mℓカートリッジ×30本	㋮7020 (缶タイプのみ)
	ボンドコークホワイト	白	320mℓチューブ×30本	
	ボンドコークアイボリー	アイボリー	320mℓチューブ×30本	
サンスター技研(株)	ペンギンシール 1250	ホワイト	333mℓカートリッジ 340mℓチューブ 18ℓ	
三　洋　工　業(株)	スリーラント	ホワイト	18ℓ 333mℓカートリッジ 500ccチューブ 1000ccカートリッジ	
サンライズメイセイ(株)	ＳＲシールＹ60Ａ	白，グレー	17ℓ 320mℓカートリッジ	
シャープ化学工業(株)	シャーピーシールＡ	ホワイト，グレー	16.8ℓ 330mℓカートリッジ×10本 (段ボール箱入)	
昭　石　化　工(株)	アクリルエース	ホワイト	18ℓ 330mℓカートリッジ	
世　界　長(株)	セカイチョーシーラーＥＡ	ホワイト	17ℓ	㋮7020
	セカイチョーシーラーＥＡ カートリッジ	ホワイト	340mℓカートリッジ	㋮7020
セメダイン(株)	メジシールＳ—10　Ｓ—20	ホワイト	18ℓ	Ｓ—10　一般用 Ｓ—20　厳寒用
	メジシール	ホワイト	333mℓカートリッジ	
大　日　化　成(株)	サンシーラーＡ	白，グレー	17ℓ	
	サンシーラーＡＫ	白，グレー	1/3ℓカートリッジ×20本 (段ボール箱入)	
テイパ化工(株)	アクリルコーク Ａ—100	ホワイト	330mℓカートリッジ 17ℓ	
日東ポリマー工業(株)	エラスコーク	ホワイト，グレー， アンバー	17ℓ 330mℓカートリッジ×30本 (段ボール箱入) 330mℓチューブ×30本 (段ボール箱入)	㋮7020Ｗ—15 凍結防止品
	エラスコークブリット	ホワイト	700mℓパック×20本 350mℓパック×40本 (段ボール箱入)	㋮7020
(株)日本化学研究所	ニッカシールＡ	白	17ℓ	ALC，PC 専用
日本タイルメント(株)	タイルメントアクリルシーラント	ホワイト，ウスチャ，ベニア，アイボリー，ウグイス，ニス (333mℓカートリッジはホワイトのみ)	335mℓ×30本 333mℓカートリッジ×30本	
	ホワイトコーク	白	17ℓ缶 333mℓカートリッジ×30本	
日本添加剤工業(株)	ファインシーラーNa1000	ホワイト，グレー	17ℓ缶	
(株)ノーベル樹脂化学	ニューコーク ＃301	グレー，白	18ℓ 330mℓカートリッジ	
(株)ハイケミカル	ハイケミコークNa5000	ホワイト	17ℓ	
(株)服　部　商　店	サンシール ＃5001	ホワイト，グレー， アイボリー	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	㋮7020

会　社　名	商　品　名	色	容量・荷姿	備　考
三　星　産　業(株)	三星シールＡＣ	ホワイト，グレー	18ℓ 333mℓカートリッジ(ホワイト)×30本 333mℓチューブ(ホワイト)×30本	㊗7020
山内ゴム工業(株)	トップシーラー　#5000 #5000N	白，グレー	17ℓ 330mℓカートリッジ	㊗7020 N：凍結防止品

ＳＢＲ系シーリング材

SBR シーリング材は SBR のラテックスを基剤とし，充てん剤などを加えてペースト状とした水性シーリング材である。硬化は水分の蒸発とともに始まり充てん剤などを含んだゴム粒子が集まり融着し合い，徐々に部分的な架橋反応が進みゴム弾性体となる。性能はアクリルシーリング材よりも柔らかく，ゴム弾性があり，油性コーキング材と弾性シーリング材の中間に位置づけられる。

ブチルゴム系シーリング材

ブチルゴムシーリング材はゴムの一種であるブチルゴムを主成分とした１成分形シーリング材であり，施工後，配合されている溶剤が蒸発することによって硬化し，その性能を発揮する。

一般的に建築物の外壁目地に使われることは少なく，盲目地や二次防水的個所，ブチルゴム系ルーフィング材の継目，船舶，コンテナー関係の需要が多い。

会　社　名	商　品　名	色	容量・荷姿	備　考
カネボウ・エヌエスシー(株)	カネボウ　Ｐ―3000	グレー	18ℓ 320mℓカートリッジ	
関西パテ化工(株)	セルシールＢ	グレー 新茶(カートリッジ)	18ℓ 333mℓカートリッジ	
コ　ニ　シ(株)	ボンドシールパテ	グレー	18ℓ	
	ボンドブチルコーク	グレー，新茶，赤茶，青	330mℓカートリッジ×30本	
サンスター技研(株)	ペンギンシール 850	グレー	18ℓ 333mℓカートリッジ	
三　洋　工　業(株)	ブチラー	グレー，新茶， ブラウン，ブルー	18ℓ 333mℓカートリッジ	
サンライズメイセイ(株)	ＳＲコーキング　Ｒ―40	グレー	18ℓ 320mℓカートリッジ	
シャープ化学工業(株)	シャーピーシールＢ	グレー，ホワイト，ブラック，ブラウン	18ℓ 330mℓカートリッジ×10本 (段ボール箱入)	
住友スリーエム(株)	リボンシール	グレー	300mℓカートリッジ×12本 (段ボール箱入)	
世　界　長(株)	セカイチョー シーラーＲＢ	グレー，アルミグレー，ホワイト	320mℓカートリッジ 18ℓ	
セメダイン(株)	ブチルシール　Ｓ―620	グレー	18ℓ 333mℓカートリッジ	

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
大日化成(株)	サンシーラーB	グレー	17ℓ	
	サンシーラーBK	グレー，ブラウン，黒	1/3ℓカートリッジ×20本 (段ボール箱入)	
テイパ化工(株)	ブチルコーク B—100	グレー	330mℓカートリッジ 18ℓ	
日興化学工業(株)	ブレンシール	グレー，アルミ，黒	1/3ℓカートリッジ×20本 (段ボール箱入) 17ℓ×1 (段ボール箱入)	
日東ポリマー工業(株)	ニューゴムコーキング	グレー，シルバー，青，深茶，れんが	330mℓカートリッジ×30本 200mℓチューブ×50本	
日本タイルメント(株)	タイルメントブチルシーラント	白，グレー，アルミ，レンガ，シンチャ	333mℓカートリッジ×30本	
日本添加剤工業(株)	ファインシーラーNo.150	グレー	18ℓ缶 330mℓカートリッジ×30本	
(株)ノーベル樹脂化学	ニューコーク #201	グレー，各色	18ℓ 330mℓカートリッジ	土木用，防水用
(株)ハイケミカル	ハイケミコークNo.1020	グレー	330mℓカートリッジ×25本 (段ボール箱入)	
(株)服部商店	サンシール #601	グレー，新茶，レンガ，青	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	
早川ゴム(株)	ミケロンコーク	黒，グレー	330mℓカートリッジ 16ℓ 330mℓチューブ	
日立化成ポリマー(株)	ハイボン 310	グレー	18ℓ 330mℓカートリッジ	
三星産業(株)	三星シールブチル	灰，新茶，赤，青	17ℓ(灰) 333mℓカートリッジ×30本	
山内ゴム工業(株)	トップシーラー #30	グレー，黒，茶ほか	18ℓ 330mℓカートリッジほか	用途別多品種取揃

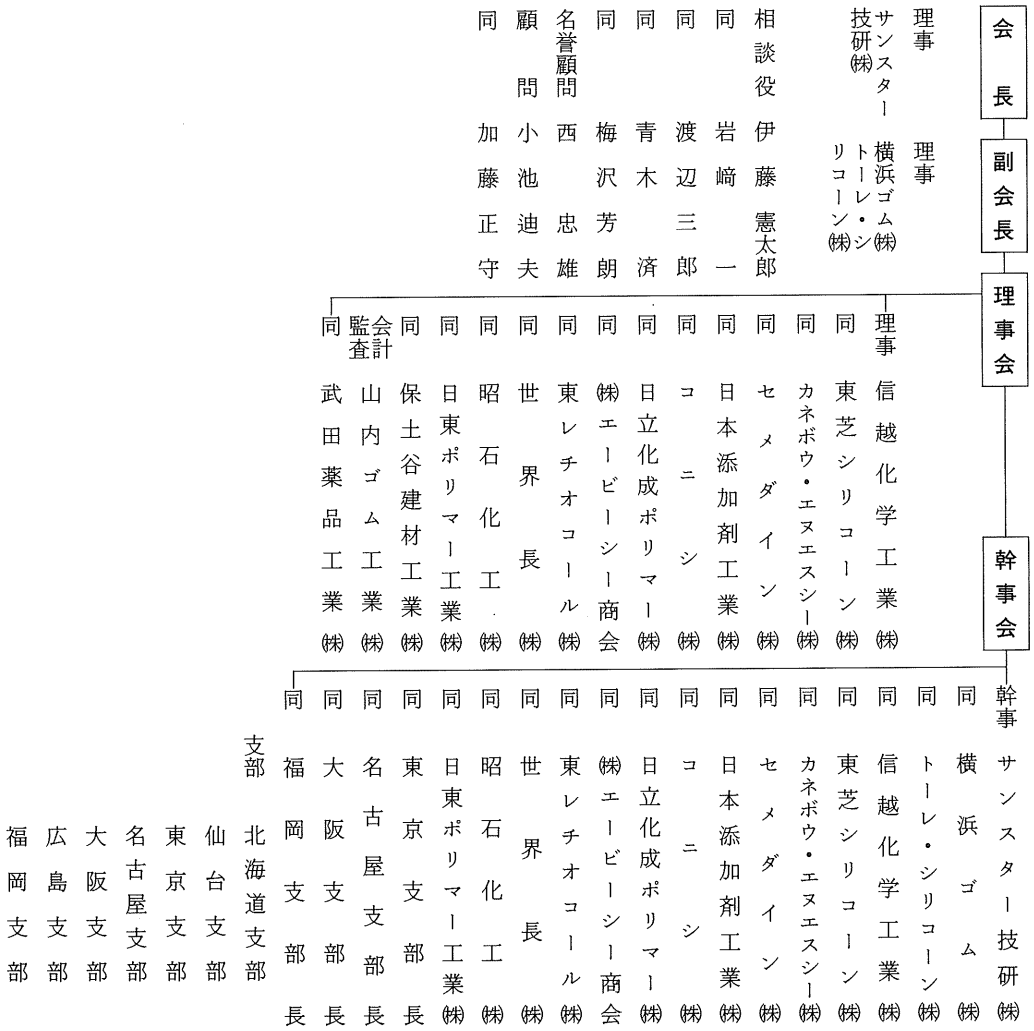
油性コーキング材

油性コーキング材とは，ビヒクル（天然および合成の油脂または樹脂など）ならびに鉱物質充てん剤（炭酸カルシウム，タルク，石綿など）を主成分とするペースト状のものをいう。雨水や湿気の浸入を防ぎ，また部屋の気密性を保持することをおもな目的として建築物の目地部分，サッシ回りへの充てんおよびき裂の補修などに使用される。

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
(株)エービーシー商会	ABCコーキング	グレー	18ℓ 400mℓカートリッジ	
関西パテ化工(株)	Kコーク	グレー	18ℓ 333mℓカートリッジ 720mℓチューブ 280mℓチューブ	㊐
コニシ(株)	ボンド油性コーク	グレー	18ℓ 330mℓカートリッジ(30本)	
	ボンドコーキング	グレー，白	310mℓチューブ(30本)グレー	
サンスター技研(株)	ペンギンシール 750	グレー	333mℓカートリッジ 18ℓ	㊐
三洋工業(株)	スリーコーキング	グレー	18ℓ 330mℓカートリッジ 800mℓチューブ	㊐

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
サンライズメイセイ(株)	SRシールB20G	グレー	17ℓ 670mℓチューブ 333mℓチューブ 320mℓカートリッジ	
シャーブ化学工業(株)	シャービーシール P	グレー，ホワイト，ブラウン	18ℓ 330mℓカートリッジ×10本 (段ボール箱入) 350mℓチューブ×20本 (段ボール箱入) 700mℓチューブ×20本 (段ボール箱入)	㊗
昭石化工(株)	エバーシール	グレー	18ℓ 600mℓチューブ	㊗
世界長(株)	ケミコーク	グレー	320mℓカートリッジ 18ℓ	㊗
セメダイン(株)	ポリコーク	グレー	18ℓ 333mℓカートリッジ	㊗
大日化成(株)	サンコーク	グレー	17ℓ	
	サンコークK	グレー，ブラウン	1/3ℓカートリッジ×20本 (段ボール箱入)	
テイパ化工(株)	グレインコート	グレー	330mℓカートリッジ 18ℓ	㊗
(株)東亜応用化工	ポリシール #100	グレー，ブロンズ，白	18ℓ入(段ボール箱入) 330mℓカートリッジ(グレー)×20本 (段ボール箱入)	㊗
日東ポリマー工業(株)	ニットーコーク#100G	グレー，ホワイト	17ℓ 330mℓカートリッジ×30本	
(株)日本化学研究所	ニッカシール	グレー	18ℓ	
	ニッカシール カートリッジ	グレー	400mℓカートリッジ	
日本タイルメント(株)	タイルメントコーキング	灰白	740mℓチューブ×20本 370mℓチューブ×30本 333mℓカートリッジ×40本	
日本添加剤工業(株)	ファインコーク	グレー	16.5ℓ缶 300mℓカートリッジ×25本	
(株)ノーベル樹脂化学	ニューコーク #101	グレー	18ℓ 330mℓカートリッジ	㊗
(株)ハイケミカル	ハイケミコーク	グレー	18ℓ 330mℓカートリッジ×25本 (段ボール箱入)	
(株)服部商店	サンシール #101	グレー，新茶，レンガ，青	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	㊗
三星産業(株)	三星コーキン	グレー	18ℓ 800mℓチューブ 500mℓチューブ 360mℓカートリッジ	

昭和60年度 日本シーリング工業会機構表



委員会構成表

委員会＼区分	委員長	副委員長
総務委員会		サンスター技研㈱
技術委員会	昭石化工㈱	横浜ゴム㈱, 信越化学工業㈱ サンスター技研㈱
広報委員会	カネボウ・エヌエスシー㈱	東レチオコール㈱
調査委員会	日本添加剤工業㈱	カネボウ・エヌエスシー㈱, コニシ㈱, 世界長㈱ 横浜ゴム㈱, 日立化成ポリマー㈱, 信越化学工業㈱
シーリング管理士検定委員会	トーレ・シリコーン㈱	セメダイン㈱

分科会構成表

委員会＼区分	リーダー	サブリーダー
シリコーン分科会	信越化学工業㈱	トーレ・シリコーン㈱
変成シリコーン分科会	横浜ゴム㈱	サンスター技研㈱
ポリサルファイド分科会	コニシ㈱	日本添加剤工業㈱
ポリウレタン分科会	保土谷建材工業㈱	サンスター技研㈱
アクリル・SBR分科会	日東ポリマー工業㈱	カネボウ・エヌエスシー㈱
ブチルゴム・油性分科会	セメダイン㈱	昭石化工㈱

日本シーリング工業会

会　員　名　簿

事務局所在地

〒 101　東京都千代田区外神田2—2—17　共同ビル　電話 03（255）2841

1. 正　会　員　44

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
アサヒボンド工業㈱	東京都板橋区大谷口北町3—7	173	(03) 972　4929
㈱エービーシー商会	〃　千代田区永田町2—12—14	100	(03) 507　7111
オート化学工業㈱	〃　港区西新橋2—23—1　第3東洋海事ビル	105	(03) 437　3482
カネボウ・エヌエスシー㈱	大阪府箕面市船場西1—6—5　カネボウ千里ビル	562	(0727)28　4701
関西パテ化工㈱	〃　東大阪市日下町3—7—36	579	(0729)82　2131
コニシ㈱	大阪市東区平野町2—10　沢の鶴ビル	541	(06) 228　2970
サンスター技研㈱	東京都港区三田1—3—35	108	(03) 453　9301
三洋工業㈱	〃　江東区亀戸6—20—7	136	(03) 685　3452
サンライズメイセイ㈱	大阪府堺市浜寺石津町中1—4—7	590	(0722)44　7500
シャープ化学工業㈱	〃　堺市築港浜寺西町13—12	591	(0722)68　0321
昭石化工㈱	東京都品川区南大井1—7—4	140	(03) 761　4291
信越化学工業㈱	〃　千代田区大手町2—6—1　朝日東海ビル	100	(03) 246　5091
住友スリーエム㈱	〃　世田谷区玉川台2—33—1	158	(03) 709　8111
㈱スリーボンド	〃　八王子市狭間町1456	193	(0426)61　1333
世界長㈱	兵庫県西宮市津門大箇町8—39	663	(0798)26　5724
セメダイン㈱	東京都品川区東五反田4—5—9	141	(03) 442　1341
大日化成㈱	大阪市鶴見区焼野3—1—13	538	(06) 911　0251
大和高分子工業㈱	東京都千代田区平河町2—4—16　平河中央ビル	102	(03) 230　4311
武田薬品工業㈱	大阪市東区道修町2—27	541	(06) 204　2480
テイパ化工㈱	〃　東淀川区下新庄3—11—28	533	(06) 328　1118
㈱東亜応用化工	香川県坂出市室町1—3—32	762	(0877)46　2185
東芝シリコーン㈱	東京都港区六本木6—2—31　東日ビル	106	(03) 479　3501
トーレ・シリコーン㈱	〃　中央区日本橋室町2—8　三井ビル6号館	103	(03) 246　1641
東レチオコール㈱	〃　中央区日本橋本石町3—6　日本橋室町ビル	103	(03) 241　1845
日興化学工業㈱	〃　江東区白河4—9—5	135	(03) 642　7155
日東電気工業㈱	〃　千代田区内神田1—1—7　東大手ビル	101	(03) 295　4441
日東ポリマー工業㈱	兵庫県尼崎市大浜町2—5—1	660	(06) 418　7421
㈱日本化学研究所	東京都中央区京橋1—6—13	104	(03) 564　5161
日本シーカ㈱	〃　港区新橋4—2—1　第29森ビル	105	(03) 436　6031
日本タイルメント㈱	名古屋市中村区宿跡町1—58	453	(052)412　5300
日本添加剤工業㈱	東京都板橋区前野町1—21—5	174	(03) 960　8621
日本フランシール㈱	〃　千代田区外神田2—16—2　第2ディックビル	101	(03) 258　3391
日本ポリウレタン工業㈱	〃　港区虎の門1—2—8　虎の門琴平会館	105	(03) 508　0621
㈱ノーベル樹脂化学	埼玉県川口市東領家4—19—4	332	(0482)23　4511
バイエル合成シリコーン㈱	東京都港区芝公園2—4—1　秀和芝パークビルA6	105	(03) 434　4141
㈱ハイケミカル	〃　品川区小山6—7—6　タク・シティハイツ西小山	142	(03) 781　9984
㈱服部商店（淀支店）	京都市伏見区淀美豆町705	612	(075)631　3128

早川ゴム㈱	東京都江東区佐賀1—16—10	135	(03) 642 9434
日立化成ポリマー㈱	〃 千代田区内神田1—13—7 四国ビル	101	(03) 294 4501
保土谷建材工業㈱	〃 港区浜松町1—18—14 スバックスビル	105	(03) 437 9471
三井東圧化学㈱	〃 千代田区霞が関3—2—5 霞が関ビル	100	(03) 593 7905
三星産業㈱	〃 千代田区神田小川町3—28 三東ビル	101	(03) 292 1961
山内ゴム工業㈱	〃 枚方市招提田近2—7	573	(0720)56 1131
横浜ゴム㈱	神奈川県平塚市中原上宿900	254	(0463)31 3002

(1) 北海道支部 13

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱エービーシー商会	札幌市中央区南三条西13丁目 柴田ビル	060	(011)231 7904
カネボウ・エヌエスシー㈱	〃 中央区北一条東9丁目 潮物産㈱内	060	(011)261 8271
コニシ㈱	〃 西区琴似一条5丁目 札幌松井ビル	063	(011)612 0211
サンスター技研㈱	〃 中央区北一条西4丁目 札幌東邦生命ビル	060	(011)271 0392
三洋工業㈱	〃 白石区南郷通21丁目南5—31	003	(011)864 5155
信越化学工業㈱	〃 中央区北一条西5丁目 北一条ビル	060	(011)221 6471
セメダイン㈱	〃 中央区北一条東9丁目	060	(011)261 1471
東芝シリコーン㈱	〃 中央区北三条西1丁目 東芝札幌ビル	060	(011)214 2586
トーレ・シリコーン㈱	〃 中央区北三条西3丁目 北三条三井ビル	060	(011)231 5281
日本シーカ㈱	〃 中央区北二条西2丁目 加森ビル	060	(011)221 6331
日本添加剤工業㈱	〃 中央区北一条東9丁目 潮物産㈱内	060	(011)261 8271
三星産業㈱	〃 中央区南五条西24丁目	061	(011)551 3781
ヨコハマゴム工業品北海道販売㈱	〃 中央区大通東7丁目	060	(011)241 5111

(2) 仙台支部 14

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱エービーシー商会	仙台市小田原1—4—10	983	(0222)97 1811
コニシ㈱	〃 卸町1—6—15 卸町セントラルビル	983	(0222)35 3178
サンスター技研㈱	〃 本町1—9—6 利根川ビル	980	(0222)61 3391
三洋工業㈱	〃 扇町5—9—1	983	(0222)32 5311
信越化学工業㈱	〃 本町2—10—33 第2オフィスビル	980	(0222)64 2777
昭石化工㈱	〃 一番町4—1—1 仙台セントラルビル 昭和シェル石油㈱内	980	(0222)67 5319
㈱スリーボンド	〃 6丁の目西町8—8	983	(0222)87 2905
世界長㈱	〃 小田原弓ノ町31 青葉商工第一ビル	983	(0222)95 7051
セメダイン㈱	〃 卸町2—12—14	983	(0222)84 6167
東芝シリコーン㈱	〃 国分町2—2—2 東芝仙台ビル	980	(0222)64 7496
トーレ・シリコーン㈱	〃 一番町2—3—20 第3日本オフィスビル	980	(0222)27 9528
日立化成ポリマー㈱	〃 一番町1—5—5 日立仙台別館	980	(0222)27 8665
三星産業㈱	〃 本町1—3—20	980	(0222)62 5201
ヨコハマゴム工業品東北販売㈱	〃 萩野町3—1—8	983	(0222)84 0437

(3) 東京支部 34

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱エービーシー商会	東京都千代田区永田町2—12—14	100	(03) 507 7240
オート化学工業㈱	〃 港区西新橋2—23—1 第3東洋海事ビル	105	(03) 437 3482
カネボウ・エヌエスシー㈱	〃 千代田区平河町2—8—2 エターナル・モーヴビル	102	(03) 263 4701
コニシ㈱	〃 中央区日本橋室町4—5 近三ビル	103	(03) 245 6941
サンスター技研㈱	〃 港区三田1—3—36	108	(03) 453 9301
三洋工業㈱	〃 江東区亀戸6—20—7	136	(03) 685 2101

サンライズメイセイ㈱	横浜市神奈川区三枚町299—5	221	(045)383 4651
シャープ化学工業㈱	東京都江東区東陽5—26—1 小川ビル	135	(03) 649 8103
昭石化工㈱	〃 品川区南大井1—7—4	140	(03) 761 4171
信越化学工業㈱	〃 千代田区大手町2—6—1 朝日東海ビル	100	(03) 246 5091
㈱スリーボンド	〃 八王子市狭間町1456	193	(0426)61 1333
世界長㈱	〃 渋谷区道玄坂2—10—7 新大宗ビル	150	(03) 462 5161
セメダイン㈱	〃 品川区東五反田4—5—9	141	(03) 442 1311
大和高分子工業㈱	〃 千代田区平河町2—4—16 平河中央ビル	102	(03) 230 4311
テイパ化工㈱	〃 港区新橋6—10—3 遠江ビル	105	(03) 431 9357
東芝シリコーン㈱	〃 港区六本木6—2—31 東日ビル	106	(03) 479 3501
トーレ・シリコーン㈱	〃 中央区日本橋室町2—8 三井ビル6号館	103	(03) 246 1641
東レチオコール㈱	〃 中央区日本橋本石町3—6 日本橋室町ビル	103	(03) 241 1845
日興化学工業㈱	〃 江東区白河4—9—5	135	(03) 642 7155
日東電気工業㈱	〃 千代田区内神田1—1—7 東大手ビル	101	(03) 295 4441
日東ポリマー工業㈱	〃 千代田区外神田2—2—17 共同ビル	101	(03) 255 6338
㈱日本化学研究所	〃 中央区京橋1—6—13	104	(03) 564 5161
日本シーカ㈱	〃 港区新橋4—2—1 第29森ビル	105	(03) 436 6031
日本添加剤工業㈱	〃 板橋区前野町1—21—5	174	(03) 965 5731
日本ポリウレタン工業㈱	〃 港区虎の門1—2—8 虎の門琴平会館	105	(03) 508 0621
㈱ノーベル樹脂化学	埼玉県川口市東領家4—19—4	332	(0482)23 4511
バイエル合成シリコーン㈱	東京都港区芝公園2—4—1 秀和芝パークビルA6	105	(03) 434 4141
㈱ハイケミカル	〃 品川区小山6—7—6 タク・シティハイツ西小山	142	(03) 781 9984
早川ゴム㈱	〃 江東区佐賀1—16—10	135	(03) 642 9434
日立化成ポリマー㈱	〃 千代田区内神田1—13—7 四国ビル	101	(03) 294 4501
保土谷建材工業㈱	〃 港区浜松町1—18—14 スバックスビル	105	(03) 437 9471
三井東圧化学㈱	〃 千代田区霞が関3—2—5 霞が関ビル	100	(03) 593 7905
三星産業㈱	〃 千代田区神田小川町3—28 三東ビル	101	(03) 292 1961
横浜ゴム㈱	〃 港区新橋5—36—11	105	(03) 432 7111

(4) 名古屋支部

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱エービーシー商会	名古屋市中区栄4—3—26 昭和ビル	460	(052)251 4411
カネボウ・エヌエスシー㈱	〃 中村区名駅4—17—19 鐘紡ビル	450	(052)583 8606
コニシ㈱	〃 西区菊井2—6—5	451	(052)563 6551
サンスター技研㈱	〃 千種区萱場町2—4—7 サンスタービル	464	(052)722 6815
三洋工業㈱	〃 緑区鳴海字母呂後26	458	(052)623 0061
サンライズメイセイ㈱	〃 名東区一社3—90 チサンビル	465	(052)703 2061
昭石化工㈱	〃 中区丸の内1—17—19 長銀ビル	460	(052)231 6568
信越化学工業㈱	〃 中村区名駅4—27—23 名古屋三井ビル東館	450	(052)581 6511
世界長㈱	〃 東区矢田町8—20	461	(052)722 3301
セメダイン㈱	〃 千種区井上町34	464	(052)781 3166
テイパ化工㈱	大阪市東淀川区下新庄3—11—28	533	(06) 328 1118
東芝シリコーン㈱	名古屋市中区栄2—6—12 白川第1ビル	460	(052)201 8541
トーレ・シリコーン㈱	〃 中村区名駅3—25—9 堀内ビル8F	450	(052)563 3951
日本シーカ㈱	〃 千種区内山3—10—17 今池セントラルビル	464	(052)733 7353
日本タイルメント㈱	〃 中村区宿跡町1—58	453	(052)412 5300
日本添加剤工業㈱	〃 中村区太閤通り4—1—18 フタバビル	453	(052)451 8632
㈱服部商店	〃 中区丸の内2—18—1	460	(052)221 9461
日立化成ポリマー㈱	〃 中村区名駅南1—24—21 名古屋三井ビル別館	450	(052)581 2967
保土谷建材工業㈱	〃 中区錦1—17—13 名興ビル	460	(052)231 7225
三星産業㈱	〃 東区泉2—29—19 第2大野ビル	461	(052)931 3390
山内ゴム工業㈱	〃 中村区名駅4—2—28 名古屋第2埼玉ビル	450	(052)561 5401
横浜ゴム㈱	〃 中区錦1—17—13 名興ビル	460	(052)231 4321

(5) 大 阪 支 部

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
㈱エービーシー商会	大阪市淀川区西中島4—2—9	532	(06) 305 1181
カネボウ・エヌエスシー㈱	大阪府箕面市船場西1—6—5 カネボウ千里ビル	562	(0727)28 4701
コ ニ シ ㈱	大阪市東区道修町2—6	541	(06) 228 2961
サンスター技研㈱	大阪府高槻市川西町1—35—8	569	(0726)84 0600
三 洋 工 業 ㈱	〃 吹田市広芝町15—22	564	(06) 385 5241
サンライズメイセイ㈱	〃 堺市浜寺石津町中1—4—7	590	(0722)44 7500
シャープ化学工業㈱	〃 堺市築港浜寺西町13—12	591	(0722)68 0321
昭 石 化 工 ㈱	大阪市北区梅田2—4—9 サンケイビル	530	(06) 341 6395
信越化学工業㈱	〃 北区小松原町27 富国生命ビル	530	(06) 313 4821
世 界 長 ㈱	兵庫県西宮市津門大箇町8—39	663	(0798)26 5724
セメダイン ㈱	大阪市南区島之内1—15—14	543	(06) 251 3555
武田薬品工業㈱	〃 東区道修町2—27	541	(06) 204 2481
テイパ化工 ㈱	〃 東淀川区下新庄3—11—28	533	(06) 328 1118
㈱東亜応用化工	香川県坂出市室町1—3—32	762	(0877)46 2185
東芝シリコーン㈱	大阪市東区本町3—27—1 センバセントラルビル	541	(06) 251 6272
トーレ・シリコーン㈱	〃 北区芝田1—1—4 阪急ターミナルビル9F	530	(06) 376 1251
日東ポリマー工業㈱	兵庫県尼崎市大浜町2—5—1	660	(06) 418 7421
日 本 シ ー カ ㈱	大阪市北区野崎町7—8 梅田パークビル	530	(06) 315 7851
日本添加剤工業㈱	〃 西区江戸堀1—5—13 大阪新日本会館ビル	550	(06) 443 6231
バイエル合成シリコーン㈱	〃 吹田市豊津町1—46	564	(06) 330 7751
㈱ 服 部 商 店	京都市伏見区淀美豆町705	613	(075)631 3128
日立化成ポリマー㈱	大阪市東区北浜4—6 日生日立ビル	541	(06) 202 6341
保土谷建材工業㈱	〃 東区高麗橋5—45	541	(06) 203 4651
三 星 産 業 ㈱	〃 西区京町堀1—10—17 大栄ビル	550	(06) 443 9721
山内ゴム工業㈱	大阪府枚方市招提田近2—7	573	(0720)56 1131
横 浜 ゴ ム ㈱	大阪市北区堂島1—5—17 堂島グランドビル	530	(06) 345 1425

(6) 広 島 支 部

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
㈱エービーシー商会	広島市中区鉄砲町1—20 ウエノヤビル3号館	730	(082)221 3096
カネボウ・エヌエスシー㈱	〃 中区大手町3—5—11	730	(082)249 6615
コ ニ シ ㈱	〃 西区上天満町3—14 渋谷ビル	733	(082)294 8811
サンスター技研㈱	〃 西区商工センター5—15—25	733	(082)277 8444
三 洋 工 業 ㈱	〃 東区曙町4—50	730	(082)261 9321
サンライズメイセイ㈱	〃 南区比治山町5—12	732	(082)263 4461
信越化学工業㈱	〃 中区中町7—32 日本生命広島ビル	730	(082)248 3931
世 界 長 ㈱	〃 中区江波二本松1—14—1	733	(082)295 0371
セメダイン ㈱	〃 中区鶴見町12—13 昇和ビル	730	(082)249 0941
東芝シリコーン㈱	〃 中区大手町2—7—7 小松ビル	730	(082)247 0951
トーレ・シリコーン㈱	〃 中区大手町2—7—10 広島三井ビル	730	(082)249 7811
日 本 シ ー カ ㈱	大阪市北区野崎町7—8 梅田パークビル	530	(06) 315 7851
日本添加剤工業㈱	〃 西区江戸堀1—5—13 大阪新日本会館ビル	550	(06) 443 6231
㈱ 服 部 商 店	京都市伏見区淀美豆町705	613	(075)631 3128
横 浜 ゴ ム ㈱	広島市中区鉄砲町5—16 広島サンケイビル	730	(082)227 8105

(7) 福岡支部

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱エービーシー商会	福岡市博多区博多駅前3—10—24　藤井ビル	812	(092)451　5541
カネボウ・エヌエスシー㈱	〃　中央区大手門3—7—9	810	(092)752　0024
コニシ㈱	〃　南区清水3—24—19	815	(092)551　1761
サンスター技研㈱	〃　博多区店屋町8—24　九勧日産ビル	812	(092)281　3581
三洋工業㈱	〃　博多区大字板付866	816	(092)581　3438
サンライズメイセイ㈱	〃　博多区博多駅前4—26—11　鐘芳ビル	812	(092)472　2143
昭石化工㈱	〃　博多区綱場町2—2　福岡第1ビル	812	(092)291　0008
信越化学工業㈱	〃　博多区綱場町2—2　福岡第1ビル	812	(092)291　8442
世界長㈱	〃　博多区博多駅東3—13—28　世界長ビル	812	(092)474　5582
セメダイン㈱	〃　中央区大手門1—9—22　大手門ビル	810	(092)741　7188
テイパ化工㈱	大阪市東淀川区下新庄3—11—28	533	(06) 328　1118
東芝シリコーン㈱	福岡市中央区長浜2—4—1　東芝福岡ビル	810	(092)713　3691
トーレ・シリコーン㈱	〃　中央区天神2—13—7　福岡長銀ビル	810	(092)712　6158
日東ポリマー工業㈱	兵庫県尼崎市大浜町2—51	660	(06) 418　7421
日本シーカ㈱	福岡市博多区博多駅前3—19—14　ビーエスビル博多	812	(092)472　1684
日本添加剤工業㈱	大阪市西区江戸堀1—5—13　大阪新日本会館ビル	550	(06) 443　6231
日立化成ポリマー㈱	福岡市中央区天神1—14—16　三栄ビル	810	(092)712　4243
保土谷建材工業㈱	〃　中央区大名2—9—25　わこうビル	810	(092)751　3506
ヨコハマゴム工業品九州販売㈱	〃　中央区薬院1—7—4	810	(092)711　8541

2. 賛助会員

(1) 日本シーリング工業会賛助会員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
旭化成工業㈱	東京都千代田区有楽町1—1—2　日比谷三井ビル	100	(03) 507　2957
㈱井上製作所大阪支店	大阪市淀川区三津屋南3—6—20	532	(06) 301　2637
小野田建材㈱	東京都港区芝5—26—20　建築会館	108	(03) 453　4491
化研マテリアル㈱	〃　港区西新橋3—8—1　第2鈴丸ビル	105	(03) 436　3011
鐘淵化学工業㈱	〃　港区元赤坂1—3—12	107	(03) 405　1015
㈱菅野製作所	〃　北区志茂3—3—26	115	(03) 903　3140
光栄商事㈱	〃　練馬区上石神井1—432	177	(03) 928　5811
㈱芝浦製作所機工事業部	〃　港区赤坂1—1—12　溜池明産ビル	107	(03) 589　3505
白石工業㈱	〃　中央区日本橋茅場町1—11—3　岡本ビル	103	(03) 639　5066
㈱新和商会	〃　荒川区西日暮里2—24—14	116	(03) 803　1411
大進商工㈱	〃　北区東十条3—13—9	114	(03) 912　8447
タカビシ化学㈱	大阪市東区平野町1—29	541	(06) 231　8751
㈳日本カーテンウォール工業会	東京都港区南青山5—11—2　共同ビル（南青山）	107	(03) 409　6981
日本バックアップ工業㈱	〃　中野区中央1—12—9	164	(03) 369　0215
日本触媒化学工業㈱	〃　千代田区内幸町1—2—2　日比谷大阪ビル	100	(03) 502　1651
野口興産㈱	〃　練馬区豊玉北2—10	176	(03) 994　5601
㈱野村事務所	〃　港区西新橋1—1—15　物産ビル別館	105	(03) 502　1466
フヨー㈱	〃　墨田区業平5—5—6	130	(03) 626　3371
ミキスタ工業㈱	〃　中央区日本橋蛎殻町1—33—7	103	(03) 669　9471

(2) 日本シーリング工業会大阪支部賛助会員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
大阪御国商事㈱	大阪市天王寺区小橋町2—20	543	(06) 768 1993
鐘淵化学工業㈱	〃 北区中の島3—2—4 朝日新聞ビル	530	(06) 208 6219
鐘工業㈱	〃 都島区高倉町1—11—12	534	(06) 921 4231
岸田資材工業㈱	神戸市兵庫区中道通り5—10—13	652	(078)575 2953
㈱旭栄	大阪市北区天神橋筋1—1—1 中塚ビル354号	530	(06) 354 0356
三省物産㈱	〃 南区順慶町通り4—25	542	(06) 252 5541
白石工業㈱	兵庫県尼崎市元浜町4—78	660	(06) 417 3131
㈱ジャビコ	大阪市北区梅田2—4—9 サンケイビル本館	530	(06) 345 6871
竹原化学工業㈱	〃 北区梅田1—12—17 梅田ビル	530	(06) 343 0591
㈱野村事務所	〃 南区南船場4—12—8 関西心斎橋ビル	542	(06) 243 0341
フヨー㈱	〃 淀川区宮原5—6—10	532	(06) 395 0201
㈱前田精市商店	〃 東区道修町1—17	541	(06) 203 4641
三国金属工業㈱	大阪府豊中市豊南町西4—7—20	561	(06) 332 0251
㈱宮崎商店	大阪市東区平野3—18	541	(06) 231 5891
モリシタ化学産業㈱	〃 天王寺区勝山通り1—121	543	(06) 771 3929
㈱山本製作所	〃 阿倍野区松崎町2—7—10	545	(06) 623 6155
ヨコハマゴム工業品関西販売㈱	〃 此花区西九条3—12—17 みづほビル	554	(06) 468 3521

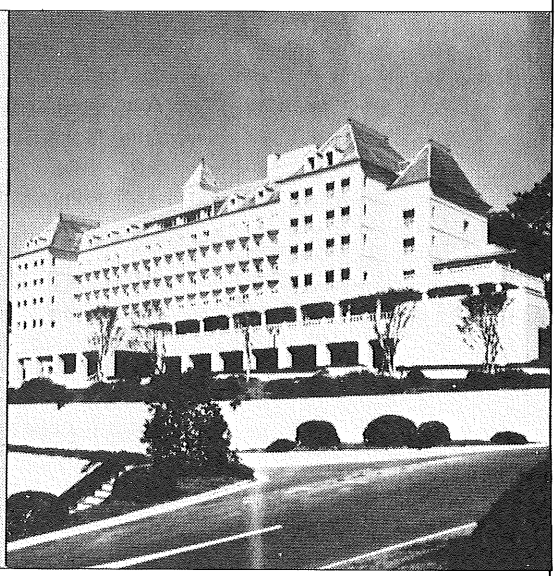
実績と信頼のシーリング材

ポリサルファイド系シーリング材
㊐JIS-A-5758 9030認定品
ボニーシーラー PS 2000

ポリウレタン系シーリング材
㊐JIS-A-5758 8020認定品
ボニーシーラー U 3000

変成シリコーン系シーリング材
㊐JIS-A-5758 9030認定品
ボニーシーラー MS 3000

エポキシ系注入剤
JIS-A-6024規格合格品
エポセット RH 200D



テイパ化工株式会社
本社 〒533 大阪市東淀川区下新庄3—11—28
TEL 大阪(06)328—1118(代表)
東京営業所 〒105 東京都港区新橋6—10—3(遠江ビル)
TEL 東京(03)431—9357(代表)

日本シーリング工事業団体連合会の歩み

山本　勇

私たちの団体略称は，日シ工連と呼称いたします。組織形態は全国を七地区にわけ，各地区に地区団体を置き，東京本部において総括運営いたしております。目的は全国会員会社の技術，技能のレベルアップを目指す教育事業の推進と，企業力安定のための団結力の醸成にあります。昭和44年４月に，メーカー団体である日本シーリング工業会（略称日シ工）の施工部会より材工体制の確立を目指し，同工業会の協力のもとに施工業者のみの独立団体を結成誕生させたのが始まりであります。爾来，現今に至るまで，各地区団体を指導し，昭和53年12月，東北地区を包括することで全国組織の体制作りを完了したわけであります。現在は，事業目的達成の目標に邁進中で，材工一体の協調精神をもって，日シ工の援助を得て活動しております。シーリング管理士と防水技能士の確保は，業界発展の基となるべきものと信じておりますので，関連業界皆様の理解とご支援を切にお願い申し上げ，ご挨拶といたします。

（日本シーリング工事業団体連合会会長）

日本シーリング工事業団体連合会

（旧 日本シーリング工事業協会）

“責任施工と保証の確立„

シーリング防水施工の発注は優秀な技術管理(シーリング管理士)と国家認定技能(防水技能士)を持つ、下記所属団体会員へ。

本　部	日本シーリング工事業団体連合会	中部地区	中部シーリング工事業連合会 愛知県シーリング工事業協同組合
住　所	〒105 東京都港区浜松町１－11－11　アルファ産業㈱内	住　所	〒451 名古屋市西区琵琶里町１－22　㈱ビルメン内
電　話	03（432）５７３５(代)	電　話	052（524）５６３５(代)
北海道地区	北海道シーリング工事業協会	大阪地区	関西シーリング工事業協同組合
住　所	〒060 札幌市中央区北３条東５－５	住　所	〒550 大阪市西区新町１－８－１　諏訪ビル
電　話	011（251）　３３６４	電　話	06（531）８１０７
東北地区	東北シーリング工事業協会	広島地区	中国シーリング工事業協会
住　所	〒980 仙台市名掛町８　大島金属商事㈱内	住　所	〒733 広島市西区中広町３－17－16　㈱サンゼオン防水工業所内
電　話	0222（91）２２８８	電　話	082（291）１６３１
東京地区	東日本シーリング工事業協同組合	九州地区	九州シーリング工事業協会
住　所	〒135 東京都江東区深川２－15－23　小泉ビル 204号	住　所	〒812 福岡市博多区店屋町8-28　フコク生命ビル3F
電　話	03（641）９５６１・９５６２	電　話	092（271）２９９１(代)

日本シーリング工事業団体連合会

会　員　名　簿

本部・支部所在地

区　分	所　在　地	郵便番号	電話番号
本　部	東京都港区浜松町1—11—11　アルファ産業㈱内	105	(03) 432　5735
北海道シーリング工事業協会	札幌市中央区北３条東５－５	060	(011)251　3364
東北シーリング工事業協会	仙台市名掛町８　大島金属商事㈱内	980	(0222)91　2288
東日本シーリング工事業協同組合	東京都江東区深川2—15—23　小泉ビル	135	(03) 641　9561
中部シーリング工事業連合会	名古屋市西区琵琶里町1—22　㈱ビルメン内	451	(052)524　5635
関西シーリング工事業協同組合	大阪市西区新町1—8—1　諏訪ビル	550	(06) 531　8107
中国シーリング工事業協会	広島市西区中広町3—17—16　㈱サンゼオン防水工業所内	733	(082)291　1631
九州シーリング工事業協同組合	福岡市博多区店屋町8—28　フコク生命ビル	812	(092)271　2991

1．北海道シーリング工事業協会々員　41

会　社　名	所　在　地	郵便番号	電話番号
㈲遠藤工務店	北海道静内郡静内末広町2—42	056	(01464)2　1651
柏工建㈱	旭川市神楽岡６条３丁目	078-11	(0166)65　0121
㈱片岡コーキング	札幌市西区西野９条５—863—11	063	(011)664　1488
㈱カトウシーリング工業	〃　北区屯田４条８—1—5	001	(011)772　3377
協栄シール㈱	苫小牧市緑町1—24—8	053	(0144)33　6256
㈱北日本コーキング	〃　しらかば町２—4—5	053	(0144)73　4697
熊谷興業㈱	札幌市北区篠路９条３—5—6	002	(011)764　7508
㈱光建シール	〃　東区川沿１条2—4—7	005	(011)572　0820
㈱互建防水工業	帯広市西10条南11丁目２	030	(0155)25　5776
㈲札幌コーキング	札幌市豊平区月寒東２条20丁目	061-01	(011)851　3782
サッポロ防水工業㈱	〃　北区北14条西１丁目　磯田ビル	001	(011)731　7486
佐藤研究所	函館市時任町22—13	040	(0138)51　3586
サン美工㈲	旭川市北門町20丁目	070	(0166)52　3309
㈱スズケン興業	〃　東光５条6—188	078-11	(0166)31　8902
㈲セントラル・ビル・サービス	釧路市材木町14—28	085	(0154)41　1010
㈱日研	札幌市豊平区平岸１条２丁目	062	(011)841　6101
㈲タケイチ工業	〃　北区新川593—63	001	(011)764　2884
㈲第一コーキング工業	〃　白石区菊水１条２丁目	003	(011)812　9121
第一ブロック建設㈱	北見市南町1—8—33	090	(0157)23　4155
道北シール工業㈱	旭川市豊岡８条2—11	078-11	(0166)34　2845
㈱中央コーキング	札幌市豊平区西岡１条10—334	062	(011)854　0222
東邦興業㈱	〃　北区篠路７条6—5—27	002	(011)772　3272
㈲東洋ビル管理技研	砂川市宮川町1—6	073-01	(01255)4　2843
中林防水工業㈱	帯広市西17条北１—14	080	(0155)35　5511
中田工業㈱	室蘭市東町2—1—16	050	(0143)43　2220
函館イーシー工業㈱	函館市花園町41—17	041	(0138)54　0421
㈱浜建	札幌市中央区北３条東5—5	060	(011)261　5676
フタバ工業㈱	〃　中央区北２条東10—15　すずかけビル	060	(011)231　0046
藤シーリング工業㈱	函館市美原３—40—16	041	(0138)46　2223
北星シール工業㈱	札幌市白石区本通り６丁目北28	003	(011)863　5226

㈲北斗美装工業	砂川市西3条北2丁目	073—01	(01255)2 2918
北洋コーキング㈱	札幌市白石区中央2条4丁目 勝見コーポ112	003	(011)821 7947
北海コーキング㈱	〃 中央区北1条東9丁目	060	(011)281 2885
北海シール工業㈱	〃 東区北7条東3丁目	065	(011)742 1248
北海防水㈱	旭川市末広町3条7丁目	071-13	(0166)57 2163
北海道コーキング㈲	札幌市北区太平9条2—53—89	002	(011)764 7508
北海道サン工業㈱	〃 中央区北2条東9丁目	060	(011)251 3648
北海道タイホー㈱	〃 東区北20条東2—15—41	065	(011)731 6351
北晄防水工業㈱	〃 豊平区北野7条4—1—13	061-01	(011)882 5987
山川工業㈲	函館市榎本町14—1	042	(0138)57 1870
㈱ヤマト工業	札幌市豊平区美園1条6丁目	062	(011)812 6347

2. 東北シーリング工事業協会々員 53

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱旭シーリング	宮城県志田郡鹿島台広長字内の浦21—12	989-41	(022956) 4305
㈲旭日産業	〃 宮城郡宮城町下愛子字原4—1	989	(02239)2 6122
青葉エービーシー建販㈱	仙台市大町2—15—24	980	(0222)65 3051
大島金属商事㈱	〃 名掛丁8番地	980	(0222)91 2288
㈱河北工業所	〃 宮城野1—8—15	983	(0222)91 9182
㈲進建シーリング工業	〃 若林1—10—23	982	(0222)86 1423
仙台高分子工業㈱	〃 青山2—27—9	982	(0222)29 5102
中外商工㈱東北支店	〃 台原4—7—20	980	(0222)71 2171
㈱久光商会	〃 八木山本町2—32—18	982	(0222)29 6560
㈲丸伊工業所	泉市南光台南2—11—10	983	(0222)52 1971
㈱丸本工業所	仙台市扇町1—3—6	983	(0222)84 6662
我妻工業所	〃 鈎取3—4—13	982	(0222)44 5544
㈲旭防水工業	名取市増田3—2—20	981-13	(02238)2 2814
東北化研工業㈱	仙台市中倉3—18—16	982	(0222)96 1802
イトウ防水工業所	米沢市塩井町塩野3154	992	(0238)23 8321
奥羽シーリング工業	山形市大字沼木121—64	990	(0236)44 0632
秋田コーキングセンター	秋田市牛島西1—3—20 FTビル	010	(0188)32 7510
環清工業	秋田県湯沢市字砂田95—1	012	(01837)2 0038
東北化工㈱	〃 鹿角郡小坂町上谷地47—18	017	(018629) 2349
㈲三国工業	秋田市上崎港相染町中谷地36—6	011	(0188)45 7576
㈱井村工業	青森市大矢沢字里見502	030	(0177)38 5042
㈲池田防水工業	八戸市新湊1—15—4	031	(0178)31 3246
興伸総業	青森市三内字里見86—13	030	(0177)82 5800
㈲泉クリーナー	盛岡市神子田町9—26号	020	(0196)51 4726
小山商店	〃 上堂1—19—9	020-01	(0196)46 9162
㈲氏家樹脂防水工業	福島県伊達郡桑折町大字南半田字鍛治屋沢16	969-16	(0245)82 5056
㈱郡山医療器製作所	郡山市大町2—16—17	963	(0249)32 1474
郡山シーリング㈱	〃 富久山町久保田字前田40—2	963	(0249)33 4212
㈱光信工業	いわき市下荒川字剃町32—43	970	(0246)28 1200
紺野工業	〃 泉町滝尻字泉町58	970	(0246)56 0379
㈲渡辺防水	郡山市富田町字下堰1—11	963	(0249)52 0553
㈲タダキシール工業	福島市吉倉字谷地48—1	960	(0245)46 5222
福島防水㈱	郡山市大槻町千部田29	963	(0249)51 5612

3. 東日本シーリング工事業協同組合員 13

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
アルファ産業㈱	東京都港区浜松町1—11—11	105	(03) 432 5735
㈲石黒建材社	〃 杉並区阿佐谷北5—12—2	166	(03) 338 0905
㈱石田シール工事	新潟市下場新町20—12	950	(0252)76 5991

伊藤建材㈱	東京都台東区西浅草2—15—9	111	(03) 842 1431
井上建装㈱	〃 北区豊島2—20—13	114	(03) 919 9420
内倉工業㈱	〃 練馬区上石神井4—9—6	177	(03) 928 0386
㈲柏栄	新潟県柏崎市幸町7—32	945	(02572)3 8506
木元工業㈱	埼玉県志木市下宗岡4—31—6	353	(0484)73 8851
協和シーリング工事㈱	栃木県宇都宮市若草町字宮の関2647—22	320	(0286)24 7072
㈱栗崎工業	東京都葛飾区西亀有2—56—6	124	(03) 620 4901
クニ化学防水㈱	〃 中野区中央1—51—6 クニ防水ビル	164	(03) 362 9321
グロリー防水工業㈱	〃 江戸川区春江町2—34—1	132	(03) 678 4512
京葉シール㈱	〃 墨田区緑4—13—8	130	(03) 631 0106
光栄工業㈱	〃 練馬区上石神井1—432—56	177	(03) 928 2271
㈱工業技術研究所	〃 文京区本郷2—12—6	113	(03) 815 4421
興進工業㈱	〃 新宿区西新宿8—14—19 小林第2ビル	160	(03) 363 8741
山栄興業㈱	〃 渋谷区恵比寿1—13—10 恵比寿壱番館301	150	(03) 443 3321
三協防水㈱	〃 千代田区内神田3—4—9 上田ビル3F	101	(03) 251 6476
三和工業㈱	千葉県市川市相ノ川1—20—20	272-01	(0473)57 5153
㈱ジックス	東京都渋谷区代々木1—30—1 代々木パークビル	151	(03) 370 0121
㈱シーラント	〃 豊島区東池袋3—5—7 ユニオンビル203号	170	(03) 981 7266
㈲新堂	〃 杉並区荻窪5—1—14 秋山ビル201	167	(03) 392 8621
清起工業㈱	〃 昭島市玉川町5—15—17	196	(0425)46 5311
タイガー工業㈱	〃 品川区戸越5—17—13	142	(03) 783 0151
大栄建材㈱	〃 板橋区板橋3—30—5	173	(03) 964 1901
㈱大栄興業	〃 練馬区大泉学園町7—19—43	177	(03) 925 3106
㈲泰成工業	長野市稲里町田牧1180—12	381-21	(0262)84 6255
大和興業㈱	東京都大田区池上7—30—5	146	(03) 758 0342
高萩興業㈱	〃 江戸川区西小岩5—4—11	133	(03) 650 5261
田代工業㈱	〃 練馬区大泉学園町5—17—23	177	(03) 925 0711
中央建材工業㈱	〃 中央区銀座7—14—3 安田松慶ビル	104	(03) 543 8106
東邦シール㈱	〃 文京区春日2—1—5	112	(03) 815 3047
東邦防水総業㈱	〃 中央区八重洲1—5—8 鳥居ビル	103	(03) 271 0176
㈱東邦レジナ	〃 練馬区中村北2—20—10	176	(03) 926 0007
㈱トミヨシ商会	〃 大田区南馬込5—33—7	143	(03) 775 2203
日本ビソー㈱外装工事部	〃 杉並区方南2—4—6	168	(03) 313 1281
日本防水工業㈱	〃 練馬区富士見台4—43—5	177	(03) 998 8721
パシフィック開発建工㈱	〃 港区新橋5—14—2 鈴工ビル2F	105	(03) 437 0720
平沢コーキング工業㈱	新潟県長岡市前島町237	940-11	(0258)23 1529
ビルコン㈱	東京都文京区千駄木3—42—5	113	(03) 823 6061
北斗工業㈱	埼玉県上福岡市大字駒林680	356	(0492)61 2398
細田工業㈱	東京都港区芝大門2—1—8	105	(03) 432 8731
㈱マコト	〃 台東区台東1—6—3 東神ビル	110	(03) 834 6696
マサル工業㈱	〃 江東区佐賀1—9—14	135	(03) 643 5911
㈱マツダパラウォータ	〃 杉並区高円寺北3—31—15	166	(03) 330 9312
三矢興産㈱	〃 品川区戸越3—11—6	142	(03) 787 0360
㈱山形防水	〃 渋谷区幡ヶ谷2—20—12	151	(03) 377 3481
理建工業㈱	〃 墨田区太平4—22—4	130	(03) 622 4081
瀝青建材㈱	〃 千代田区神田佐久間町2—4	101	(03) 861 2706
㈲レミントン工業	埼玉県大宮市大和田町1—1500—2	330	(0486)83 0161
㈱アートシーリング	東京都渋谷区東2—27—4	150	(03) 406 7535
池田防水工事㈱	〃 江戸川区中央3—13—15	132	(03) 655 6770
吉田建設工業㈱	〃 港区六本木6—9—12	106	(03) 403 0851

4. 中部シーリング工事業連合会々員　54

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈲朝日コーキング	名古屋市西区八筋町347	452	(052)502 8935
朝日建物㈱	金沢市泉が丘2—9—3	921	(0762)42 1281
石動コーキング㈱	富山市柳町4—1—9	930	(0764)33 8966
㈲石原コーキング興業	小松市村松町19	923	(0762)43 2201
石渡産業㈱	沼津市神田町6—3	410	(0559)21 6061
㈲大久保コーキング	春日井市花長町1—21—19	486	(0568)31 8775
加賀防水工業㈱	金沢市増泉3—15—10	921	(0762)42 1494
掛川シーリング工業	掛川市垂木2002—6	436-02	(05372)4 0283
北川防水工業所	名古屋市中区新栄2—49—22	460	(052)241 7628
㈱栗原	金沢市増泉3—7—1	921	(0762)42 5101
㈱三栄	名古屋市北区志賀本通2—24	462	(052)981 2134
サン・シーリング工業㈱	富山市飯野134	930	(0764)51 1511
三信建材工業㈱	豊橋市鴨田町52—1	440	(0532)45 8211
㈱志水化工	名古屋市西区稲生町3—37—1	451	(052)531 5295
㈱静岡コーキング工業	静岡市西島473—1	422	(0542)81 1618
㈱シリコンエンジニア	名古屋市名東区上社3—102	465	(052)703 6181
㈲シンコー工業	清水市北脇新田328—1	424	(0543)46 7859
硝和硝子㈱	福井市開発2—121	910	(0776)54 3355
大栄工業㈱	焼津市石脇上133—2	425	(05462)7 9400
大信工業㈱	愛知県海部郡甚目寺町山の浦65	490-11	(052)442 5775
隆志建工㈱	〃　西春日井郡師勝町大字六ツ師500	481	(0568)21 0794
㈱高坂工業	名古屋市中村区五反城町4—31	453	(052)412 0857
㈲第一防水	〃　中村区中村中町3—45	453	(052)482 1654
タナカ工業㈱	伊勢市上地町2677—1	516	(0596)23 3113
中央建材工業㈱	名古屋市千種区高見1—6—1	464	(052)761 6181
津田硝子㈱	〃　天白区一ツ山1—2	468	(052)801 1195
㈲ツカコシ商行	浜松市白羽町2676	430	(0534)41 2273
㈱東海建材工業	静岡県浜名郡可美村増楽1481	432	(0534)48 8711
㈱東海工事	豊橋市岩屋町字岩屋下33—13	440	(0532)62 7614
東海物産㈱	名古屋市千種区若水3—20—23	464	(052)721 2211
名古屋日本化成㈱	〃　千種区本山町3—9	464	(052)762 1596
中村コーキング店	〃　昭和区車田町2—8	466	(052)731 5059
㈱ナカムラシール	浜松市萩丘4—10—5	433	(0534)74 7731
㈲名西商会	愛知県西春日井郡清洲町新清洲6—5—24	452	(052)409 4629
日満防水工業㈱	犬山市字角池57—3	484	(0568)67 1810
日精工業㈱	金沢市新保本1—465	921	(0762)40 1101
㈱日本ビルサービス	富山県砺波市三郎丸313	939-13	(07633)3 1202
㈲西村工研	静岡市広野2—5—32	421-01	(0542)58 7537
㈱ノダキ	名古屋市西区名駅3—10—26	450-91	(052)561 4371
㈲浜松シーリング工業	浜松市長鶴町177—1	435	(0534)64 3839
㈱ビルメン	〃　西区琵琶里町1—22	451	(052)524 6141
不二化成品㈱工事部	清水市鳥坂327	424	(0543)45 7281
フジ工業㈱	名古屋市北区石園町3—21	462	(052)981 0668
不二興業㈱	金沢市法光寺町24	920-01	(0762)58 4755
北陸ビル防設㈱	富山市布瀬町１区3—6	930-11	(0764)21 6924
堀越コーキング㈱	富山県射水郡下村加茂3686	933-02	(0766)59 2308
丸協	富山市平吹町4—21	930	(0764)23 3754
ムツミ工業	金沢市八日市出町465	921	(0762)40 3131
ムラセ工業㈱	名古屋市守山区小幡3—2—14	463	(052)791 4465
㈱名岐	岐阜市藪田3—63	500	(0582)73 2761
森建材商行	名古屋市西区松西町2—87	451	(052)562 1668
山新工業	土岐市旭ケ丘47—34	509-54	(05725)9 4505

若林シーリング	富山市大塚1518	930	(0764)36 6459
㈲和興建材工業	浜松市向宿町212	430	(0534)65 1328

5. 関西シーリング工事業協同組合員 43

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
エマール工業㈱	大阪市住吉区我孫子西2—8—28	558	(06) 695 0751
大阪アルファ産業㈱	〃 淀川区西中島4—6—30—303 チサン第5ビル	532	(06) 301 5235
大阪工業㈱	〃 西区南堀江3—13—11	550	(06) 531 4814
㈱大阪シール	〃 北区天満4—11—16	530	(06) 352 2895
㈱大阪防水工業所	守口市梶町1—124—7	570	(06) 903 0016
大阪ユニロン㈱	大阪市福島区玉川2—11—21	553	(06) 448 2341
㈱勝友商会	神戸市東灘区青木5—18—23	658	(078)411 4418
関西シーリング工業㈱	大阪府南河内郡太子町山田2673—1	583	(0721)98 0239
㈱関西住建	京都市伏見区石田大受町31	601-13	(075)571 0246
㈱京都シール	〃 山科区音羽八ノ坪町34—15	607	(075)501 1100
共立産業㈱	大阪市東区本町5—4 広和ビル	541	(06) 262 5845
㈲高分子工材	高松市浜の町18—27	760	(0878)21 3010
神戸建設㈱	伊丹市荒牧字桑田60	664	(0727)81 5189
三幸物産㈱	大阪市住吉区万代3—5—9	558	(06) 671 2498
三大工業㈱	〃 西区京町堀3—3—30 第2同盟ビル405号	550	(06) 448 0450
山陽シール工業㈱	姫路市八代宮前町18—15	670	(0792)97 0658
㈲椎名コーキング商会	徳島市東吉野町3—12—16	770	(0886)54 3056
嶋澤シーリング商会	姫路市御立1554—13	670	(0792)98 8176
昌栄亀井㈱	尼崎市武庫之荘3—17—11	661	(06) 431 8429
新和化工㈱	豊中市南桜塚1—3—40	560	(06) 843 0356
㈱大一防水工業	大東市寺川2—1—1	574	(0720)71 8951
㈱大協建材	大阪市浪速区元町1—13—7 第3カネイチビル	556	(06) 649 4105
大信防水工業㈱	神戸市長田区西丸山町3—3—16	653	(078)642 3760
高橋シーリング	大阪市旭区新森3—17—19	535	(06) 951 9585
中外商工㈱	〃 西区靱本町1—5—14	550	(06) 443 7321
トシダ工業㈱	高槻市芝生町1—14—1	569	(0726)77 1536
㈱東光商会	神戸市東灘区岡本4—4—6	658	(078)453 2211
㈱東洋防水	大阪市阿倍野区文の里2—3—15	545	(06) 621 3741
徳島大三工業㈱	徳島市北矢三町1—2—61	770	(0886)31 4161
㈱特殊技研	大阪市北区末広町3—21 星和地所扇町ビル	530	(06) 315 0701
㈱中出商会	神戸市兵庫区上沢通6—1—1	652	(078)511 4501
日建瀝青工業㈱	〃 兵庫区水木通8—2—7	652	(078)576 0851
日添工業㈱	大阪市北区天満4—3—9	556	(06) 357 8088
日本化成工業㈱	吹田市南金田1—4—46	564	(06) 385 3886
白洋建材㈱	大阪市都島区都島本通2—15—1	534	(06) 924 2536
美星工業㈱	神戸市長田区林山町9—5 朝日マンション105	653	(078)631 5048
富士化成工業㈱	大阪市城東区野江2—2—19	536	(06) 939 7149
㈲豊栄シール	堺市奥本町1—74	591	(0722)55 0338
㈱美作	守口市八雲西町4—69	570	(06) 991 0500
八尾コーキング	八尾市久宝寺5—4—31	581	(0729)92 3846
ユニオン商事	大阪市西区靱本町3—1—6	550	(06) 445 0735
㈲吉川美装商事	滋賀県大津市中央3—2—2	520	(0775)24 8289
㈱中村商店	摂津市鳥飼下3—3—7	567	(0726)54 4538

6. 中国シーリング工事業協会々員

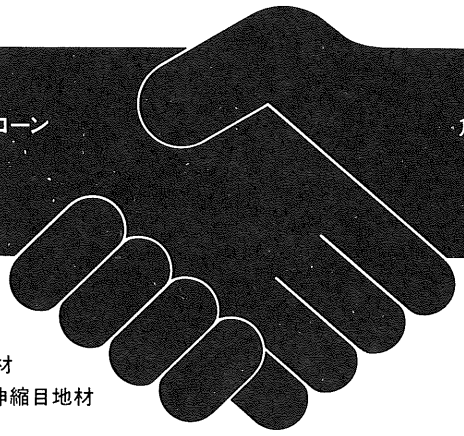
会社名	所在地	郵便番号	電話番号
アイシン工業㈱	広島市西区楠木町3—6—9	733	(082)238 3883
青盛建材㈱	〃 中区舟入幸町19—10	730	(082)292 3200
朝日産業㈱	高知市南の丸町2—1	780	(0888)33 2100
烏城防水工業㈲	岡山市倉富494—34	703	(0862)77 0364
㈲小野甚商店	〃 丸の内1—13—13	700	(0862)25 4868
岸防水工業㈲	高知市塩屋崎町2—10—35	780	(0888)32 7731
㈲高知防水センター	〃 神田1829	780	(0888)32 5530
㈲山陰シール工業	米子市西両三柳165—4	683	(0859)32 2287
㈱サンゼオン防水工業所	広島市西区中広町3—17—16	733	(082)291 1631
㈱三洋技建 広島営業所	〃 西区庚午南1—3—30	733	(082)271 9317
三和防水工業㈱	〃 南区東雲本町2—4—21	734	(082)283 3366
四国ビルサービス㈱	松山市居相町450—4	790	(0899)58 1222
㈲昭和化学防水工業	岡山市下伊福1—3—24	700	(0862)53 4093
シーリング工業㈱	広島市西区横川町1—11—15	733	(082)294 6637
㈲スミ防工業	岡山市伊島町2—3—18	703	(0862)52 9311
第一化工㈱	広島市西区南観音町1—5—40	733	(082)293 3828
大三工業㈱高知支店	高知市一宮東光連寺2635—4	780	(0888)45 4800
大和防水㈱	岡山市矢坂西町7—36	700	(0862)52 2642
高橋工業㈱	福山市野上町1—11—8	720	(0849)21 2570
千葉工業㈱	広島市西区山田新町2—11—27	733	(082)272 7600
中国化成工業㈱	〃 東区戸坂千足1—21—13	732	(082)229 2780
中国特殊防水産業㈲	〃 西区中広町3—11—9	733	(082)231 9958
中国冨士化工建設㈱	〃 東区矢賀町1—527—12	730	(082)284 3117
㈱ツキタニ工業	広島県安芸郡府中町本町1—11—3	735	(082)282 7019
仁井田建装	高知県中村市古津賀1917—1	787	(08803)4 4387
日化工材㈱	岡山市表町2—6—21	700	(0862)25 2021
ニッテイ㈱	新南陽市大字富田4530	746	(0834)63 2532
日本シール工業㈱	広島市西区楠木町4—15—39	733	(082)238 7447
㈱はまはら	尾道市新浜1—3—4	722	(0848)23 2760
㈲肥田工業	広島市東区戸坂新町2—3—5	730	(082)229 3411
広島アルファ産業㈱	〃 西区中広町2—25—14	733	(082)293 6557
㈱広島防水工業	〃 西区東観音町12—14	733	(082)294 3238
㈲フヂ防水工業	広島県佐伯郡五日市町海老園2—11—7	731-51	(0829)22 9757
フジミ工業㈱	〃 安芸郡府中町大須3—7—14	735	(082)282 2201
ホーアン産業㈱	広島市中区白島九軒町14—5	730	(082)228 7766
防長建材㈱	徳山市野上町2—15	745	(0834)21 0003
マルエ商工	防府市大字牟礼岸津4314—4	747	(0835)23 5123
㈱マルエス工業	広島市中区宝町8—26	730	(082)243 7474
丸福建材工業㈱	〃 中区舟入町7—9	733	(082)232 6155
㈱森本組	〃 西区中広町3—22—12	733	(082)291 2629
㈱ヤマザキ技販	福山市横尾1—88	720	(0849)55 5353
㈲吉田シーリング工業	徳山市楠木1—11—17	745	(0834)28 5788

7. 九州シーリング工事業協同組合員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈲岡村シーリング工事	福岡市南区清水2—15—30	815	(092)553 1881
九州特殊工事㈱	福岡市博多区千代4—5—1	812	(092)611 0426
㈱佐藤防水	鹿児島市鴨池1—13—3	890	(0992)54 2704
三賀産業㈱	福岡市博多区博多駅前3—5—1 博多センタービル	812	(092)471 1355
嶋田工業	北九州市小倉南区大字徳吉108—4	803-02	(093)452 0220
昭和日本化成㈱	福岡市早良区原4—8—11	814-01	(092)843 3311

シンコー化成興業㈱	〃　城南区別府6—3—6	814	(092)821　1546
㈱新日本樹脂化工	〃　博多区金隈303—3	816	(092)503　5070
大栄㈱	北九州市小倉北区西港町61—13	803	(093)571　4581
テイパ化工九州販売㈱	福岡市南区長丘5—11—20	815	(092)561　1675
㈲成建	熊本市健軍町2622—20	862	(096)367　3631
㈲日本シーラント工業	福岡市中央区渡辺通り2—8—3	810	(092)741　5050
㈲野田工業所	福岡県大野城市仲畑1—260	816	(092)572　3859
ビーゼイ工事㈱	那覇市前島2—14—11　松ビル	900	(0988)63　2164
福岡アルファ産業㈱	福岡市博多区博多駅前3—9—5　チサン博多ビル316号	812	(092)451　1073
南日本化成㈱	鹿児島市中山町2037—5	891-01	(0992)67　6121
宮本産業㈱	福岡市早良区賀茂1—7—12	814-01	(092)862　3331
㈱ムトウ	〃　早良区昭代3—2—5	814	(092)851　0111
㈲ダイシン産業	福岡市城南区別府2—15—41	814	(092)851　8722
草野工業㈱	北九州市小倉北区霧ケ丘1—5—11	802	(093)922　7631
博栄工業㈱	長崎市川平町1389—2	852	(0958)49　2232

建築防水資材の名コンビ

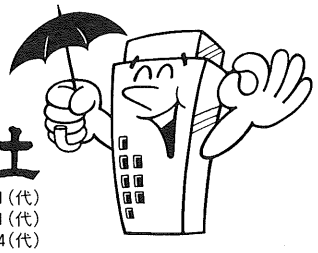


シーリング材
シリコーン1液2液　変成シリコーン
ポリサルファイド
ウレタン1液2液
アクリル　ブチル　油性

バックアップ材
角型　丸棒　超硬質　特殊形状
ゴムグレイジングロープ
マスキングテープ
他副資材

★防水吹付材・エポキシ注入材
★エポキシライニング材・防水塗床材
★ウレタン防水材・シート防水材・伸縮目地材

豊富な在庫で迅速納入



フヨー株式会社
本社・建材営業部/〒130東京都墨田区業平5-5-6 Tel.03(626)3371(代)
大阪支店/〒532大阪市淀川区宮原5-6-10 Tel.06(395)0201(代)
仙台営業所/〒982仙台市一本杉町37-18 Tel.0222(98)7334(代)

「守りはかたく」

プロのニーズに応える

三洋の建築用シーリング材。

- スリーコーキング(油性コーキング材)
- スリーウレッチ(ポリウレタン系シーリング材)
- スリーラント(アクリル系シーリング材)
- スリーコーン(変成シリコーン)
- スリーコール(ポリサルファイド系シーリング材)

シーリング材の専門メーカー
三洋工業
本社・東京都江東区亀戸6-20-7 TEL685-3452

変成シリコーン系2成分形シーリング材
ニッシーラー・MS

ポリサルファイド系2成分形シーリング材
ニッシール

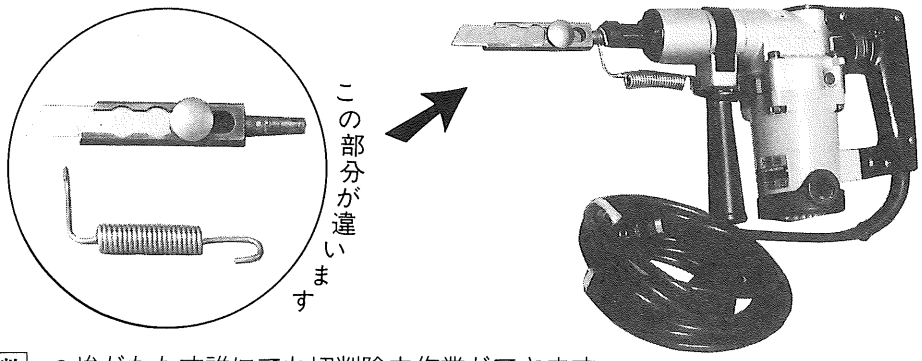
ポリウレタン系2成分形シーリング材
ニッシーラー・ウレタン

ブチル系1成分形シーリング材
プレンシール

〈製造元〉
日興化学工業(株)
〒135 東京都江東区白河4－9－5
☎東京03（642）7105～6・7155

新発売 凄い奴が現れた!!
弾性シーリングカッター
〈特許 実用新案〉申請中
（万能ハクリ機専用）

目地材（シリコーン ポリサルファイド ウレタン アクリル ブチル等）に最適



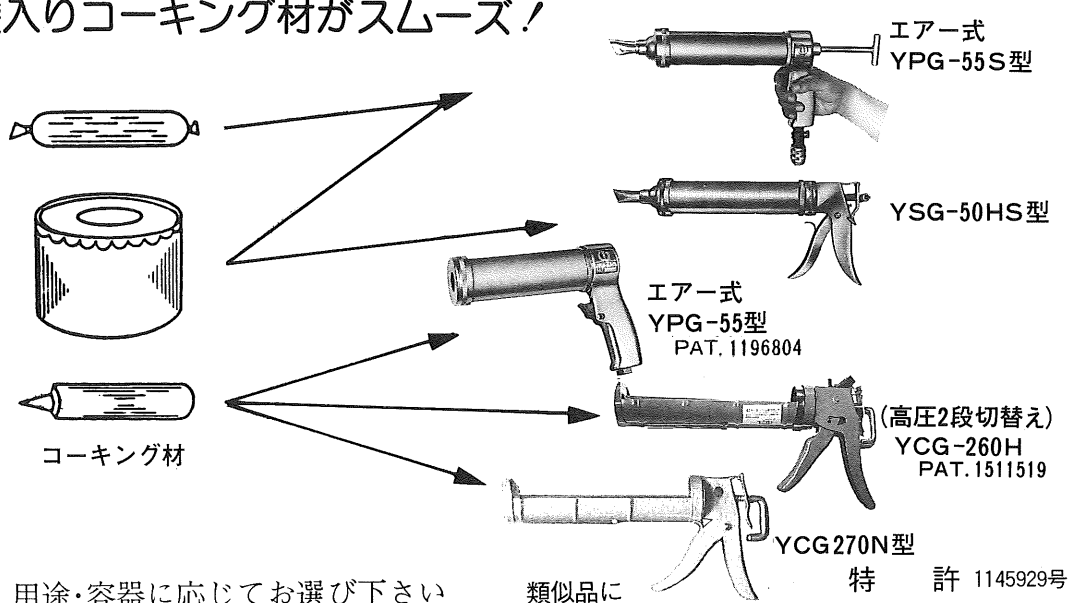
特徴
- 埃がたたず誰にでも切削除去作業ができます
- スピードアップで疲れず能率がアップ
- マジックスプリングを使用しますので刃先を押しつける必要がありません

※万能ハクリ機は、従来通り油性コーキング材のハクリ作業も出来ます。

全日本産業機械化連盟
株式会社 コーケン
〒124 東京都葛飾区西新小岩4-36-3
TEL. 03(696)6671(代)

ヤマモトのガン
袋入りコーキング材がスムーズ！

コーキングガンの総合メーカー
株式会社 山本製作所
〒545 大阪市阿倍野区松崎町2丁目7番10号
電話 大阪 06－623－5170(代)
FAX 06－623－6155



用途・容器に応じてお選び下さい
類似品にご注意下さい
特許 1145929号
実用新案 1326625号

関連会社、団体一覧表

1) バックアップ材メーカー

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
旭化成工業㈱	東京都千代田区有楽町1—1—2　日比谷三井ビル	100	(03) 507　2957
化研マテリアル㈱	〃　江東区新木場1—17—6　東邦港運内	136	(03) 521　7439
光栄加工㈱	〃　練馬区関町1—46	177	(03) 920　2671
㈱新和商会	〃　荒川区西日暮里2—24—14	116	(03) 803　1411
積水化学工業㈱	大阪市北区西天満2—4—4　堂島関電ビル	530	(06) 365　2111
大進商工㈱	東京都北区東十条3—13—9	114	(03) 912　8447
日本バックアップ工業㈱	〃　中野区中央1—12—9	164	(03) 369　0215
野口興産㈱	〃　練馬区豊玉北2—10	176	(03) 994　5601
日立化成工業㈱	〃　新宿区西新宿2—1—1　新宿三井ビル	160	(03) 346　3111
フヨー㈱	〃　墨田区業平5—5—6	130	(03) 626　3371

2) 施工用具メーカー

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
大竹工業㈱	東京都中央区新富1—7—4　阪和ビル	104	(03) 552　3611
㈱菅野製作所	〃　北区志茂3—3—26	115	(03) 903　3140
巴工業㈱	〃　中央区日本橋3—14—1　新新会館ビル	103	(03) 274　0411
日東ポリマー工業㈱	兵庫県尼崎市大浜町2—5—1	660	(06) 418　7421
日本ソセー工業㈱	名古屋市南区南野1—39	457	(052) 612　7321
ミキスタ工業㈱	東京都中央区日本橋蠣殻町1—33—7	103	(03) 669　9471
㈱山本製作所	大阪市阿倍野区松崎町2—7—10	545	(06) 623　5170

3) 建材関連団体

団体名	所在地	郵便番号	電話番号
板硝子協会	東京都千代田区丸の内3—3—1　新東京ビル	100	(03) 212　8631
ALC協会	〃　港区元赤坂1—1—15　ニュートヨビル	107	(03) 403　7767
㈶化学品検査協会	大阪市天王寺区堂ケ芝町12	543	(06) 771　7752
㈶建材試験センター	東京都中央区日本橋小舟町1—3　太田ビル	103	(03) 664　9211
コンクリートカーテンウォール工業会	〃　中央区京橋1—9—4　京和ビル	104	(03) 264　3708
全国板硝子商工協同組合連合会	〃　千代田区神田神保町3—4　総合板硝子会館	101	(03) 262　6737
㈳日本カーテンウォール工業会	〃　港区南青山5—11—2　共同ビル(南青山)	107	(03) 409　6981
㈳日本建設材料協会	〃　中央区銀座2—6—4　プレイガイドビル	104	(03) 567　7260
㈶日本建築センター	〃　中央区晴海1—14—16	104	(03) 531　6351
㈶日本建築総合試験所	大阪府吹田市藤白台5—8—1	565	(06) 782　0391
日本建築仕上材工業会	東京都千代田区神田和泉町1—6インターナショナルビル	101	(03) 861　3996
㈳日本サッシ協会	〃　港区南青山5—11—2　共同ビル(南青山)	107	(03) 409　1308
プレハブ建築協会	〃　港区芝公園3—1—38　公園三丁目ビル	105	(03) 431　1481
建築ガスケット協会	〃　港区西新橋2—2—10　三喜ビル	105	(03) 501　2906
日本接着剤工業会	〃　千代田区内神田1—15—10　福島ビル	101	(03) 291　3303

4) 防 水 団 体

団体名	所在地	郵便番号	電話番号
全国防水工事業団体連合会	〃 中野区中野1—55—7 藤ビル	164	(03) 369 7351
九州アスファルト工事業協同組合	福岡市中央区舞鶴2—8—2 村上ビル	810	(092) 713 5263
合成高分子ルーフィング工業会	東京都中央区新川1—3—2 新東京ビル	104	(03) 552 8479
ゴムアスファルト防水工事業協同組合	東京都品川区南大井1—17—25 勝島パークハイツ	140	(03) 761 4378
シート防水工事業団体連合会	〃 中央区日本橋人形町3—6—2	103	(03) 661 5787
西部アスファルト工事業協同組合	大阪市西区江戸堀1—20—11 辻川ビル	550	(06) 445 1138
全国アスファルト工事業協同組合連合会	東京都中央区八重洲1—2—1 新呉服橋ビル	103	(03) 271 5797
全国塗膜防水工事業団体連合会	〃 中野区中野1—55—7 藤ビル	164	(03) 363 9718
全日本プレハブ建築防水協会	〃 中央区日本橋人形町2—12—11 石塚ビル	103	(03) 669 0764
東部アスファルト工事業協同組合	〃 中央区八重洲1—2—1 新呉服橋ビル	103	(03) 271 5797
㈳日本アスファルト同業会	〃 中央区八重洲1—2—1 新呉服橋ビル	103	(03) 271 2208
日本ウレタン建材工業会	〃 港区新橋6—13—3 島田ビル	105	(03) 438 0988
日本塗布防水工事業協同組合	〃 中野区中野1—55—7 藤ビル	164	(03) 367 1611
㈳日本薬液注入協会	〃 文京区後楽1—2—7 全逓会館	112	(03) 816 2681
東日本建設防水協同組合	〃 新宿区歌舞伎町2—1—2	160	(03) 200 3584

SRシール

S70 1液変成シリコーン系シーリング材
S50 2液変成シリコーン系シーリング材
U73 1液ポリウレタン系シーリング材
U31 2液ポリウレタン系シーリング材

PHOTOボンド #100 #500 感光性接着剤

エッジシール 網入り板ガラス防錆ブチルテープ
(ガラスメーカー3社 全硝連推奨品)

JIS表示工場 第581036号(JIS・A・5758)

サンライズメイセイ株式会社

本社工場 〒592 堺市浜寺石津町中1丁4番7号 TELEX 5374-743
電話 (0722) 44—7500(代) FAX 0722—44—8183
静岡工場 〒437-14 静岡県小笠郡大東町国安字一本松24—16
電話 (05377) 2—5700(代) FAX 05377—2—4772
関東営業所 〒221 横浜市神奈川区三枚町299番地5
電話 (045) 383—4651(代) FAX 045—383—4869
熊谷営業所 〒360 埼玉県熊谷市宮町2丁目132番地(林ビル)
電話 (0485) 25—1822(代) FAX 0485—25—2491
名古屋営業所 〒465 名古屋市名東区一社3丁目90番地(チサンビル202号)
電話 (052) 703—2061(代) FAX 052—704—1978
関西営業所 〒592 堺市浜寺石津町中1丁4番7号
電話 (0722) 44—7500(代) FAX 0722—44—8183
広島営業所 〒732 広島市南区比治山町5番12号
電話 (082) 263—4461(代) FAX 082—263—8195
九州営業所 〒812 福岡市博多区博多駅前4丁目26番11号(鐘芳ビル201号)
電話 (092) 472—2143(代) FAX 092—411—1076

大好評!!3成分形（カラーマスター方式）

ファインシーラー No.500㊨

変成シリコーン系シーリング材　JIS A5758 9030合格品

- 混練状態が一目でわかり、混練不良がなくなります。
- 在庫調整・在庫管理の手間が大幅に軽減。
- 標準色(グレー、ダークブラウン、ホワイト、ブラック)のほか、各色注文に応じます。
- 容量・荷姿：4ℓセット×2/カートン（段ボール箱入り）

優れた品質，優れた施工性，豊富な経験と実績！

ポリウレタン系シーリング材(3.5ℓ、7ℓ荷便型1点セット)
ファインシーラー No.200㊨
JIS A 5758 8020 合格品

ポリサルファイド系シーリング材(4ℓセット)
ファインシーラー No.300㊨
JIS A 5758 9030 合格品

販売代理店(50音順)

潮物産㈱	011(261)8271
化研マテリアル㈱	03(436)3011
光栄商事㈱	03(928)5811
日新物産㈱	03(667)5060
野口興産㈱	03(994)5601
フヨー㈱	03(626)3371

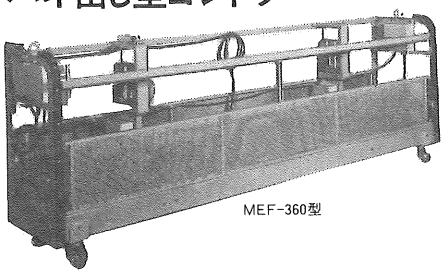
日本添加剤工業株式会社

営業部　〒174 東京都板橋区前野町1－21－5　電話 03(965)5731(代)
大阪支店　〒550 大阪市西区江戸堀1-5-13(日々会館ビル)　電話 06(443)6231(代)
名古屋支店　〒453 名古屋市中村区大閤通2-40(フタバビル)　電話 052(451)8632(代)
本社・工場　〒174 東京都板橋区前野町1－21－5　電話 03(960)8621(代)

ゴンドラ足場のことなら ビソー レンタル ゴンドラシリーズ

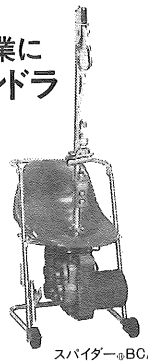
コーナー作業に!! ハネ出し型ゴンドラ

- 電動デッキ型各種(100V・200V)
- サイズ／1.2m・2.4m・3.6m
- ロープ径／8㎜


MEF-360型

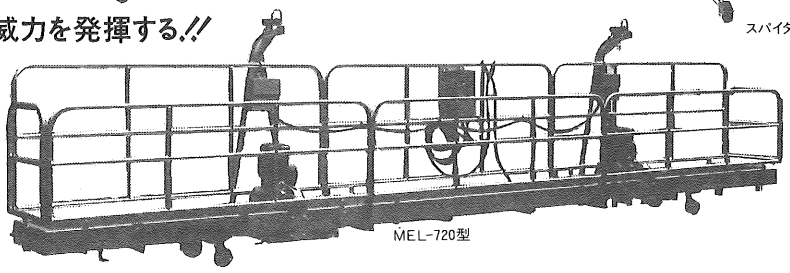
部分・狭所作業に ワンマンゴンドラ

- 電動チェア型各種(100V・200V)
- 積載荷重／100kg
- ロープ径／6㎜・8㎜


スパイダー㊨BCA型

大型構造物に威力を発揮する!! 長尺ゴンドラ

- 電動デッキ型各種
- サイズ／5.4m・7.2m
- ロープ径／10㎜


MEL-720型

日本ビソー株式会社

レンタル部／〒168東京都杉並区方南2-4-7☎03-313-1391
本社／〒107東京都港区南青山1-1-1　☎03-475-0800

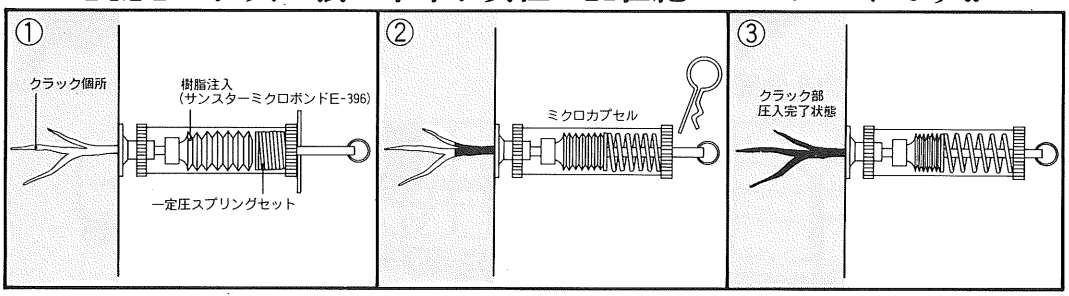
東京支店☎ 03-317-2255　名古屋支店☎052-915-4666　岡山支店☎0862-44-0831
日本橋支店☎ 03-553-4466　大阪支店☎ 06-331-1011　福岡支店☎092-621-1771
横浜支店☎045-473-6666　神戸営業所☎078-251-1631　仙台支店☎0222-86-8060
千葉支店☎0436-22-6561　広島支店☎082-238-1810　札幌支店☎011-821-0001

シーリング工事
ビル用改装サッシ工事
店舗の企画・設計・施工

R のマークは
理建工業のマークです

建設大臣許可番号(般－57)第9923号
一級建築士事務所　(知事登録第20035号)
理建工業株式会社
東京理建株式会社
本　社　東京都墨田区太平４丁目22番４号
☎03(622)4081(代表)　FAX 03(622)4779
横浜営業所(店装部)
横浜市旭区東希望ヶ丘２１５第５尚功ビル
☎ 045(363)８９５１(代表)

特許・実用新案・意匠・商標登録出願中
浮き・クラック……外壁の注入補修なら
東海のミクロカプセル工法
〈TOHKAI'S MICRO TECHNICS　略称:東海のミクロ工法(TMT)〉
TMTは注入工法の革命！貴社の21世紀へのスタートです!!



東海のミクロ工法樹脂供給メーカー
アイカ工業㈱　サンスター技研㈱
アサヒボンド工業㈱　セメダイン㈱
カネボウ・エヌエスシー㈱　東邦天然ガス㈱

TOHKAI
有限会社 東海産商
〒536 大阪市城東区蒲生４－７－18
TEL 06(931)0246　FAX 06(931)0566

「シーリング技術管理士」に関する規約

（昭和57年７月28日改訂）

第１条　（目　的）

この規約は日本シーリング工業会（以下工業会という）が設けた資格制度に関するものであり，水密，気密保持に関するシーリング材の重要性にかんがみ，設計・施工を通じた技術の向上に併せて，業界の地位向上を図ることを目的としたものである。

第２条　（職　務）

シーリング技術管理士（以下技術管理士という）は，シーリング工事に関して，防水設計，シーリング材の性能・品質・施工法について十分な知識を活用し，技術指導を行なう。

第３条　（技術管理士の認定）

シーリング管理士検定委員会（以下検定委員会という）は第２条に基づき，講習ならびに検定試験を毎年１回実施し，これを受講し試験に合格した者を工業会は技術管理士として認定する。

第４条　（受験資格）

受験資格者は工業会々員会社に所属する者，および会員会社が推薦し理事会が承認した者とする。ただし施工会社に所属する者は除く。

技術管理士の受験資格は次の通りとする。

イ．年齢22歳以上の者

ロ．実務（シーリング工事にかかわる業務）経験年数が次の表以上の者であって卒業証明書またはその写を提出した者，ただし中学卒業はその限りでない

学歴		経験年数
大学卒業	普通	2年
	専門	1年
高専卒業	普通	3年
	専門	2年
短大卒業	普通	3年
	専門	2年
高校卒業	普通	5年
	専門	3年
中学卒業	普通	7年

注：専門とは建築，化学の専門課程修了者，
普通とは専門以外の課程修了者をいう。

第５条　（資格の更改）

技術管理士は４年毎に資格の更改を行なう。ただしこの間１年毎に所属する会社代表者の在籍証明書を提出しなければならない。更改に際しては検定委員会で定める技術向上を目的とする講習を受けなければならない。

講習に不参加であった者はその資格を停止し，次回の講習を受けその資格を復活できるものとする。資格を停止された者はシーリング技術管理士証明書（以下証明書という）を工業会に返却しなければならない。原則として資格停止者が次回の講習を受けなかった場合は，その資格は取消される。

第 6 条　（証明書の返却）

技術管理士が所属する会社を退職する場合は，速かに証明書を工業会に返却しなければならない。

第 7 条　（証明書の再交付申請）

第6条により証明書を工業会に返却した者が新たに証明書の再交付を希望する場合は，改めて所属会社代表者の推薦書を付して工業会に申請することができる。

第 8 条　（証明書の再交付）

証明書再交付の申請を受けた場合，工業会は所定の審査の上再交付する。

第 9 条　（資格の取消し）

次に掲げる各項に該当する場合は技術管理士の資格を取消すことができる。

1．第2条に定める職務の遂行が困難になった場合

2．刑罰又はこれに準ずる処罰を受けた場合

3．その他技術管理士の権威を著しく汚す行為があった場合

第 10 条　（その他の事項）

前各条の他，運営上必要な細部事項については別に定める。

「シーリング管理士」に関する規約

（昭和57年 7 月28日改訂）

第 1 条　（目　的）

この規約は日本シーリング工業会（以下工業会という）が設けた資格制度に関するものであり，水密，気密保持に関するシーリング材の重要性にかんがみ，設計・施工を通じた技術の向上に併せて，業界の地位向上を図ることを目的としたものである。

第 2 条　（職　務）

シーリング管理士（以下管理士という）は，現場施工能力を有し，かつ防水設計，シーリング材の性能・品質・施工方法について十分な知識を活用し，シーリング工事について施工及び技術指導を行なう。

第 3 条　（管理士の認定）

シーリング管理士検定委員会（以下検定委員会という）は第2条に基づき，講習ならびに検定試験を毎年1回実施し，これを受講し試験に合格した者を工業会は管理士として認定する。

第 4 条　（受験資格）

受験資格者は日本シーリング工事業団体連合会（以下日シ工連という）会員会社に所属し，人格識見を有する者で，所属する会社代表者の推薦を必要とする。

管理士の受験資格条件は次の通りとする。

イ．年齢22歳以上の者

ロ．実務（シーリング工事にかかわる業務）経験年数が次の表以上の者であって卒業証明書またはその写を提出した者，ただし中学卒業者はその限りではない。

学歴		経験年数
大学卒業	普通	2年
	専門	1年
高専卒業	普通	3年
	専門	2年
短大卒業	普通	3年
	専門	2年
高校卒業	普通	5年
	専門	3年
中学卒業	普通	7年

注：専門とは建築，化学の専門課程修了者，
普通とは専門以外の課程修了者をいう。

ハ．ゴンドラ運転の特別教育修了証所持者であって，特定化学物質等作業主任者の資格を有する者

第 5 条　（資格の更改）

管理士は4年毎に資格の更改を行なう。ただしこの間1年毎に所属する会社代表者の在籍証明書を提出しなければならない。更改に際しては検定委員会で定める技術向上を目的とする講習を受けなければならない。

講習に不参加であった者はその資格を停止し，次回の講習を受けその資格を復活できるものとする。

資格を停止された者はシーリング管理士証明書（以下証明書という）を工業会に返却しなければならない。

原則として資格停止者が次回の講習を受けなかった場合は，その資格は取消される。

第 6 条　（証明書の返却）

管理士が所属する会社を退職する場合は，速かに証明書を工業会に返却しなければならない。

第 7 条　（証明書の再交付申請）

第6条により証明書を工業会に返却した者が新たに証明書の再交付を希望する場合は，改めて所属会社代表者の推薦を付して工業会に申請することができる。

第 8 条　（証明書の再交付）

証明書再交付の申請を受けた場合，工業会は所定の審査の上再交付する。

第 9 条　（資格の取消し）

次に掲げる各項に該当する場合は管理士の資格を取消すことができる。

1．第2条に定める職務の遂行が困難になった場合

2．刑罰又はこれに準ずる処罰を受けた場合

3．その他管理士の権威を著しく汚す行為があった場合

第 10 条　（その他の事項）

前各条の他，運営上必要な細部事項については別に定める。

シーリング技術管理士名簿

（222名）

会社名	氏名
愛知住宅工業㈱	瀬ノ上正一
㈲アイワ工業	白地幸男
アサヒボンド工業㈱	徳田精久
㈱エービーシー商会	芥川慎一、仁多見憲二、磯部文男、小泉雅二
オート化学工業㈱	高木紀英、笠原　哲、塚田正博、森田栄一、伊藤彰彦、谷川邦彦
化研マテリアル㈱	郷間隆一
カネボウ・エヌエスシー㈱	脇　健答
カネボウ化成㈱	森重幸雄
木島ゴム工業用品	萩原昭文
コニシ㈱	河端次彦、谷口雅俊、勝又賢次、小林保夫、林　信義、中野信二、井谷　誠、加藤昭彦、小杉誠一、福永陽一、山崎一昭、赤松郷也、日下部悟
小林通商㈱	小林　剛
サンスター技研㈱	石田謹吾、笹尾卓弘、石川真一、花田健治、榎本教良、三川孝信、加川順一、田村耕三、平井孝典、鳥山顕一、水野隆司、田島哲夫、市川隆吉、大中義夫、西村良雄、金長祥光、和田　裕、田中美樹夫、田中宏侍、野村昌弘、堀　恒美、佐藤　修、福元　寛、原田康裕、野口伸一郎、上田政則、川上一三、猪俣節雄、多田羅晋由
昭石化工㈱	富田健一、山田明宏、勝井基雄、山田一洋、竹田和幸
信越化学工業㈱	河野純一、小林　勲、坂詰功晃、増田　透、鎚水寿博、石坂和夫、佐藤和治、鳥屋幸男、浅見嘉信、布施雅已、西沢　修、里二三夫、上田文雄、原沢健二、横塚貞治、上野隆夫、萩原　隆
世界長㈱	井上久世、橋本剛一、中田豊隆、松田修蔵、中村光男、松井潤介、森本隆良
セメダイン㈱	小形考一、田沼英己、八代秀雄、松田　豊、松林日出男、峰岸清志、後藤　均、熊谷建基、川辺征善、川端　博、安斉忠男、五味秀樹、中田欽也、新村由行
ソニーケミカル㈱	大塚浩史
テイパ化工㈱	上田　武、北野真一、山崎保充、堀河哲雄、小池弘美、関野士郎、小倉　臻、杉中　肇
東芝シリコーン㈱	斉藤　修、渡辺修二、小笠原義治、小野部盛雄、清水千之、篠沢一義、細川　清、大工園昭二、高井直人、安藤秀秋、吉川敏夫、仲野栄樹、神崎　聖、下屋敷恵治、浜砂岩男、分部康平、福島通人、大木直也、横川　健
㈱東北協和工商	菅原久志
トーレ・シリコーン㈱	市橋弘雄、笠井慎年、沢村直文、椎名健介、久野二郎、広田正行、空本　宏、吉水　毅、山田孝男、田中孝次、伊比輝男、小田喜幸、米谷敏夫、山本賢三、木原克巳、菅沼紀之、高木忠雄、藤井秀一、土橋善雄、奏泉寺利春、内田広之、岩下恵一、立岡道広、石田忠雄
東レチオコール㈱	窪　正一、佐藤修二、薮　穣
㈱西井塗料産業	山口良治
日東ポリマー工業㈱	与義守信
日興化学工業㈱	篠田正己、松村　博
ニッセイ技研㈱	岸原　淳、川崎隆実
日東化成工業㈱	紺木忠興
日東電気工業㈱	山口龍之助
日本添加剤工業㈱	古谷健一、山本浩一、石田　博、岡田安正、田中昭南
日本フランシール㈱	船越　力
野口興産㈱	野口裕二、広瀬貴一
日立化成ポリマー㈱	山室義行、中田勝哲、竹本富夫、北川　進、山中　明、古新居敦、浜野幸市
フヨー㈱	山根高志
保土谷化学工業㈱	小嶋三郎
㈲三河英建	太田　誠
三星産業㈱	矢島克美
山内ゴム工業㈱	梅野雅孝、鈴木典夫、山田　博、渡部高久、石山悦隆、尾野本末昭
横浜ゴム㈱	羽原吉雄、井部才輝、庄田　守、鎌田正徳、塩田　実、森　輝明
ヨコハマゴム工業品北海道販売㈱	小林伸一
ヨコハマゴム工業品東京販売㈱	秋沢充敏、松居幸男、松田敏行
ヨコハマゴム工業品中部販売㈱	高森　寛
ヨコハマゴム工業品関西販売㈱	大原光良、斉藤章徳、西村龍夫、藤原利夫、萩原　優、深尾正美、沖　昌弘、大塚政幸
ヨコハマゴム工業品中国販売㈱	井上哲二

ヨコハマゴム工業品九州販売㈱	渡辺英治
吉田工業㈱	宮袋武裕、我妻道男、千原　淳、在塚　均、
	竹村正巳、山下康広、小鍛治秀明、鹿野裕市
㈱吉田産業建材センター	下斗米勝彦

シーリング管理士名簿

北海道支部　（9名）

会社名	氏名
㈱協栄シール	吉無田泰長
中林防水工業㈱	石田誠二
㈱浜建	下井　守
藤シーリング工業㈱	五十嵐努
北海コーキング㈱	村上康夫
北海道タイホー㈱	鳴海忠義、長尾忠幸
北晄防水工業㈱	菊地　薫
㈲ヤマト工業	小山毅芳

仙台支部　（5名）

会社名	氏名
㈲泉クリーナー	花村卓次
大島金属商事㈱	高橋卓孝
㈱郡山医療器製作所	安斉国紀
㈱丸本工業所	本吉和康、千葉忠男

東京支部　（61名）

会社名	氏名
アルファ産業㈱	山本　勇、秦　達也、宮代　博、吉原直行
石黒建材社	石黒勝己
㈱石田シール工事	石田　実、鈴木隆男
木元工業㈱	神尾　健
協和シーリング工事㈱	手塚　透
㈱栗崎工業	栗崎堅司
京葉シール㈱	木下義晴、木下　剛
光栄工業㈱	内田鴇鵜
㈱工業技術研究所	鈴木裕二
興進工業㈱	五十嵐志郎、山村辰志、高宮昇二、小山忠夫、大坪徳夫
山栄興業㈱	宇山広道、柏瀬謙一、鶴田正行、上田稠身
㈱ジックス	名倉　茂、松田英男、岩崎元廣
㈲新堂	神　繁夫
タイガー工業㈱	堀　亨
中央建材工業㈱	渡辺昭悟
東邦防水総業㈱	広瀬忠夫、戸田　裕、深津富正
㈱トミヨシ商会	富岡勝人
日シ工連	加藤由之助
平沢コーキング工業㈱	平沢敏男、勝視益明
北斗工業㈱	高橋和彦、大関　勉
マサル工業㈱	操上弘昌、鈴木賢一、宮川文雄、大辻勇七郎、雪入　毅、塚本　弘、佐藤義政、中沢文隆、木村芳孝、村山美二、野垣善輝、斉藤誠一、細谷英雄、小峰　茂、坪山和幸
㈱マツダパラウォータ	福山政隆、松田和彦
㈱山形防水	竹内利三、東海林幸作
理建工業㈱	木村正一、室井幸雄
瀝青建材㈱	嶋崎裕一

名古屋支部　（35名）

会社名	氏名
朝日建物㈱	朝倉英心、梅村　浩
石動コーキング㈱	仁村　孝、萱原　寛
加賀防水工業㈱	諸橋茂一、八田次郎、藤尾　寛
㈱栗原	栗原　眞、山下晴夫、原　友次、関　博夫、堀　忠夫、村　武和
㈱三栄	安藤時敬
山新工業㈱	加藤忠司
㈱静岡コーキング工業	堀川信昭、太田広道
㈱志水化工	清水茂喜
㈱シリコーンエンジニア	匂坂良造
㈲シンコー工業	新保喜美雄、山口英夫
津田硝子㈱	竹田正治
中央建材工業㈱	阿野田卓男、犬飼健一、橋本孝由、杉田好隆
㈱東海工事	勘解由信幸
名古屋日本化成㈱	山口孝志
㈱日本ビルサービス	坂口　貢
北陸ビル防設㈱	田崎　隆
㈱ビルメン	守山彰治、清水洋紀
フジ工業㈱	河原昇一
不二興業㈱	松本　勉
丸協	見角　弘

大阪支部

（58名）

会社名	氏名
大阪アルファ産業㈱	内田勝久、袖山衛彦、
大阪工業㈱	中田安信、長棟利彦
㈱大阪シール	阪井敏夫
㈱大阪防水工業所	水口峰彦、野上條司、佐伯忠雄、塩谷昭文
大阪ユニロン㈱	金山満昭
大芝建材㈱	中山親治
㈱京都シール	竹田征司
共立産業㈱	木寺玄太
㈲高分子工材	益田憲司、松川光雄、山本武雄
神戸建設㈱	高木修
三幸物産㈱	横谷興彦
三大工業㈱	大西利昭
椎名コーキング商会	歳川博
嶋沢シーリング商会	北川和弘
昌栄亀井㈱	亀井一身
新和化工㈱	黒木俊行
㈱大一防水工業	上田正義、上田三郎
㈱大協建材	安東延治、吉田功、上西雅司
㈱東光商会	志水利達、高月春彦、和田俊治、長江誠一、早平淳一、北野裕一
㈱東洋防水	谷口忠文、横道哲幸
㈱特殊技研	西山義雄
徳島大三工業㈱	塩月辰男
㈱中出商会	中出鉱一
日本化成工業㈱	松下実、三谷孝一、岡田良平、山村博司、岡田城治、山下雄治、岡田誠治、小森勝、久保欣也、香西進、北田勝行
日添工業㈱	浅見和宏
白洋建材㈱	井上信夫、小阪幸治
㈲豊栄シール	笹崎幹雄
㈱美作	小林三千勝
八尾コーキング	中元幸弘
ユニオン商事	杉原良一
㈲吉川美装商事	渡部俊夫

広島支部

（13名）

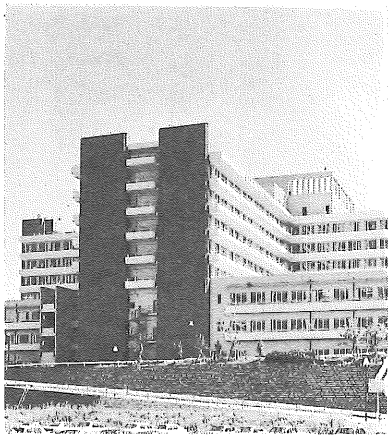
会社名	氏名
青盛建材㈱	月本満俊
朝日産業㈱	小川隆三
㈲烏城防水工業	原俊之
㈱サンゼオン防水工業所	佐々木守、佐々木淳
シーリング工業㈱	小田野哲夫、林利明
㈱ツキタニ工業	世羅敏則
広島アルファ産業㈱	狭間述史
ホーアン産業㈱	田中秀幸
㈱マルエス工業	小野田真治
丸福建材工業㈱	長島隆良
㈱ヤマザキ技販	山崎雅弘

福岡支部

（14名）

会社名	氏名
㈲仮屋防水工業所	仮屋紘一
㈱佐藤防水	佐藤良一
昭和日本化成㈱	吉川繁満、山嶺知行、嘉村昇
テイパ化工九州販売㈱	龍健一
㈲野田工業所	諏訪憲雄
ビーゼイ工事㈱	下田敏彦
南日本化成㈱	柳橋国博、白坂和也、東正博
宮本産業㈱	宮本宣博
㈱ムトウ	武藤貞、楢原行雄

IT'S JUST SEALANT !



㋮JIS A 5758 許可番号576247

フジチオコール

液状ポリサルファイドをベースとした2成分形のシーラントで、構造物の変位に追随し、日光、油薬品等によく耐えます。

㋮JIS A 5758 許可番号381074

ユーゼット103

ウレタンエラストマーの特性を活して、シーラントとしての要求を満たし、且つ優れた諸性能を有する2成分形のシーラントです。

アクリルエース

アクリルエマルションをベースにしたシーリング材で、長期にわたり柔軟性を失うことなく、その性能を十分に発揮します。

㋮JIS A 5751 許可番号368206

エバーシール

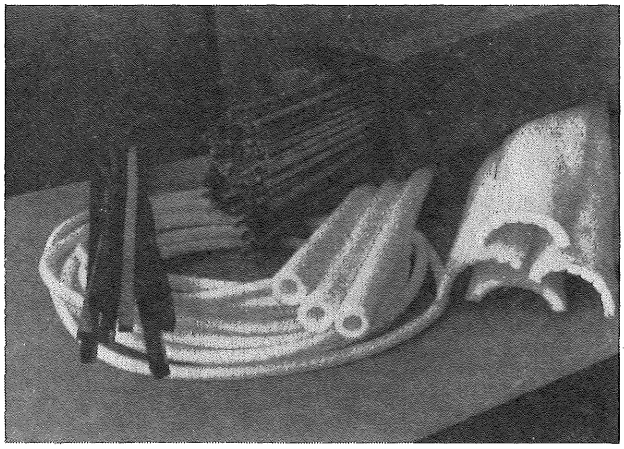
乾性油および不乾油などの油や石油樹脂、タルクなどを混ぜて練り合せ柔軟性のパテ状にした油性コーキング材です。

昭石化工株式会社

本社　東京都品川区南大井1-7-4　TEL.(03) 761−4291
札幌出張所 011(251)7912　名古屋営業所 052(231)6568
仙台出張所 0222(67)5319　大阪営業所 06(341)6395
東京営業所 03(761)4271　広島出張所 082(283)9226
新潟営業所 0252(25)2331　福岡営業所 092(291)0008

泡のプラスチック製品

●営業品目
①目地材
②断熱材
③防音材
④防水シート
⑤機密材
⑥防振シート
⑦養生マット
⑧結露防止マット
⑨接着シート
⑩ガスケット各種



複合資材で用途開発をお引受する

株式会社 新和商会
新和化工株式会社

本　社　東京都荒川区西日暮里2丁目24番14号
TEL.03(803)1411（代表）
工　場　埼玉県浦和市町谷20−1
TEL.0488(64)1751(代表)

●屋上防水工事
●外壁防水工事
●シーリング工事



外壁補修工事業協同組合員
全国パラテックス防水工事業協同組合員
東日本建設防水協同組合員
東日本シーリング工事業協同組合員
ゴムアスファルト防水工事業協同組合員
全日本プレハブ建築防水協会会員
全国アロンコート・アロンウォール
防水工事業協同組合員
東京都知事許可　般56第36279号

株式会社 ジックス
取締役社長 出水秀夫
東京都渋谷区代々木1－30－1
TEL 03（370）0121（代）

ニュータイプ 弾性シーラント
オートンシーラー101A
JIS-A 5758 耐久性区分9030に適合する一成分形ポリウレタンシーリング材

一成分形だから
安心です。



1000万本
達成!!



作業が楽な一液性
一液性ですので混練りの作業が必要なく作業性に優れています。

高い伸び率
低モジュラスで非常に伸び率が高く、機械的強度が抜群です。

優れた接着性
多くの被着体に対し、非常に優れた接着性をしめします。

塗装も可能
施工後、アクリル、ウレタンなど各種塗料による塗装が可能です。

実証された耐久性
耐熱性、耐温水性、耐薬品性、耐候性、耐寒性に優れています。

色は4色
カラーは、グレー、ホワイト、アイボリー、アンバーを揃えております。

AUTO
製造元 オート化学工業株式会社
東京営業所 東京都港区西新橋2－23－1 TEL 03－437－3482(代)
大阪営業所 大阪市淀川区宮原町1－8－12 TEL 06－396－1421

材料販売・品質管理・迅速配達

営　業　品　目

防水材	シーリング材	吹付塗装材	その他
●塗膜ウレタン材料	●シリコーン	●外壁化粧防水材	●壁面用下地処理材
●シート防水材	●変成シリコーン	●吹付タイル	●防水下地処理用材料
●エポキシ注入材	●チオコール		●その他改修工事用・全般
	●ウレタン		
	●その他、副資材	●吹付リシン	

適材を適所に!!

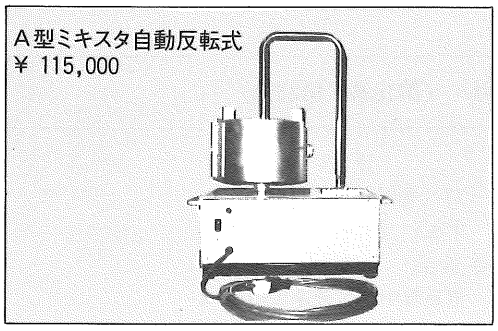
KM 化研マテリアル株式会社
KAKEN MATERIAL LTD.

本社　〒105 東京都港区西新橋3-8-1(第二鈴丸ビル2～4F)
■営業一部・業務部 ☎03-436-3011㈹ ■営業二部 ☎03-436-2391㈹
■総　務・経　理 ☎03-436-4001㈹ FAX 03-433-3914
倉庫　〒136 東京都江東区新木場1－17－6
☎03-521-7439㈹ FAX 03-521-0814

2成分形シーリング材用混練器

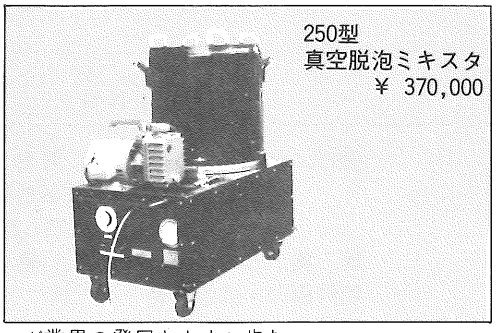
自動反転式
A型ミキスタ

〈特　徴〉
羽根の型が改良され、山型となり混合時に材料より10mm下になるため、不完全混合がほとんどなく、混合時の空気の混入が減少した。また自動反転装置付で操作が簡略化し、メーカーの丸缶がそのまま使えるバンド式である。(標準型175φ：3ℓ缶、他はアタッチメントによりどの缶も使用可能です。)



250型
真空脱泡ミキスタ

〈特　徴〉
シーリング材の混合時の空気抜が完全に出来、専用のフタ式タンクをかぶせるだけで、真空状態に出来る。30秒毎の反転装置が付いている為、混合不良がない。またメーカーの丸缶がそのまま使えるバンド式である。



シーリング業界の発展とともに歩む

ミキスタ工業株式会社

本　社　東京都中央区日本橋蛎殻町1－33－6
TEL 669－9471(代)



シーリング編集後記

建築業界のこの長い低迷はいったい何時まで続くのであろうか。本号の業界需要動向を見ると数字の上では一昨年，昨年と上向き傾向にあり，景気も回復しているらしい。しかし，周囲を見渡しても，その兆しは全く見当らず，建設業界のみおいてけぼりの感が強い。特に，われわれ業界においてをやである。その分，内部的な成果は着実に実り，JIS，JASS，そして総プロなど今後は新たな展開に移るところである。もちろん，これらは，シーリング業界のみならず，建設業界の一分野として対外的なアピールおよび運用を図るべきもので，さらに有効な展開を繰り広げねばならない。ところで，業界の長期の低迷も相変らずだが，小生がこの広報誌に関わったのもいったい何時のことからだろう。金子譲氏，小林茂之氏の両委員長時代を何とか囃子方で務めさせていただき，とうとう逃げ切れずに今日に至ってしまった。これまでの委員方々の意志を引継ぎ，「役に立つ広報誌」を前面に打出し堅い内容となるのを恐れず充実に努めていきたい。

昭和61年１月

広報委員長　**山内　雅夫**
広報副委員長　**斉藤聰一郎**
広報委員　**小林　茂之**
広報委員　**船越　力**

日本シーリング工業会の概要

性格と組織

本会はわが国における建築用，土木用シーリング工事の健全な発展と振興を計ることを目的として，昭和38年２月に設立されました。会員はわが国のシーリング材メーカーが加盟し，賛助会員は原材料メーカーおよび取扱業者が加入しており，全国に支部を有する全国的組織であります。

事　業

○シーリング管理士の養成
○日本シーリング工事業団体連合会と連携，材料および工事に対する信頼の確保
○技術資料の収集と情報の交換
○JIS，JASS への協力
○市場調査，需要開発に関する調査研究

発行図書

○機関誌「シーリング」（年１回）
○シーリングニュース（年３回）
○建築用シーリング材とその正しい使い方
○シーリングハンドブック
○シーリング管理士用テキスト

シーリング
SEALING　　第23号　（第18巻・第23号）

発行／日本シーリング工業会
東京都千代田区外神田2—2—17（共同ビル万世）
TEL　03（255）2841～2　　FAX　03（255）2183
編　集／日本シーリング工業会広報委員会
制作協力・広告／新　樹　社　東京都中央区銀座8—15—4
☎03（542）9324(代)
印　刷／株式会社　明　文　社
昭和61年１月15日印刷
昭和61年１月20日発行　　非　売　品

＜禁　無　断　転　載＞

刊行物のご案内

●詳細は▶日本シーリング工業会 ☎03(255)2841～2

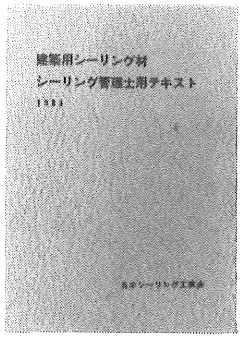
'84年版 シーリングハンドブック



'84年度版ができました。商品一覧にも新しい情報が加わり、またシーリング管理士、シーリング技術管理士の名簿も添付されています。業界で好評のうちに版を重ね、今回も紺色の表紙で1万部を用意しました。お申し込みはお早目に！

頒布価格 700円

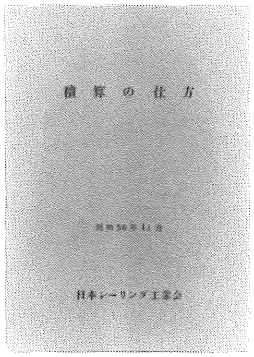
建築用シーリング材 シーリング管理士用テキスト 1983



内容も大幅に改訂。教科書サイズとなり携帯にも便利。シーリング材の適材適所の使用、適切な目地設計、正確な施工など種々の知識と技術の向上を目ざした「シーリング管理士」養成講習会の教材であり、シーリング関係者にとって貴重な参考書です。

頒布価格 3,000円

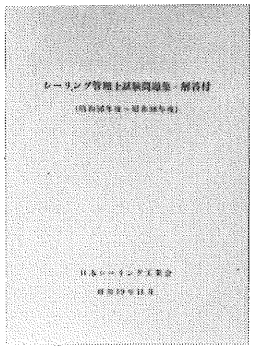
積算の仕方



図面から正確な目地寸法、延べ長さを拾い出し、材料費、工賃を加えた材工共の単価の算出は施工会社、シーリングメーカーおよび関係者各位にとって重要な業務です。この道のベテランが図面により　からわかり易く順序だてて解説しています。

頒布価格1000円

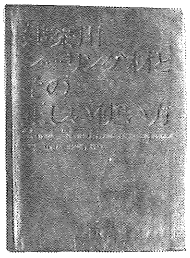
新シーリング管理士試験問題集・解答付



新問題集として最近3年間（56～58年度）のシーリング管理士試験問題を年度別に集約した本書は管理士・技術管理士を志す人のみならずシーリング業務に携わる方々にとって参考となるものです。

頒布価格 1,500円

建築用シーリング材とその正しい使い方



わが国建築用シーリング材の最高権威である狩野春一工学博士の監修による、シーリング関係者必読の座右の書。執筆者は故・波多野一郎千葉大学教授、小池迪夫東京工業大学教授、加藤正守千葉大学助教授をはじめ、わが国シーリング材研究の第一人者および業界関係者多数。設計から材料、施工まで幅広い内容となっています。

頒布価格 4,800円
（会員頒布価格 4,300円）

シーリング防水施工法



シーリング工事の基本から実践・応用までを最新技術資料を盛込み解り易く解説した実務参考書。内容は▷建築物の基礎知識▷シーリング防水の基礎知識▷良いシーリング防水工事のためのディテールシート▷故障と補修—の構成。

日本シーリング工事業団体連合会発行
頒布価格 1,500円

未知への挑戦

〈防水材, シーリング材, 関連資材販売〉
光栄商事株式会社
TEL. 03(928)5811(代)

〈防水材, シーリング材, 関連資材販売〉
光栄ショールーム
TEL. 03(928)1342

〈関連企業親睦団体〉
光栄会

〈関連企業親睦団体〉
グロリー会

光栄グループ
取締役会長 内田鴇鵡

信越シリコーン

多彩に実績を築いて20余年。

よりキメ細かく、信頼にお応えする建築・土木用シリコーン

●1成分形　一般用　酢酸タイプ
KE42

●1成分形　一般用　オキシムタイプ
KE45

●1成分形　高透明　酢酸タイプ
KE420

●1成分形　防カビ用　酢酸タイプ
KE4288

●1成分形　防カビ用　オキシムタイプ
KE4588

●1成分形　プラスチック用　アルコールタイプ
シーラント72

●1成分形　建築・土木用　アミドタイプ
シーラント80

●2成分形　建築・土木用　アミノキシタイプ
シーラント70

●2成分形　水平目地用　アミノキシタイプ
シーラント701

●2成分形　耐火目地用　アミノキシタイプ
シーラント74

●3成分形　油性補修用　アミノキシタイプ
シーラント79

●1成分形　コーティング用　水性タイプ
信越シリコーン
Mコート56

●1成分形　コーティング用　溶液タイプ
信越シリコーン
Sコート57

●1成分形　ライニング用　オキシムタイプ
KE4573

●2成分形　難燃・充填シール用(フォーム)
KE52A・B

●2成分形　難燃・充填シール用(ゴム)
KE1219A・B

信越化学工業株式会社
Shin-Etsu
〒100 東京都千代田区大手町2-6-1(朝日東海ビル)

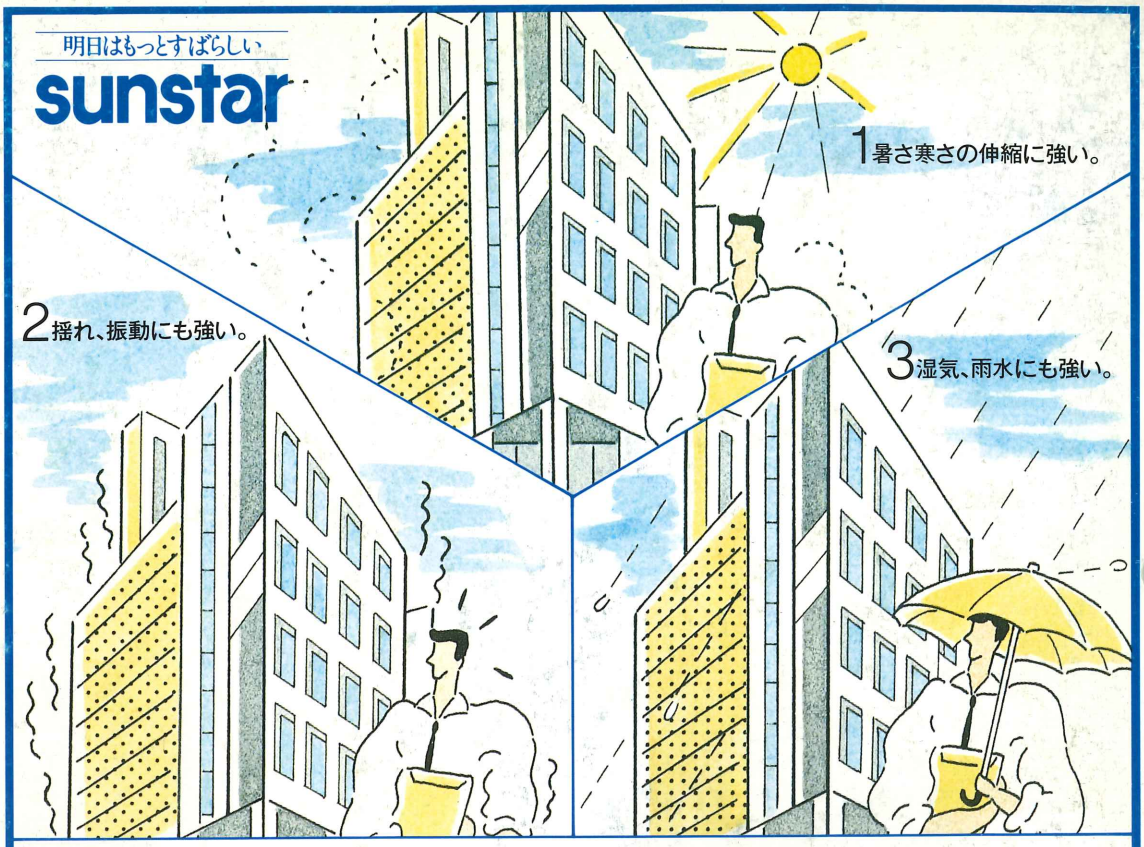
シリコーン事業本部
東京シーラント部
03-246-5091

大阪支店　大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル)　〒530 (06) 315-3071(代表)
名古屋支店　名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)　〒450 (052)581-6511(代表)
福岡支店　福岡市博多区綱場町2-2(福岡第一ビル)　〒812 (092)291-8442(代表)

札幌営業所(011)221-6471　長野営業所(0262)28-9104
仙台営業所(0222)64-2777　高崎営業所(0273)63-2731
新潟営業所(0252)47-3321　広島営業所(082)248-3931
北陸営業所(0776)26-1551　高松営業所(0878)22-3613

明日はもっとすばらしい

sunstar



あれこれ、いろいろ
サンスターのシーリング材

シーリング材の総合メーカーだから…急速に進歩する建築の様式、工法、部材の要求にこたえて、
サンスターのシーリング材はいま7系統17品種。



●これらのほかにアクリル、ブチル油性の製品があります。

■たしかな施工は、サンスター会・会員工事店へ■

サンスター技研株式会社 〒569 大阪府高槻市明田町7番1号 TEL(0726)81-0351

■東京支店 TEL03(453)9301 ■名古屋支店 TEL052(722)6815 ■大阪支店 TEL0726(84)0600